



テラス(出入隅納まり)

取付け説明書

●この説明書について

- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡しください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 本製品施工の際は、テラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●躯体への固定

- ・垂木掛けは柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- ・躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけに固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・ねじ・ボルトは当社指定品の指定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

φ4ねじ:2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)

φ5ねじ:3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)

M6ボルト:5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)

M8ボルト:12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)

- ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。

●ブランドラベルの張替えについて

- ・積雪の耐荷重に違いがありますので、製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、必ず棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合には、張替えは不要です。

●小口処理について

- ・入隅納まりR型自在桁仕様自在桁移動幅が150～300mmの場合、自在桁コーナ一部の切断した小口面にシーリングをしてください。切断した小口面にふれてケガをするおそれがあります。

▲ 注 意

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定の個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・東レ・ダウコーニング(株)	SE960

■取付け上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 取付け時は、必ず足場を設けてください。
- 前枠の内観左側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくならないようにしてください。

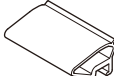
■目次

- 出隅納まり..... P.12
- 出隅納まり図..... P.28
- 入隅納まり..... P.31
- 入隅納まり図..... P.49

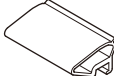
梱包明細表

【出隅納まり】

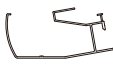
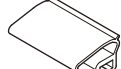
●出隅長さセット(600タイプ1.0間接続)

名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
前枠RA(出隅用)		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	—	—	—	—
前枠RASリーブ(出隅用)		2	2	2	2	—	—	—	—
前枠FA(出隅用)		—	—	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
前枠FASリーブ(出隅用)		—	—	—	—	2	2	2	2
前枠ビード材		4	4	4	4	4	4	4	4

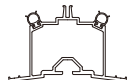
●出隅長さセット(600タイプ1.5間接続、1500タイプ1.0間接続)

名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
前枠RC(出隅用)		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	—	—	—	—
前枠RCスリーブ(出隅用)		2	2	2	2	—	—	—	—
前枠FC(出隅用)		—	—	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
前枠FCSリーブ(出隅用)		—	—	—	—	2	2	2	2
前枠ビード材		4	4	4	4	4	4	4	4

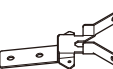
●出隅長さセット(自在桁用)

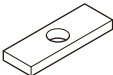
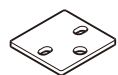
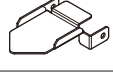
名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
自在桁用前枠R(出隅用)		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	—	—	—	—
自在桁前枠Rスリーブ(出隅用)		2	2	2	2	—	—	—	—
自在桁用前枠F(出隅用)		—	—	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
自在桁前枠Fスリーブ(出隅用)		—	—	—	—	2	2	2	2
前枠ビード材		4	4	4	4	4	4	4	4

●出隅棟木セット

名 称	略 図	員 数								
		R型屋根				F型屋根				
		600タイプ 1500タイプ				600タイプ 1500タイプ				600 タイプ
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	7~9尺
野縁		2	2	4	6	2	2	4	4	—
中間垂木カバー		—	LR各1	LR各1	LR各1	—	LR各1	LR各1	LR各1	—
中間垂木R(出隅用)		—	LR各1	LR各1	LR各1	—	—	—	—	—
出隅棟木カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1
出隅棟木		1	1	1	1	1	1	1	1	1
中間垂木F(出隅用)		—	—	—	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	—
ブランドラベル	—	2	2	2	2	2	2	2	2	2

●出隅部品セット

名 称	略 図	員 数										
		R型屋根					F型屋根					
		600タイプ (1.0間接続)		600タイプ (1.5間接続) 1500タイプ (1.0間接続)		自在桁 用	600タイプ (1.0間接続)		600タイプ (1.5間接続) 1500タイプ (1.0間接続)		600 タイプ	自在桁 用
		3-4尺	5-6尺	3-4尺	5-6尺		3-4尺	5-6尺	3-4尺	5-6尺	7~9尺	
出隅用前枠コーナー継手(前枠RA用)		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出隅用前枠コーナー継手(前枠RB・RC用)		-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
出隅用前枠コーナー継手(自在桁用前枠RA用)		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
出隅用前枠コーナー継手(前枠FA用)		-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
出隅用前枠コーナー継手(前枠FB・FC用)		-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
出隅用前枠コーナー継手(自在桁用前枠FA用)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
出隅用前枠コーナー継手(補強桁B用)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
出隅用垂木掛け・棟木取付け金具		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
出入隅用垂木・棟木取付け部品		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各4	LR各1
出隅用垂木掛けカバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
出入隅野縁取付け部品		LR各1	LR各2	LR各1	LR各2	LR各2	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各2	LR各1
出隅用垂木掛け		2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	2
垂木掛け後付けビード		1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1
前枠ジョイントカバー		4	4	4	4	-	4	4	4	4	2	-
自在桁前枠ジョイントカバー		-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4
連棟用垂木固定裏板		4	4	4	4	4	4	4	4	4	-	4
柱固定金具裏板(持ち出し柱用)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

名 称	略 図	員 数											
		R型屋根						F型屋根					
		600タイプ (1.0間接続)		600タイプ (1.5間接続) 1500タイプ (1.0間接続)		自在桁 用	600タイプ (1.0間接続)		600タイプ (1.5間接続) 1500タイプ (1.0間接続)		600 タイプ	自在桁 用	
		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺	7～9尺		
端部垂木アタッチ取付け裏板		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
出入隅用柱固定金具		1	1	1	1	－	1	1	1	1	1	－	
出入隅用柱固定金具裏板		2	2	2	2	－	2	2	2	2	2	－	
柱固定金具スペーサー		1	1	1	1	－	1	1	1	1	1	－	
前枠RAスリーブ		2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
前枠RBスリーブ		－	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	
前枠FAスリーブ		－	－	－	－	－	2	2	－	－	2	－	
前枠FBスリーブ		－	－	－	－	－	－	－	2	2	－	－	
自在桁前枠Rスリーブ		－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	
自在桁前枠Fスリーブ		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	
出隅用排水部品R		1	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	
出隅用排水部品F		－	－	－	－	－	1	1	1	1	1	1	
穴ふさぎシール	－	2	2	2	2	2	2	2	－	2	20	2	
φ4×12 ワッシャーヘッドタッピンねじ2種	－	10	13	10	13	11	－	12	9	12	18	12	
φ6×70 六角タッピンねじ1種	－	2	2	2	2	2	9	2	2	2	2	2	
M6用 平座金	－	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
M8×16 六角ボルト	－	2	2	2	2	－	2	2	2	2	2	－	
M8×12 六角ボルト	－	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
M8用 平座金	－	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	
M5×10 トラス小ねじ	－	58	72	58	72	72	64	70	64	70	13	70	
M5×16 トラス小ねじ	－	2	4	2	4	4	2	2	2	2	4	2	
φ4×12 トラストタッピンねじ3種	－	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
袖用パッキン	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
取付け説明書	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
先付けビード	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	

●出隅自在桁部品セット(F型屋根用)

名 称	略 図	員 数		
		A用	B用	C用
出隅用コーナープレート		1	1	1
棟木取付け金具		LR各1	LR各1	LR各1
柱固定金具裏板(BS接続用)		2	2	2
出入隅用自在桁コーナー柱固定金具		1	1	1
φ4×13 ナベドリルねじ	—	4	4	4
M8×14 六角ボルト(平座金付)	—	4	4	4

●出隅自在桁部品セット(R型屋根用)

名 称	略 図	員 数		
		A用	B用	C用
出隅用自在桁コーナー継手		1	1	1
棟木取付け金具		LR各1	LR各1	LR各1
出入隅用柱固定金具		1	1	1
M8×14 六角ボルト(平座金付)	—	4	4	4
φ4×12 トラスタッピンねじ3種	—	4	4	4
穴ふさぎシール(φ10)	—	2	2	2

●出隅屋根パネルセット

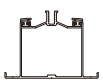
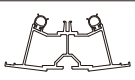
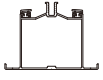
名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		3尺用	4尺用	5尺用	6尺用	3尺用	4尺用	5尺用	6尺用
出隅用コーナーパネル1	—	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
出隅用コーナーパネル2	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	—	LR各1	LR各1	LR各1

【入隅納まり】

●入隅長さセット

名 称	略 図	員 数			
		3尺用	4尺用	5尺用	6尺用
垂木掛け		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
垂木掛け後付けビード		2	4	4	4

●入隅棟木セット

名 称	略 図	員 数								
		R型屋根				F型屋根				
		600タイプ 1500タイプ				600タイプ 1500タイプ				600 タイプ
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	7～9尺
野縁		2	2	4	4	2	2	4	4	—
中間垂木カバー		—	LR各1	LR各1	LR各1	—	LR各1	LR各1	LR各1	—
中間垂木R(入隅用)		—	LR各1	LR各1	LR各1	—	—	—	—	—
入隅棟木カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1
入隅棟木		1	1	1	1	1	1	1	1	1
中間垂木F(入隅用)		—	—	—	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	—

●入隅部品セット

名 称	略 図	員 数										
		R型屋根					F型屋根					
		600タイプ		600タイプ 1500タイプ		自在桁 用	600タイプ		600タイプ 1500タイプ		600 タイプ	自在桁 用
		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺	7～9尺	
入隅用前枠コーナー継手(前枠RA用)		1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
入隅用前枠コーナー継手(前枠RB・RC用)		－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－
入隅用前枠コーナー継手(自在桁用前枠RA用)		－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
入隅用前枠コーナー継手(前枠FA用)		－	－	－	－	－	1	1	－	－	1	－
入隅用前枠コーナー継手(前枠FB・FC用)		－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－
入隅用前枠コーナー継手(自在桁用前枠FA用)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
入隅用前枠コーナー継手(補強桁B用)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
入隅用垂木掛け・棟木取付け金具1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入隅用垂木掛け・棟木取付け金具2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
出入隅用垂木・棟木取付け部品		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各4	LR各1
入隅用垂木掛けカバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
出入隅用野縁取付け部品		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各2	LR各1
前枠ジョイントカバー		2	2	2	2	－	2	2	2	2	2	－
自在桁前枠ジョイントカバー		－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	2
連棟用垂木固定裏板		4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
柱固定金具裏板(持ち出し柱用)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
端部垂木アタッチ取付け裏板		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

名 称	略 図	員 数										
		R型屋根					F型屋根					
		600タイプ		600タイプ 1500タイプ		自在桁 用	600タイプ		600タイプ 1500タイプ		600 タイプ	自在桁 用
		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺		3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺	7～9尺	
出入隅用柱固定金具		1	1	1	1	－	1	1	1	1	1	－
出入隅用柱固定金具裏板		2	2	2	2	－	2	2	2	2	2	－
柱固定金具スペーサー		1	1	1	1	－	1	1	1	1	1	－
前枠RAスリーブ		2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
前枠RBスリーブ		－	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－
前枠FAスリーブ		－	－	－	－	－	2	2	－	－	2	－
前枠FBスリーブ		－	－	－	－	－	－	－	2	2	－	－
自在桁前枠Rスリーブ		－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－
自在桁前枠Fスリーブ		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
入隅用排水部品		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠ビード材		1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1
自在桁入隅用すきまふさぎ材		－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
自在桁入隅用すきまふさぎ材(追加用)		－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
穴ふさぎシール	－	2	4	2	4	4	2	4	2	4	20	4
φ4×12 ワッシャーヘッドタッピンねじ2種	－	8	10	8	10	10	7	10	7	10	18	10
φ6×100 六角コーチねじ	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ6×70 六角タッピンねじ1種	－	6	6	6	6	6	6	6	6	6	2	6
M6用 平座金	－	7	7	7	7	7	7	7	7	7	3	7
M8×16 六角ボルト	－	2	2	2	2	－	2	2	2	2	2	－
M8×12 六角ボルト	－	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
M8用 平座金	－	4	4	4	4	2	4	4	4	4	4	2
M5×10 トラス小ねじ	－	38	53	38	53	53	38	53	38	53	13	53
M5×16 トラス小ねじ	－	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2
φ4×12 トラストタッピンねじ3種	－	6	6	6	6	6	－	－	－	－	－	－
φ4×20 トラストタッピンねじ3種	－	－	－	－	－	－	6	6	6	6	6	6
袖用パッキン	－	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
取付け説明書	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

●入隅自在桁部品セット

名 称	略 図	員 数		
		A用	B用	C用
入隅用コーナープレート		1	1	1
棟木取付け金具		LR各1	LR各1	LR各1
柱固定金具裏板(BS接続用)		2	2	2
出入隅用自在桁コーナー柱固定金具		1	1	1
φ4×13 ナベドリルねじ	—	4	4	4
M8×14 六角ボルト(平座金付)	—	4	4	4

●入隅屋根パネルセット

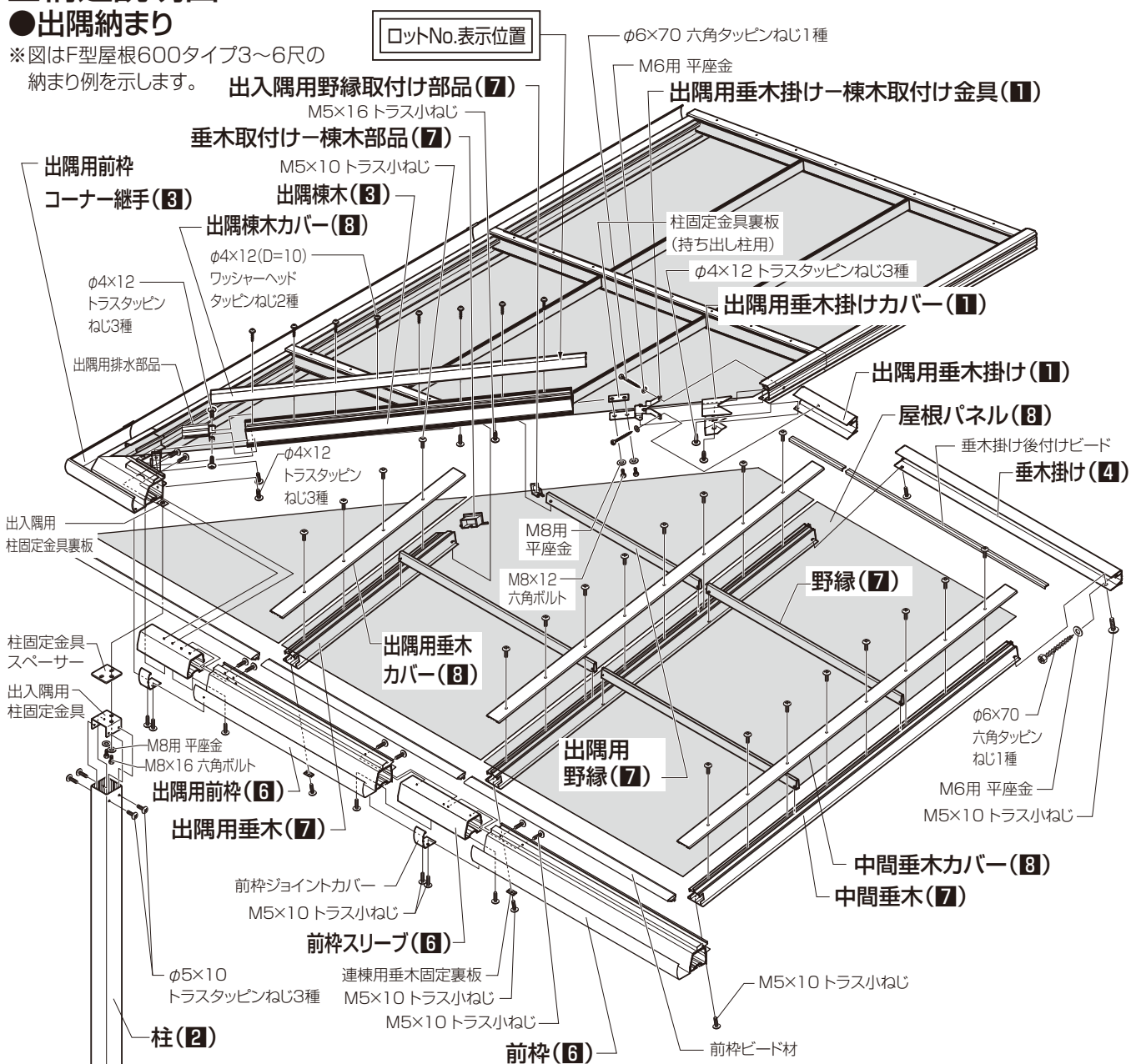
名 称	略 図	員 数							
		R型屋根				F型屋根			
		3尺用	4尺用	5尺用	6尺用	3尺用	4尺用	5尺用	6尺用
出隅用コーナーパネル1	—	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
出隅用コーナーパネル2	—	—	LR各1	LR各1	LR各1	—	LR各1	LR各1	LR各1

出隅納まり

■構造説明図

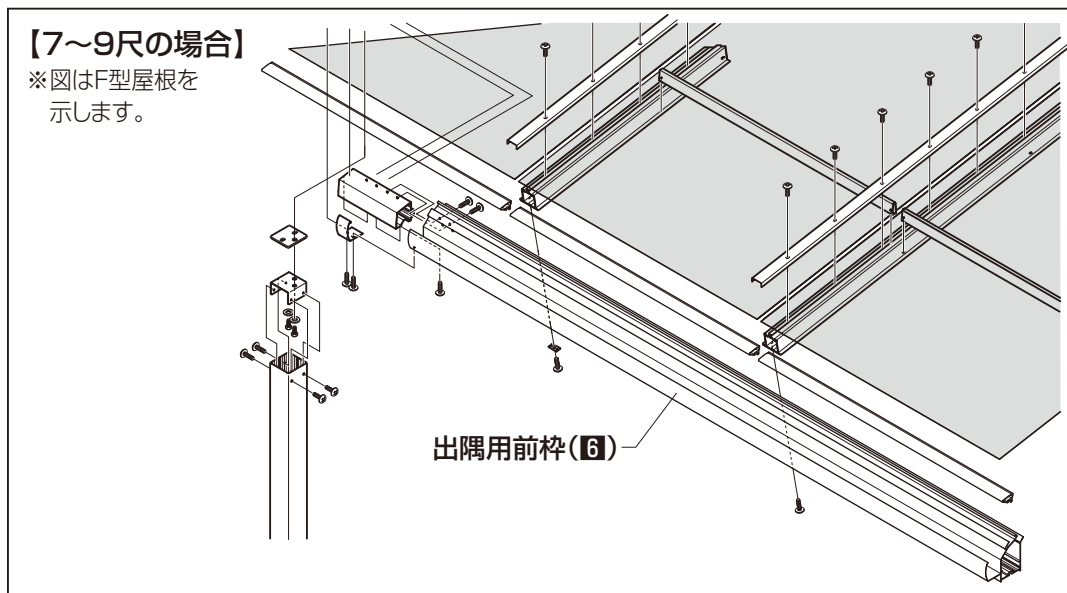
●出隅納まり

※図はF型屋根600タイプ3～6尺の
納まり例を示します。



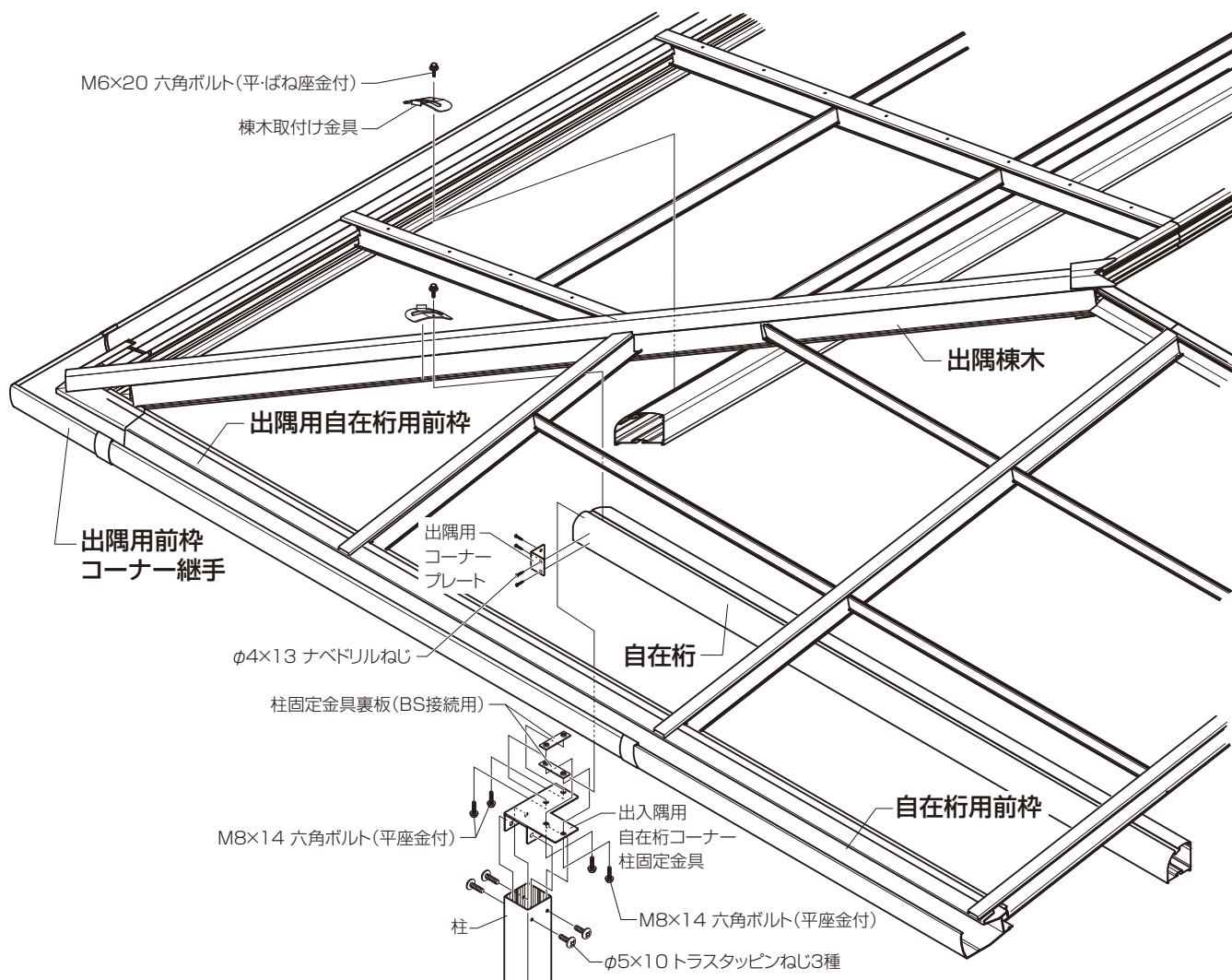
【7～9尺の場合】

※図はF型屋根を
示します。

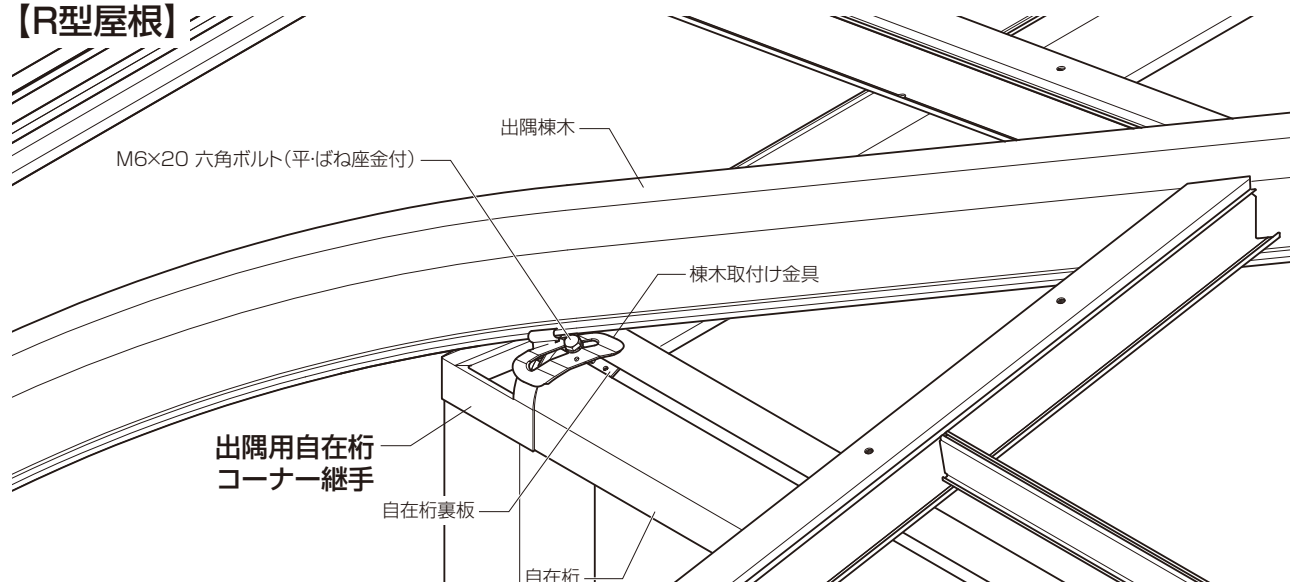


●出隅自在桁納まり

【F型屋根】



【R型屋根】

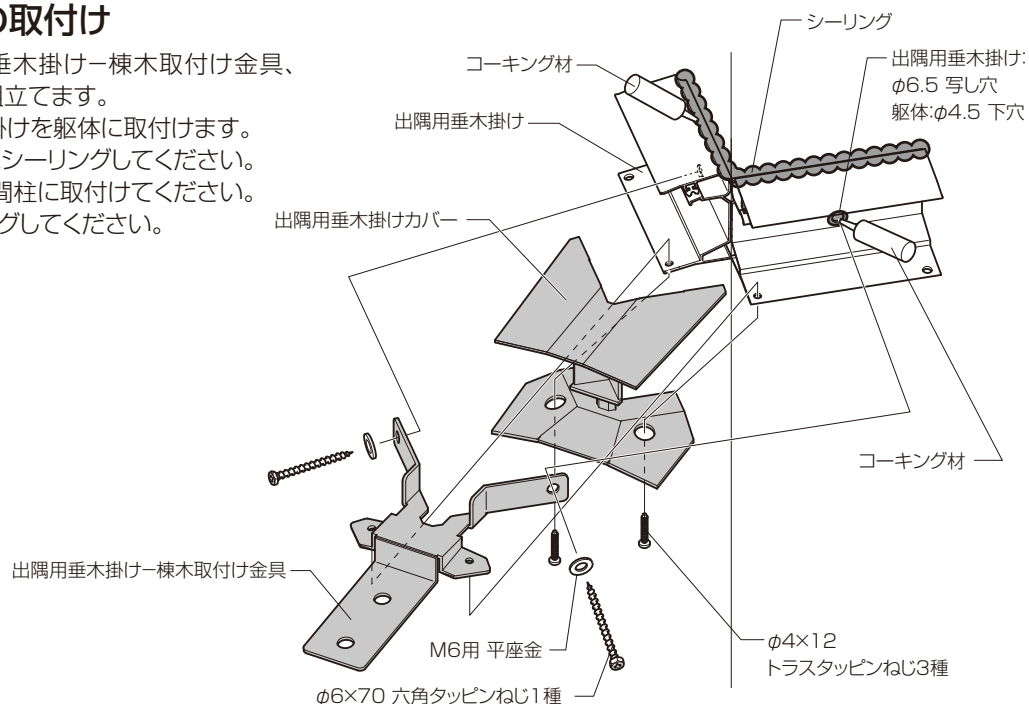


■取付け順序(出隅納まり)

※F型屋根7～9尺は組立て前に、P.21～P.23を参照して部材の加工を行ってください。

■1出隅用垂木掛けの取付け

- ①出隅用垂木掛け、出隅用垂木掛け一棟木取付け金具、出隅用垂木掛けカバーを組立てます。
 - ②位置を合わせ出隅用垂木掛けを躯体に取付けます。
 - ③躯体と垂木掛けのすき間にシーリングしてください。
- ※垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱に取付けてください。
※指定個所に確実にシーリングしてください。



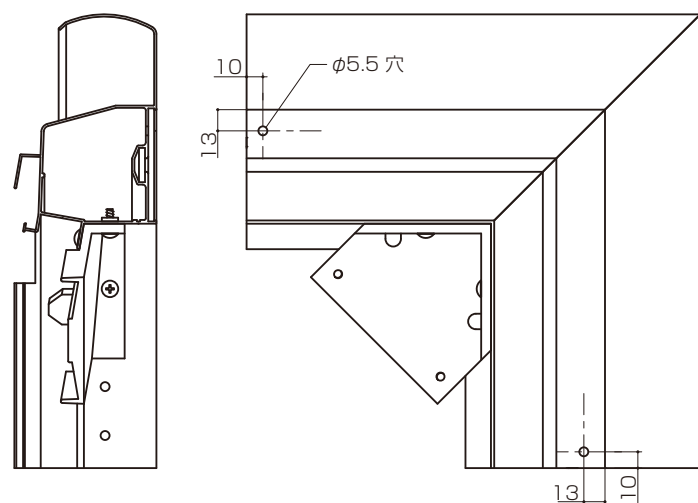
■2柱の位置決め

- 寸法図より、柱の位置出しをし、基礎穴を掘ります。
- ※基礎穴への柱の納まりはテラス本体の取付け説明書を参照してください。

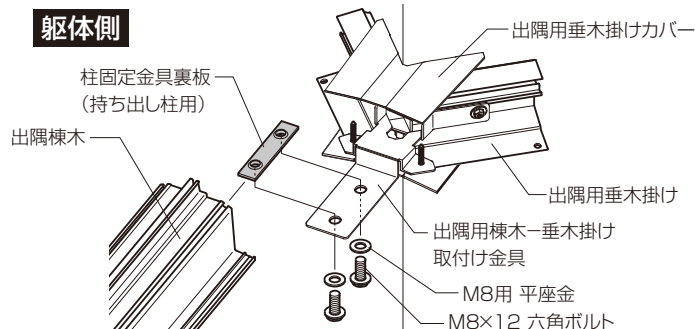
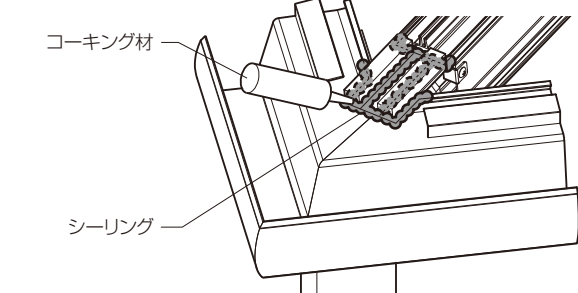
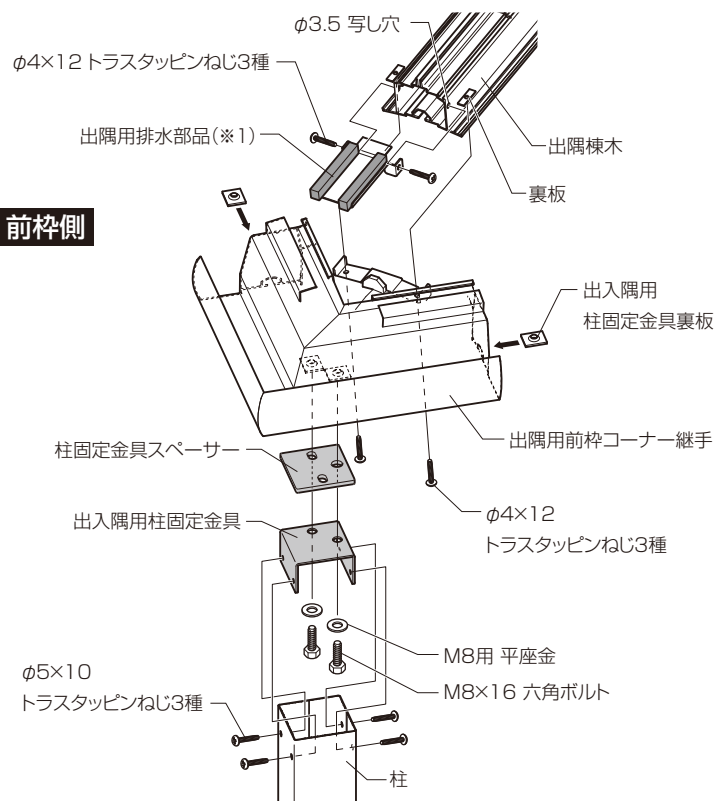
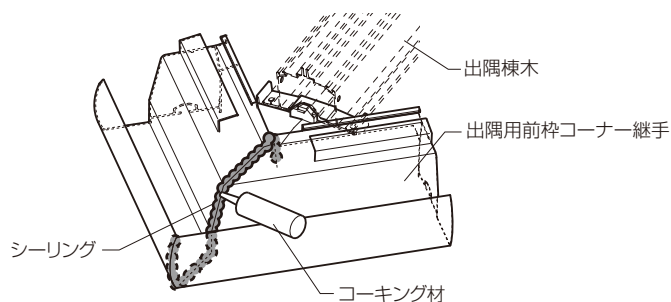
■3出隅棟木・コーナー柱の取付け

- ①出隅用前枠コーナー継手に穴加工してください。前枠C用コーナー継手の場合も同様に加工してください。
- ※図はF型屋根用コーナー継手です。R型屋根用コーナー継手も同様の加工をしてください。

【出隅用前枠コーナー継手加工図】

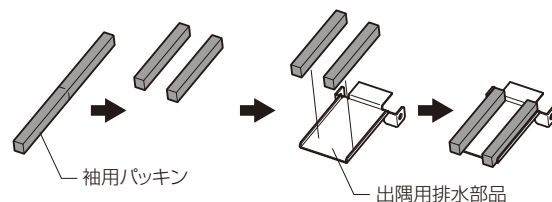


- ②出隅用前枠コーナー継手の図のところにシーリングしてください。
 ※図はF型屋根用です。P型屋根用も同様に行ってください。
 ※出隅棟木は垂木、野縁を取付け後、調整して位置を決めてください。

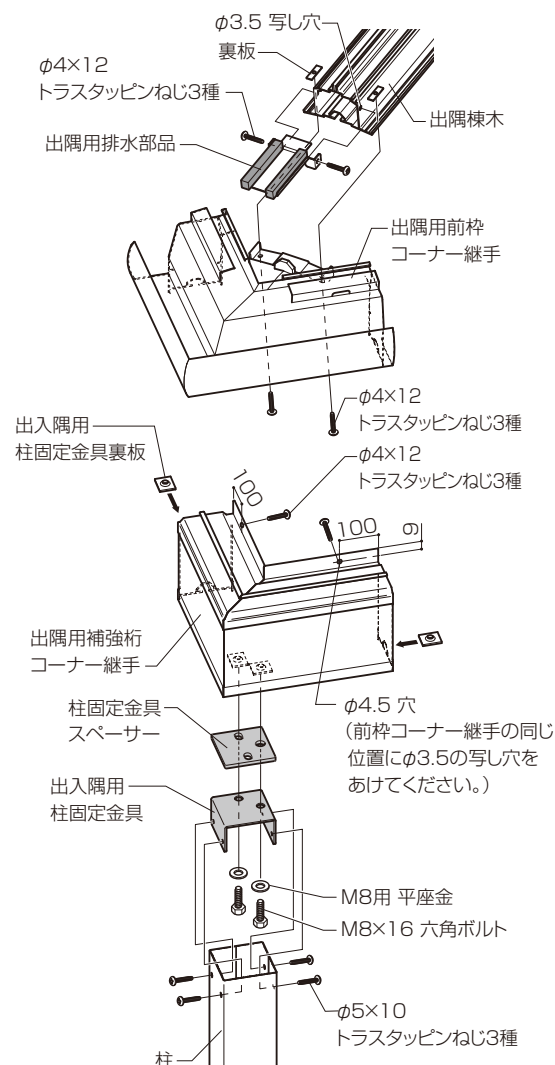


ポイント

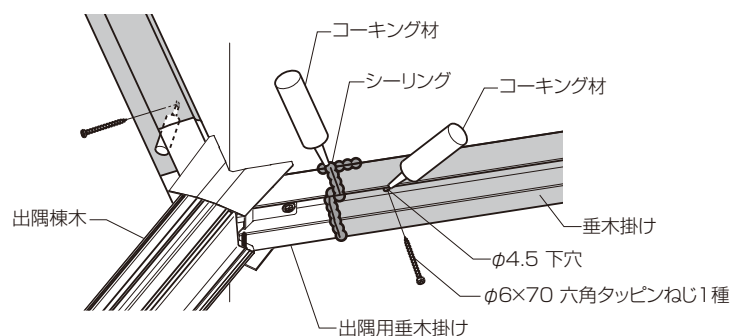
※1 袖用パッキンを半分に切断して出隅用排水部品に付けてください。



【F型屋根7～9尺の場合】



4 垂木掛けの取付け



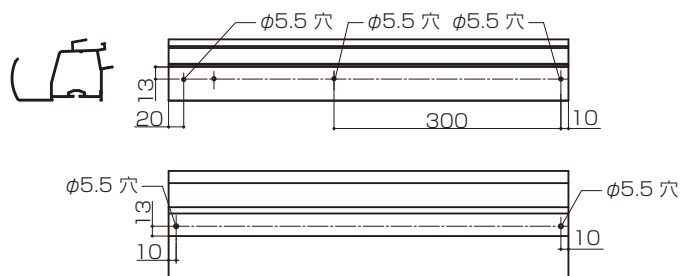
5 前枠の加工

※F型屋根7尺～9尺は加工済です。(P.21～P.23を参照してください。)

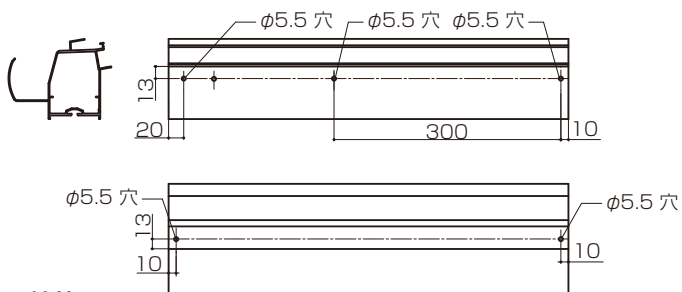
※図は内観右用です。左用は左右対称の加工になります。

【F型屋根】

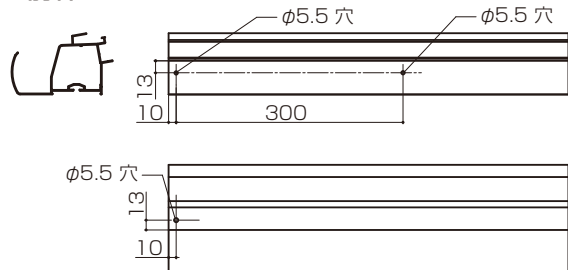
●出隅用前枠A



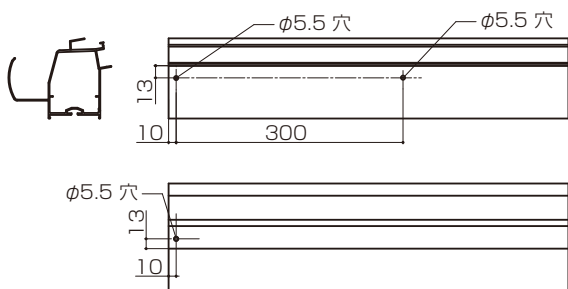
●出隅用前枠C



●前枠A

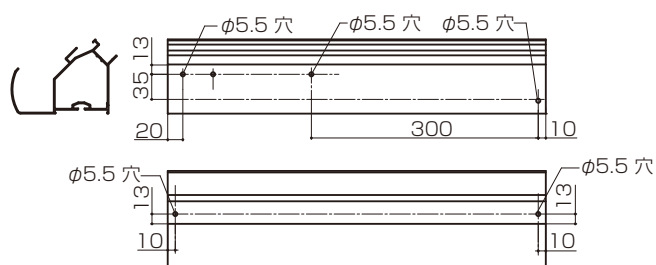


●前枠B・C

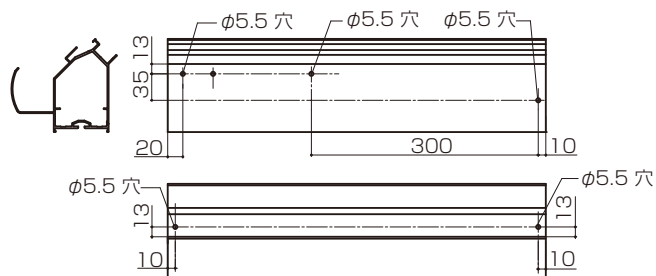


【R型屋根】

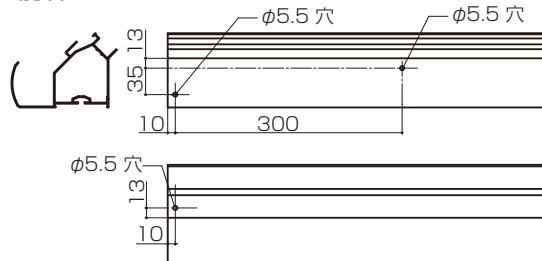
●出隅用前枠A



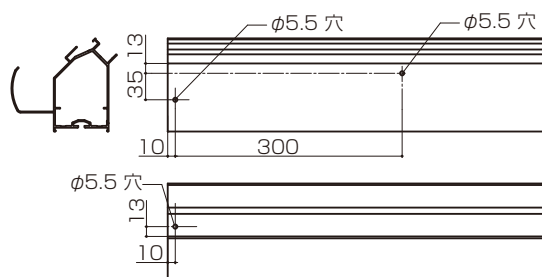
●出隅用前枠C



●前枠A

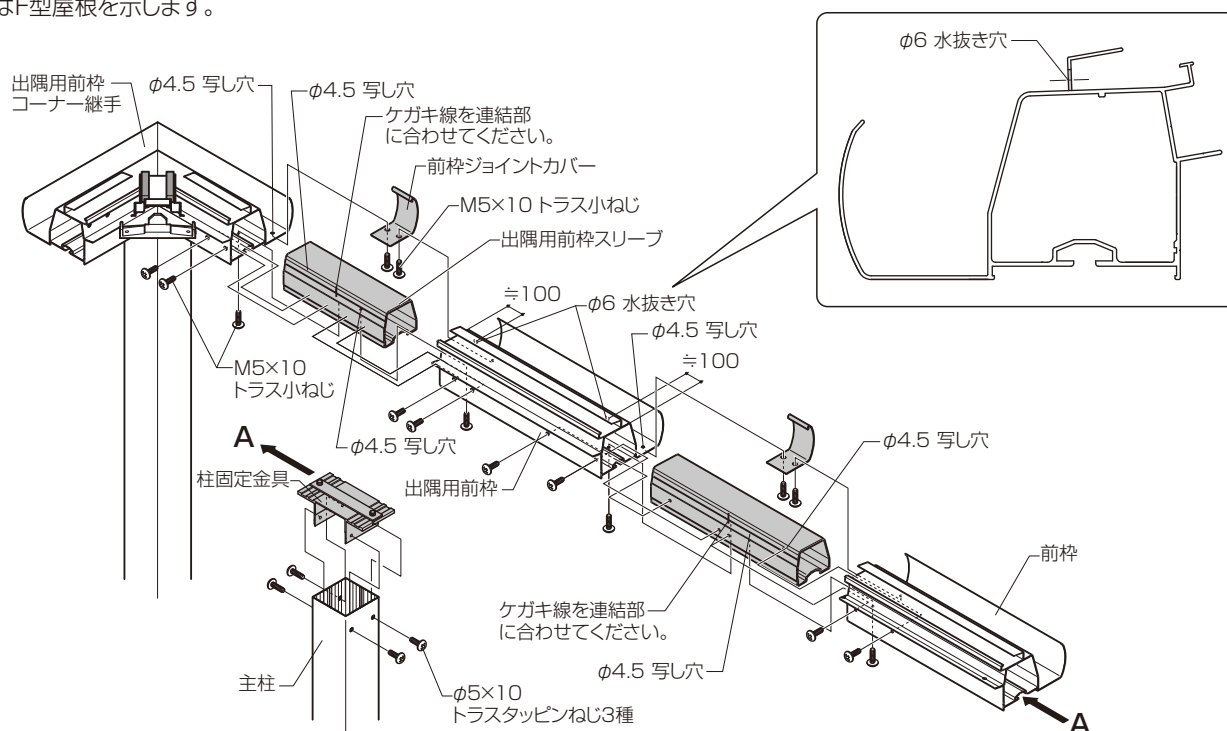


●前枠B・C



6 前枠・柱の取付け

※図はF型屋根を示します。

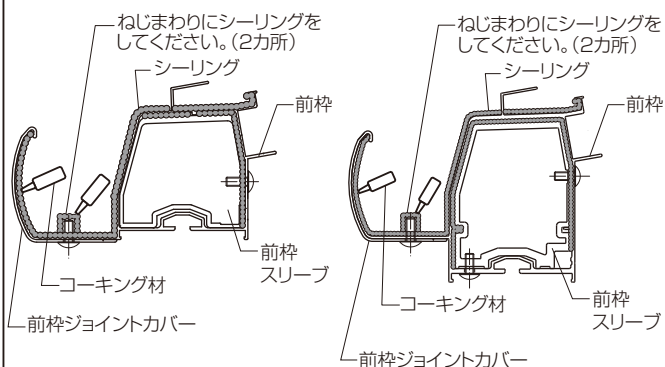


■ジョイント部シーリング箇所

【F型屋根】

・前枠A

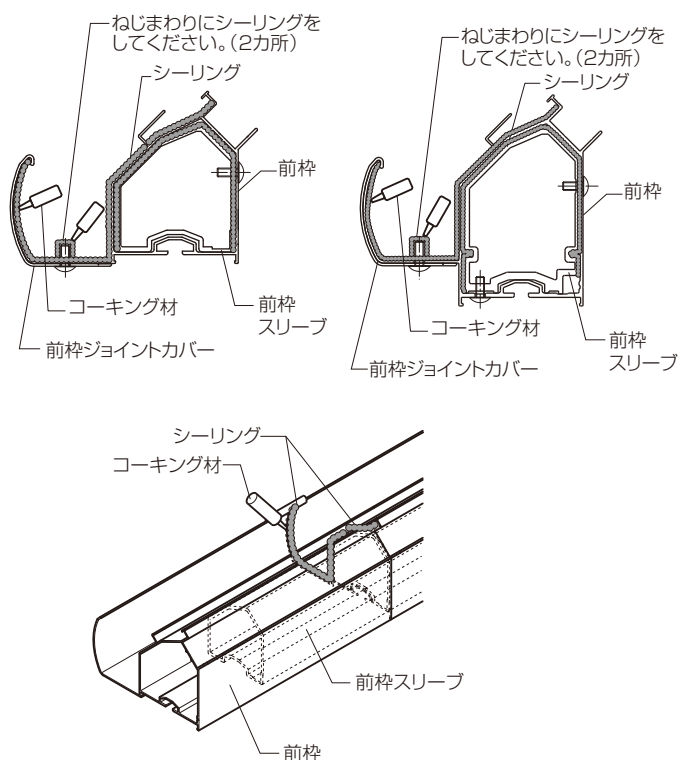
・前枠B・C



【R型屋根】

・前枠A

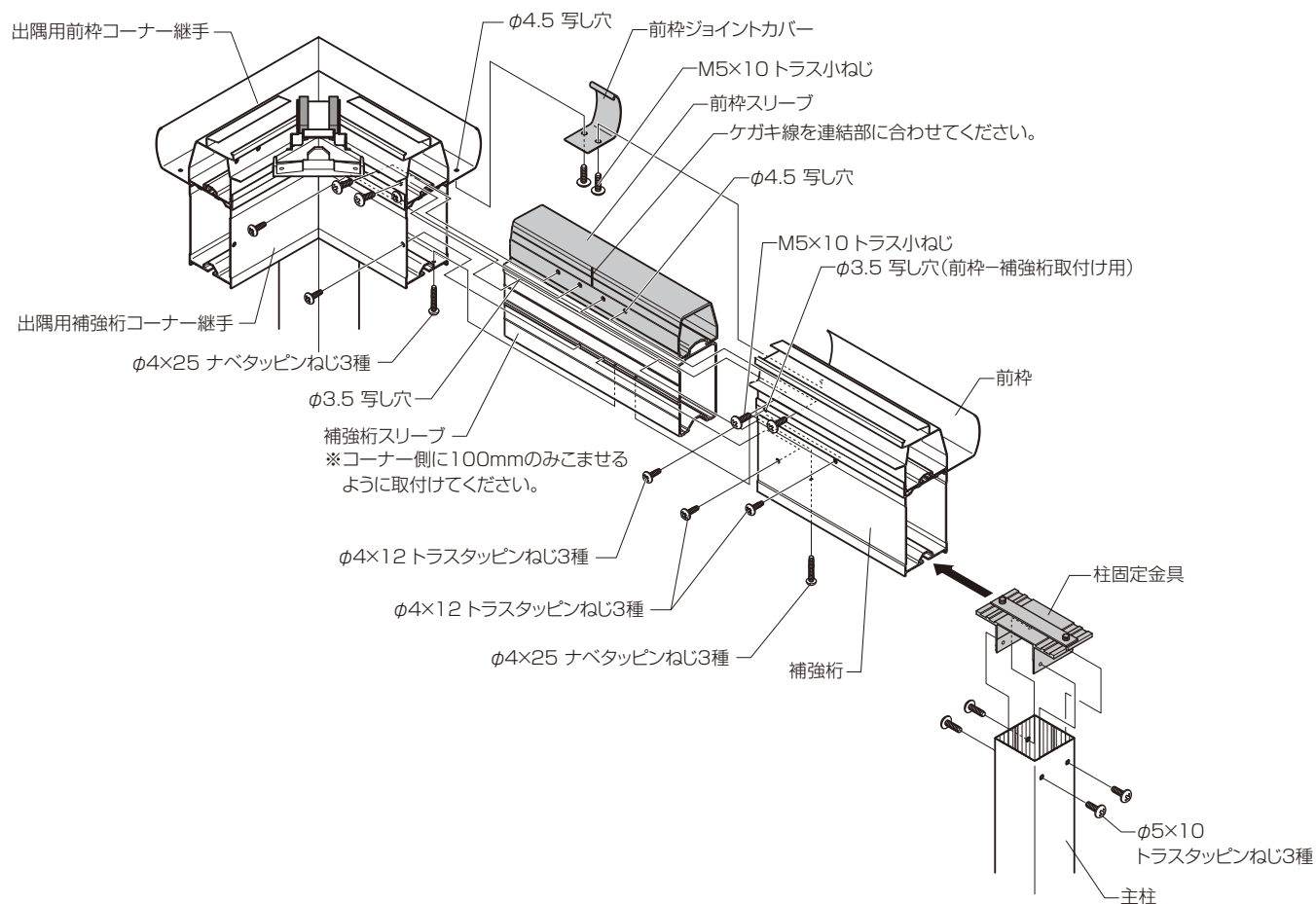
・前枠B・C



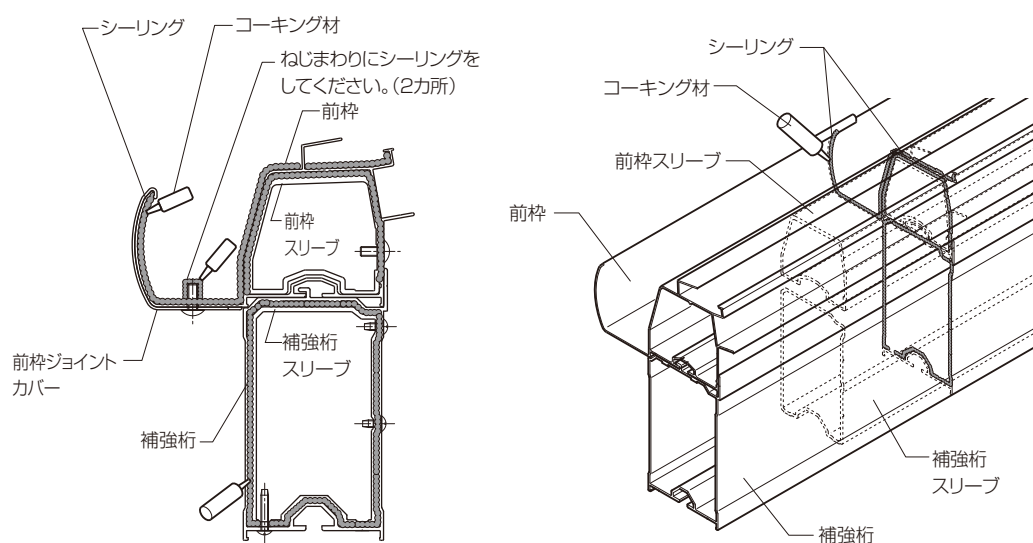
ポイント

- 積雪耐荷重に違いがありますので、製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、必ず棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合は、張替えは不要です。

【F型屋根7尺～9尺の場合】



■ジョイント部シーリング箇所 【F型屋根】



ポイント

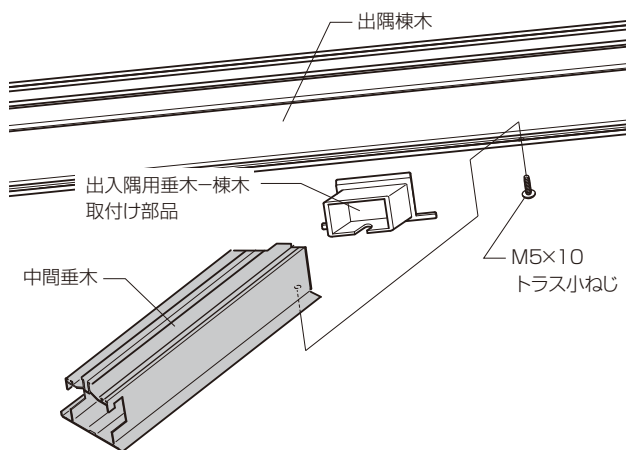
- 積雪耐荷重に違いがありますので、製品が600タイプの場合、前杣に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、必ず棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前杣に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合は、張替えは不要です。

7 垂木・野縁の取付け

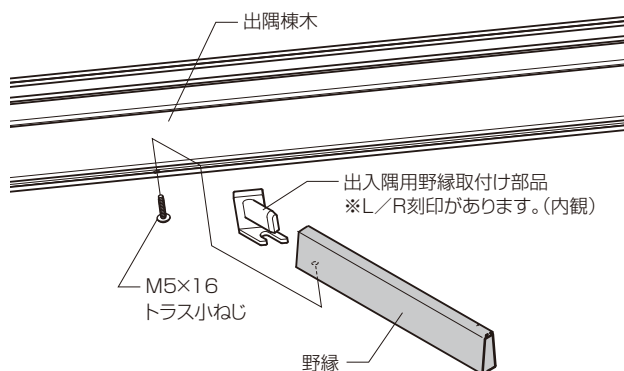
※中間垂木、端部垂木、野縁はテラス本体の取付け説明書を参照してください。

●出隅用垂木(野縁)の斜めに加工されている端部に垂木-棟木(野縁)取付け部品を差込み出隅棟木に固定します。

●中間垂木の取付け



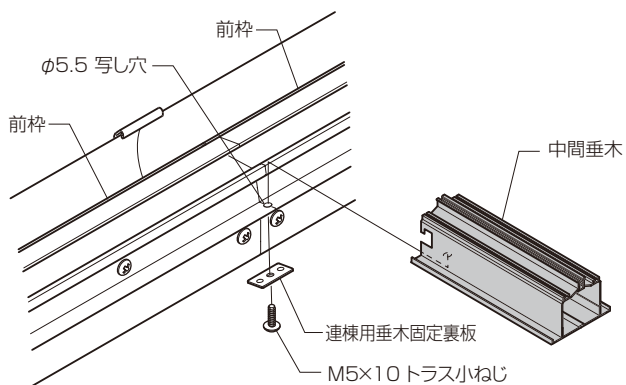
●野縁の取付け



※野縁を取付けない野縁取付け穴には、穴ふさぎシールを張ってください。納まり上、野縁を取付けできない個所があります。

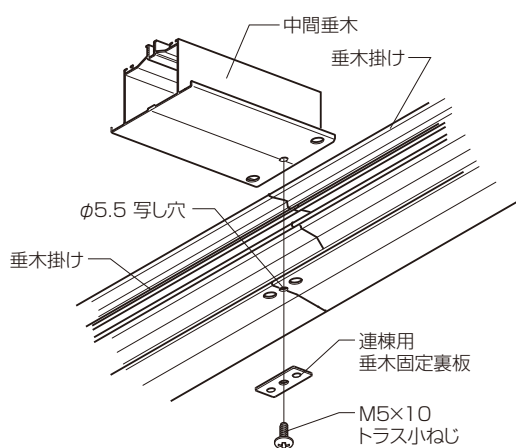
●中間垂木の取付け(前枠側)

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。



●中間垂木の取付け(垂木掛け側)

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。



8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け

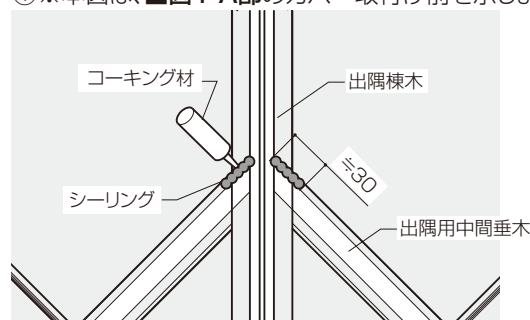
※屋根パネルは表裏を確認して取付けてください。

※取付け作業後、養生シートをはがしてください。

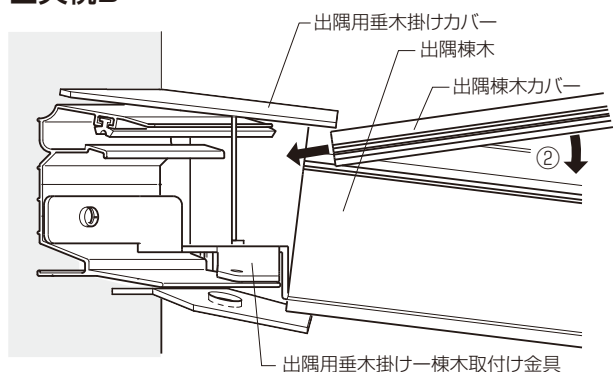
- ① 躯体側の屋根パネルを均等に取付け、出隅用中間垂木上の屋根パネルにコーキング材を乗せてください。(右図参照)
- ② 棟木カバーを出隅用垂木掛けカバーの下にもぐり込ませて、出隅用垂木掛けに当たるまで差し込んでください。①のコーキング材がずれないようにねじ止めします。(矢視B参照)
- ③ 出隅用垂木カバーを取付けてください。
- ④ 垂木掛け後付けビードおよび前枠ビード材を取付けてください。
- ⑤ 出隅用垂木掛けカバーの周囲および棟木カバーと垂木カバーの接合部にシーリングをします。その際、C部にコーキング材を充てんしてください。

※雨どい、キャップの取付けはテラス本体の取付け説明書を参照してください。

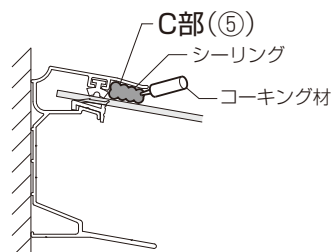
① ※本図は、■図1-A部のカバー取付け前を示します。



■矢視B

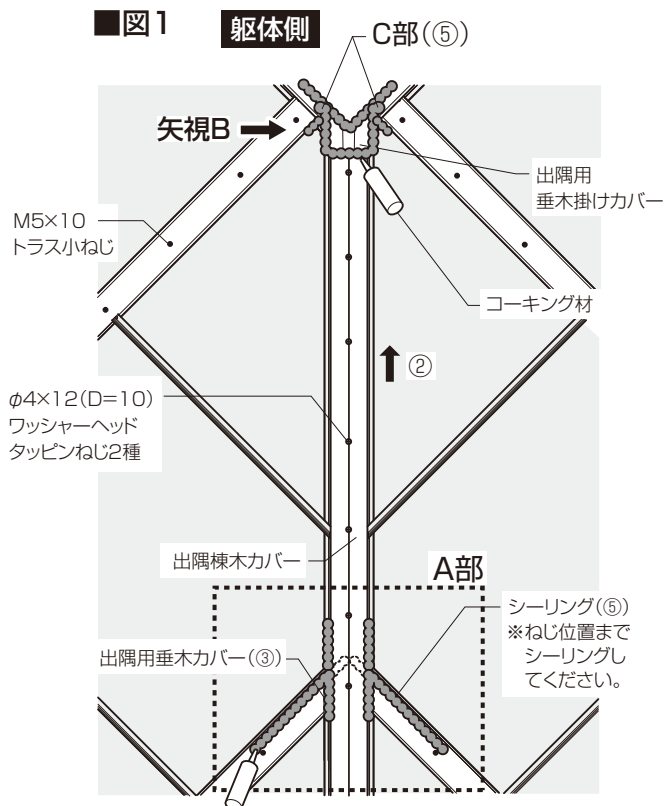


【断面図】



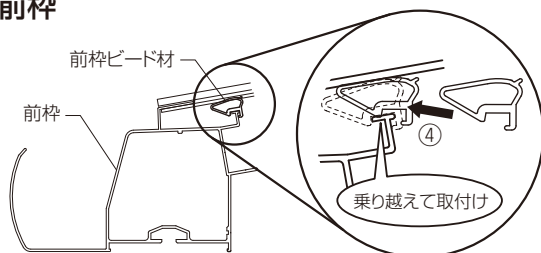
■図1

躯体側

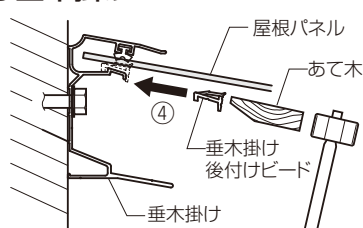


■後付けビード詳細図

●前枠



●垂木掛け

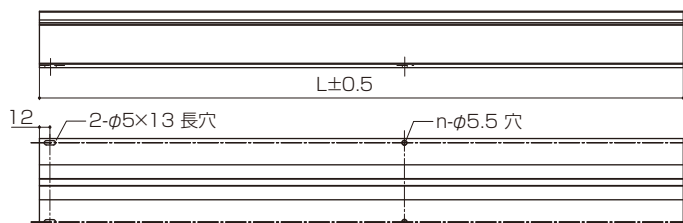
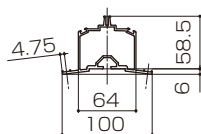


■部材の加工

【F型屋根7尺～9尺の場合】

※7～9尺の場合、3～6尺と納まりが異なります。(P.12参照)

●出隅棟木



●L寸法

出幅7尺:2807.5
出幅8尺:3235
出幅9尺:3662.5

7尺用 n=8

349	947.5	499.5	669
2807.5			

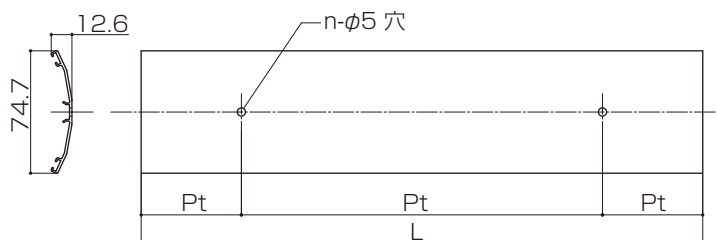
8尺用 n=6

1268	392.5	776
3235		

9尺用 n=8

648	648	648	520
3662.5			

●出隅棟木カバー

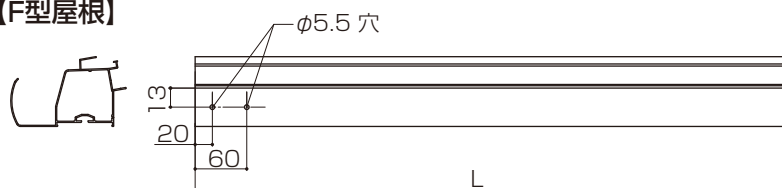


●L寸法=出隅棟木+100mm

※棟木取付け穴(Pt)は $100 \leq Pt \leq 240$ になるように均等に振分けてください。

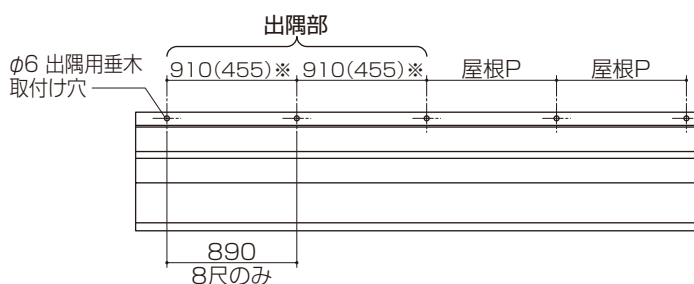
●出隅用前枠

【F型屋根】



●L寸法

7尺+0.5間:2906.5 7尺+1000:2996.5
8尺+0.5間:3206.5 8尺+1000:3296.5
9尺+0.5間:3506.5 9尺+1000:3596.5
7尺+1.0間:3816.5 7尺+2000:3996.5
8尺+1.0間:4116.5 8尺+2000:4296.5
9尺+1.0間:4416.5 9尺+2000:4596.5
7尺+3000:4996.5



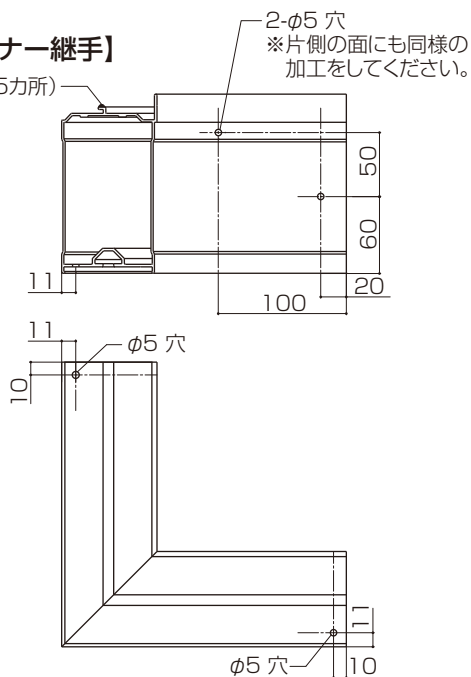
※図は内観右用の加工を示します。左用は図と左右対称です。

※メーターの前枠の場合、出隅部の垂木取付け穴を910ピッチ(ハーフピッチの場合は455)にあけなおしてください。使わない穴には穴ふさぎシールを張ってください。

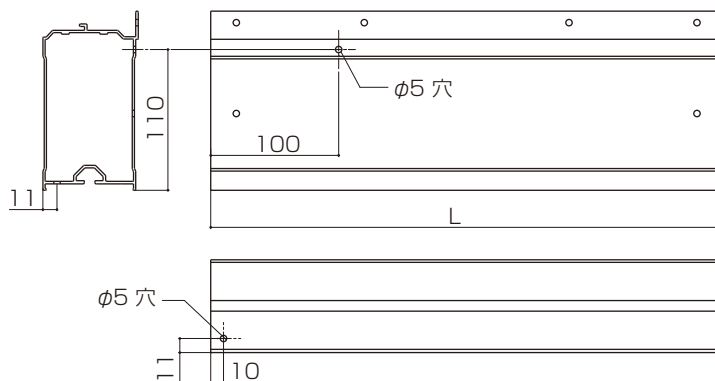
●補強桁B

【補強桁コーナー継手】

アルミ溶接(5力所)



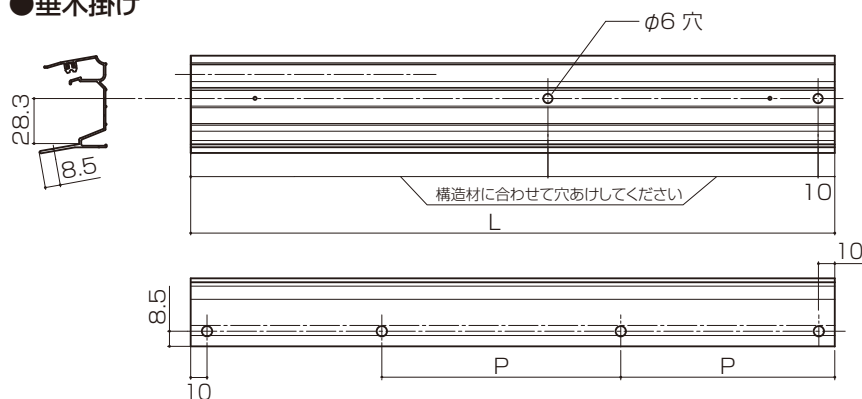
【補強桁B】



●L寸法=前枠Lと同寸法

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。

●垂木掛け

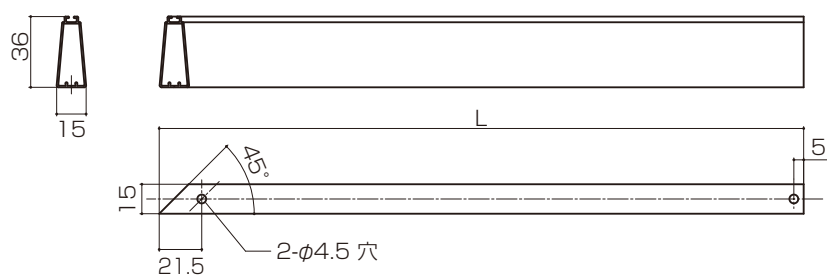


●L寸法

7~9尺+0.5間:1007.5
7~9尺+1.0間:1917.5
7~9尺+1000:1097.5
7~9尺+2000:2097.5
7~9尺+3000:3097.5

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。

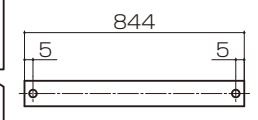
●出隅用野縁



●L寸法

出幅7尺①:663.5
出幅7尺②:558
出幅8尺①:633
出幅8尺②:844

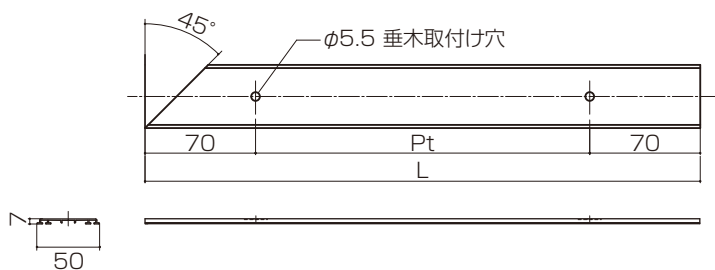
※出幅8尺②の野縁加工



※出幅9尺に上記の加工はありません。

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。

●出隅用中間垂木カバー



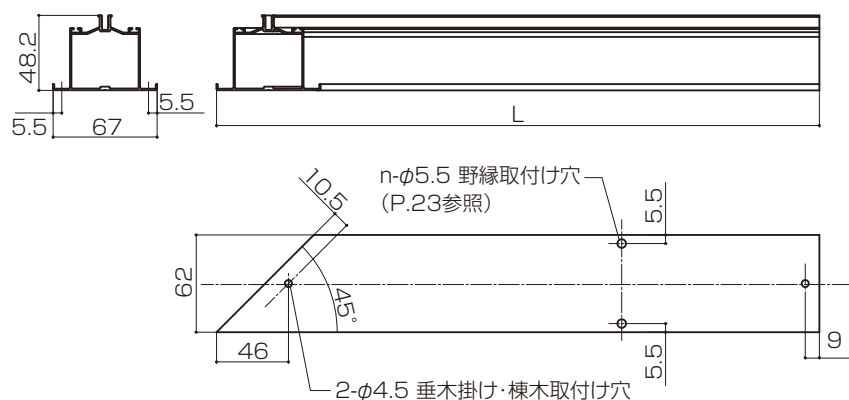
●L寸法=垂木L+34.5

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。

※垂木取付け穴(Pt)はPt≤240Iになるように均等に振分けてください。

●出隅用中間垂木

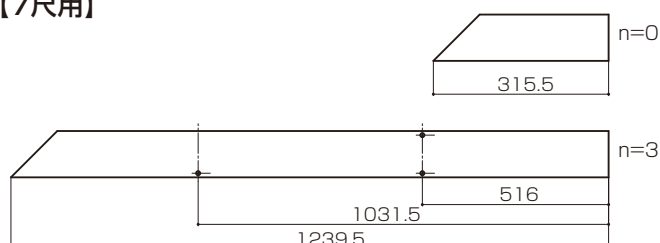
【7・8・9尺用】



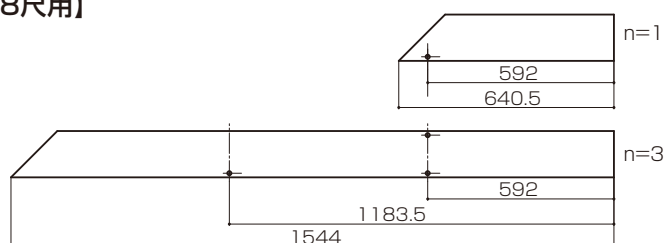
※図は内観左用を示します。右用は図と左右対称です。

※野縁を取付けない野縁取付け穴には、穴ふさぎシールを張ってください。
納まり上、野縁を取付けできない個所があります。

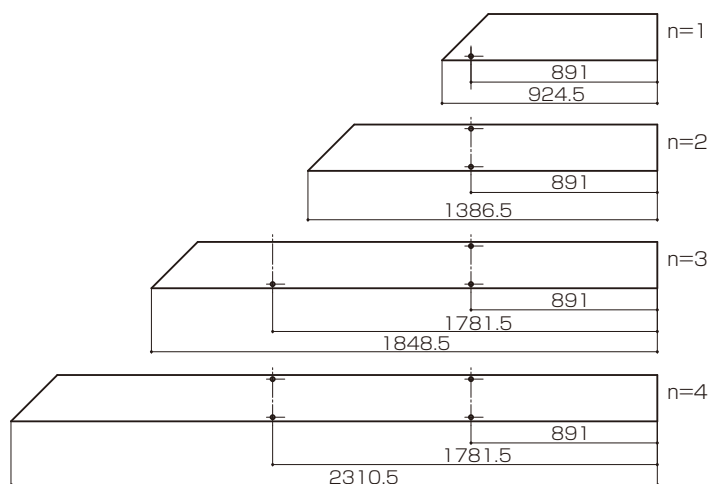
【7尺用】



【8尺用】

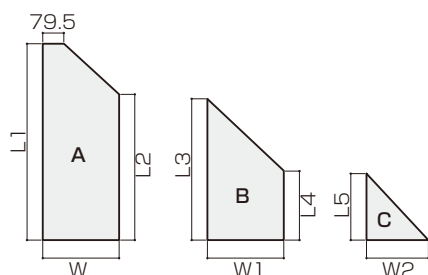


【9尺用】

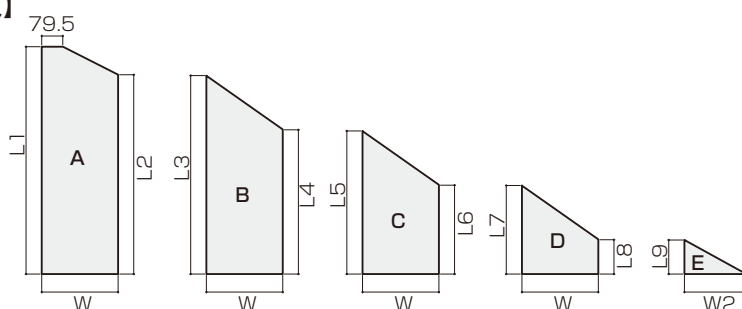


●屋根パネル

【7尺・8尺】



【9尺】

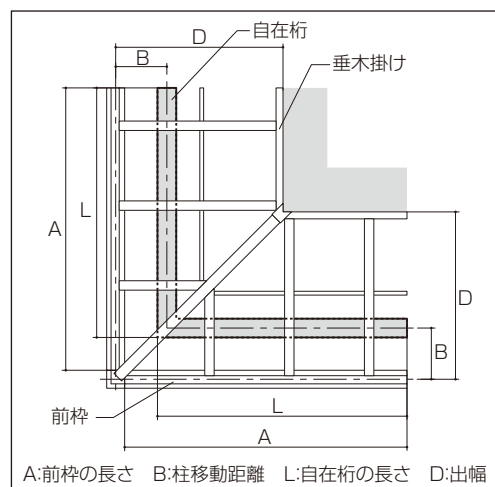


	A		B		C		D		E		W	W1	W2
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	—			
7尺	2139.5	1308.5	1296	383.5	372.5	—	—	—	—	—	899	899	367
8尺	2443.5	1612	1600.5	708	697	—	—	—	—	—	899	879	687
9尺	2748.5	2378.5	2367	1916.5	1905	1454.5	1443	992.5	981.5	—	444	—	966.5

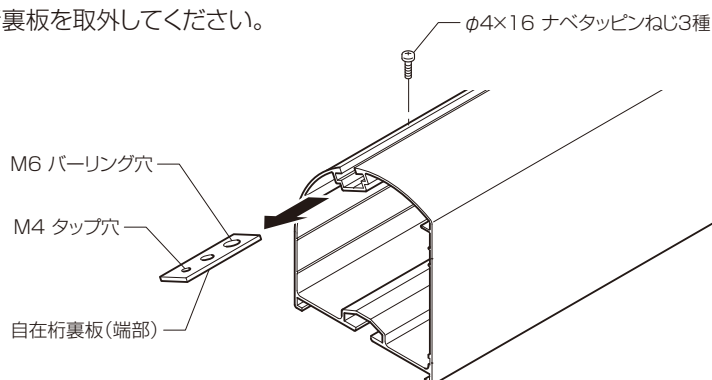
■取付け順序(出隅自在桁納まり)F型屋根

■1自在桁の加工

※自在桁加工の際は左右がありますので、取付ける向きを間違えないで加工してください。



①自在桁裏板を取外してください。



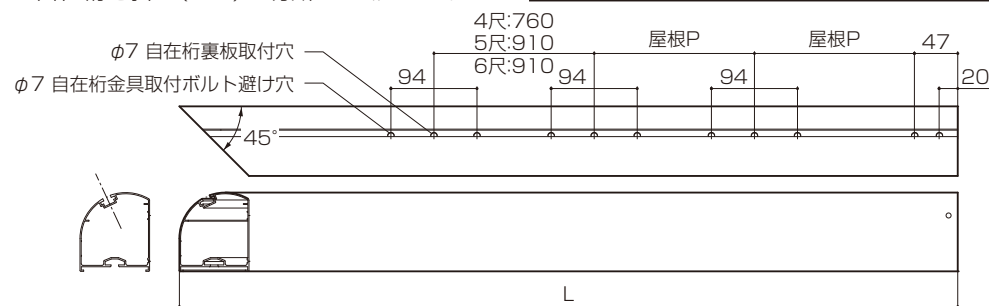
※4・5・6尺は自在桁裏板(中間)も1枚取外してください。

■出隅L寸算出表

単位:mm

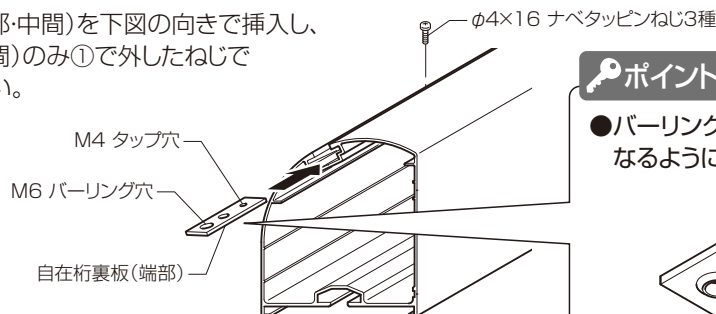
	B=150	B=200	B=250	B=300	B=350	B=400	B=450	B=500
L	A+74	A+24	A-26	A-76	A-126	A-176	A-226	A-276

②右記の寸法算出表および加工図にしたがい自在桁を斜め(45°)に切断してください。



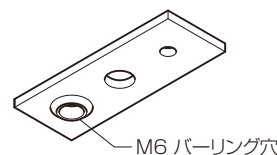
※図は内観右側を示します。

③自在桁裏板(端部・中間)を下図の向きで挿入し、自在桁裏板(中間)のみ①で外したねじで固定してください。



ポイント

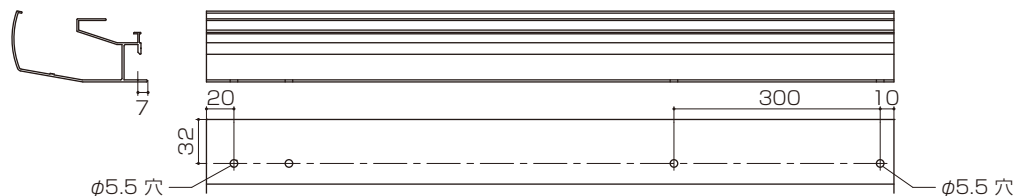
●バーリング穴のどっぱりが下向きになるように取付けてください。



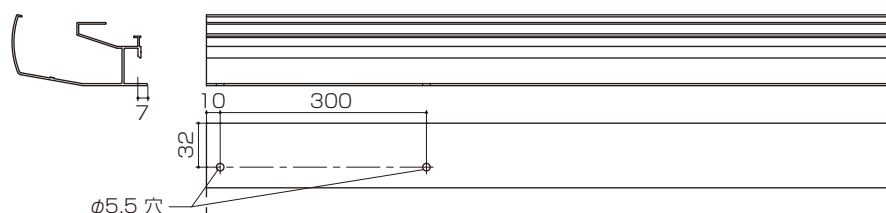
■2自在桁用前枠の加工

【F型屋根】

・出隅用自在桁用前枠



・自在桁用前枠



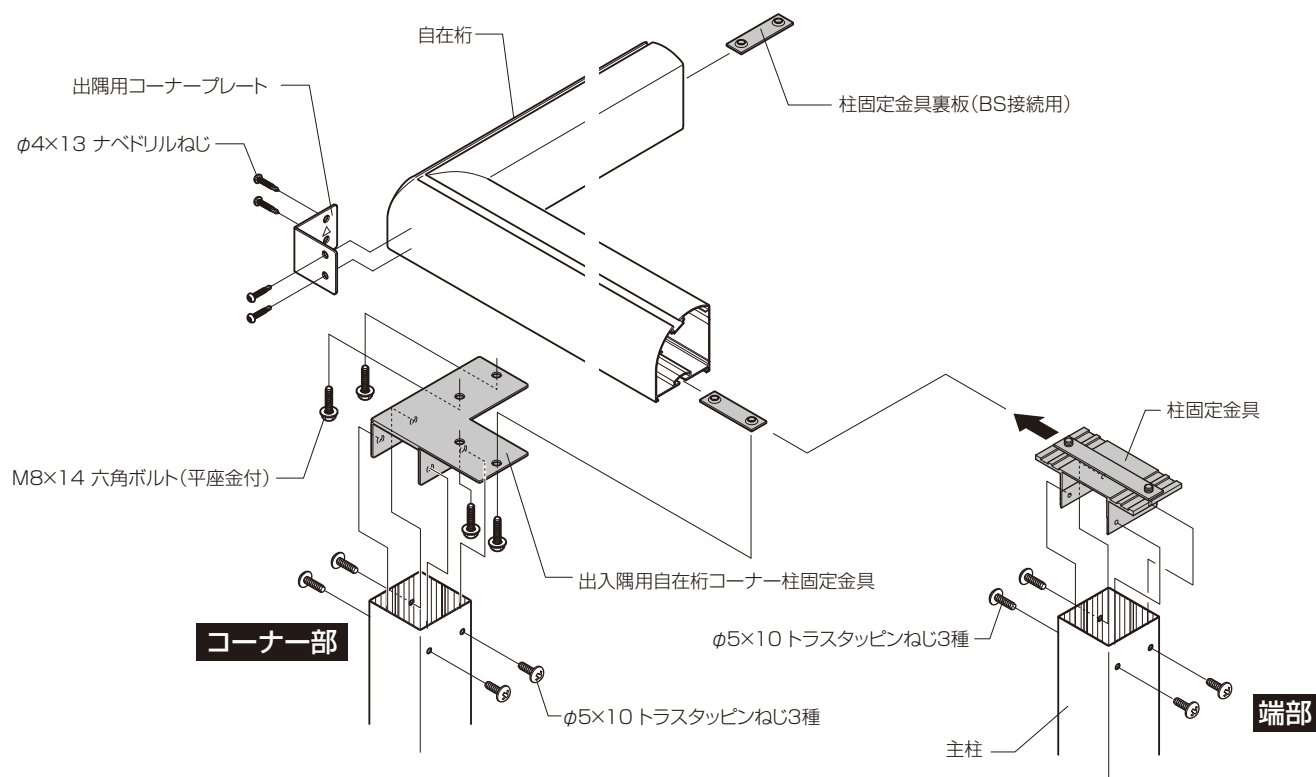
■3出隅用垂木掛けの取付け

●P.14の「1出隅用垂木掛けの取付け」をご覧ください。

4 自在桁・柱の取付け

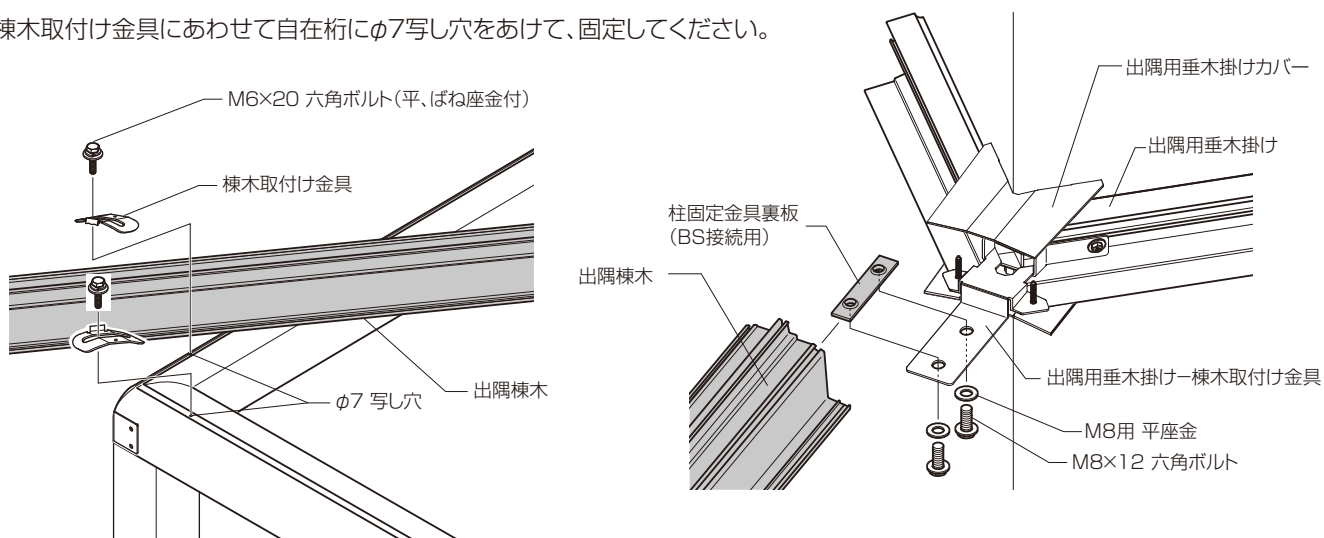
●柱の位置出しをし、基礎穴を掘ります。

※基礎穴への柱の納まりはテラス本体の取付け説明書を参照してください。



5 棟木の取付け

●棟木取付け金具にあわせて自在桁にφ7写し穴をあけて、固定してください。

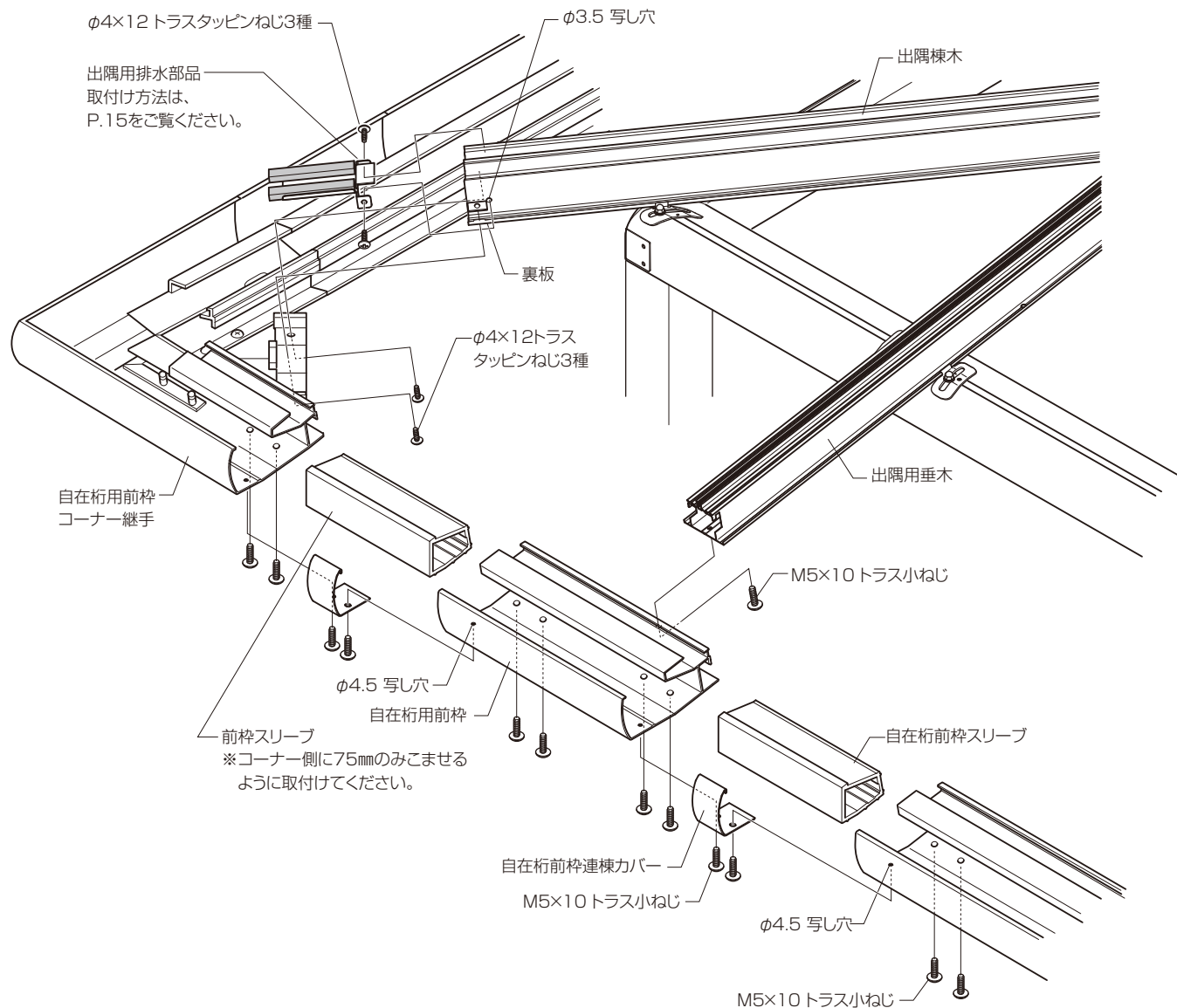


6 垂木掛けの取付け

●P.16の「4 垂木掛けの取付け」をご覧ください。

7 前枠・垂木・野縁の取付け

※垂木・野縁の取付けはP.19の「**7**中間垂木・野縁の取付け」をご覧ください。

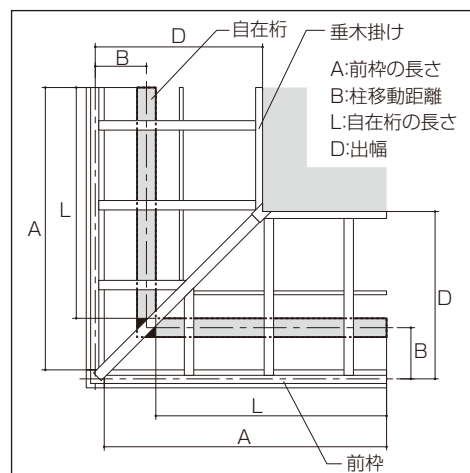


8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け

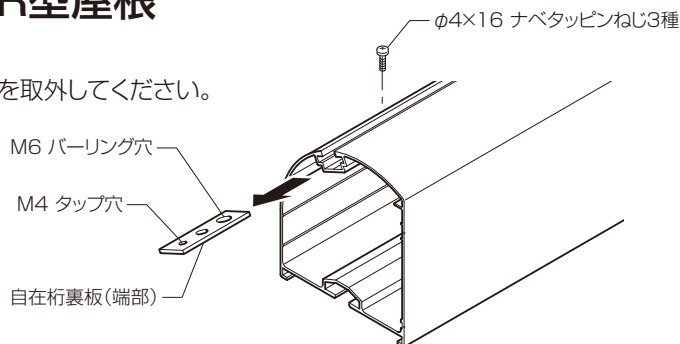
※屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付けはP.20の「**8**屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け」をご覧ください。

■取付け順序(出隅自在桁納まり)R型屋根

1 自在桁の加工



①自在桁裏板を取外してください。



※4・5・6尺は自在桁裏板(中間)も1枚取外してください。

②下記の寸法算出表および加工図にしたがい自在桁を加工してください。

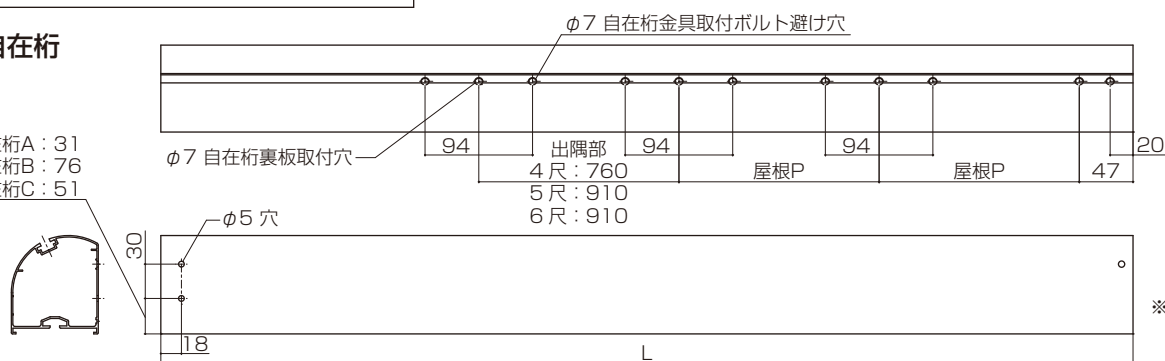
■出隅L寸算出表

単位:mm

	B=150	B=200	B=250	B=300	B=350	B=400	B=450
L	A-18.5	A-68.5	A-118.5	A-168.5	A-218.5	A-268.5	A-318.5

・自在桁

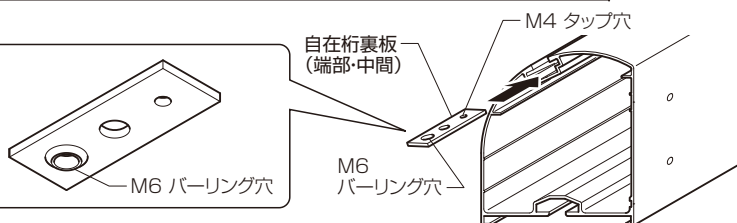
自在桁A: 31
自在桁B: 76
自在桁C: 51



③自在桁裏板(端部・中間)を右図の向きで挿入し、自在桁裏板(中間)のみ①で外したねじで固定してください。

ポイント

●バーリング穴の
でっぱりが下向きに
なるように取付けて
ください。



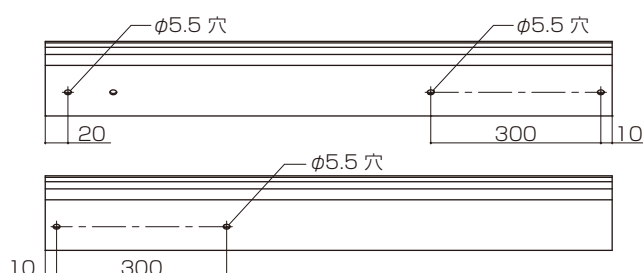
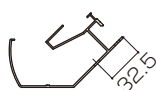
2 自在桁用前枠の加工・組立

【R型屋根】

・出隅用
自在桁用前枠



・自在桁用前枠



3 出隅用垂木掛けの取付け

●P.14の「1 出隅用垂木掛けの取付け」をご覧ください。

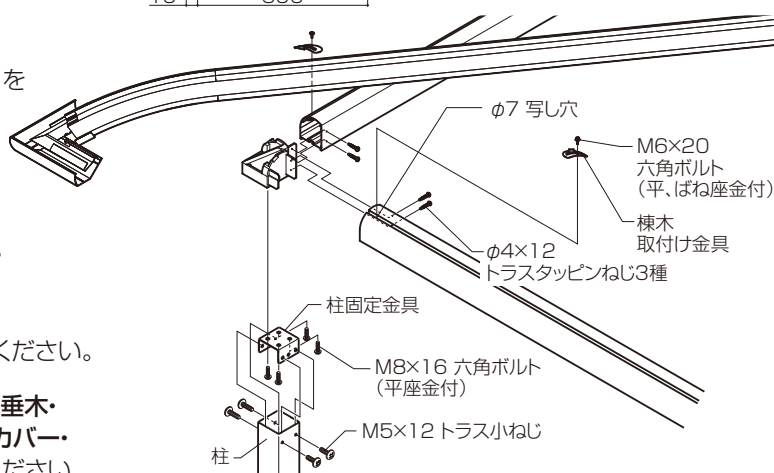
4 自在桁一柱・棟木の取付け

●棟木取付け金具にあわせて自在桁にφ7写し穴をあけて、固定してください。

5 垂木掛けの取付け

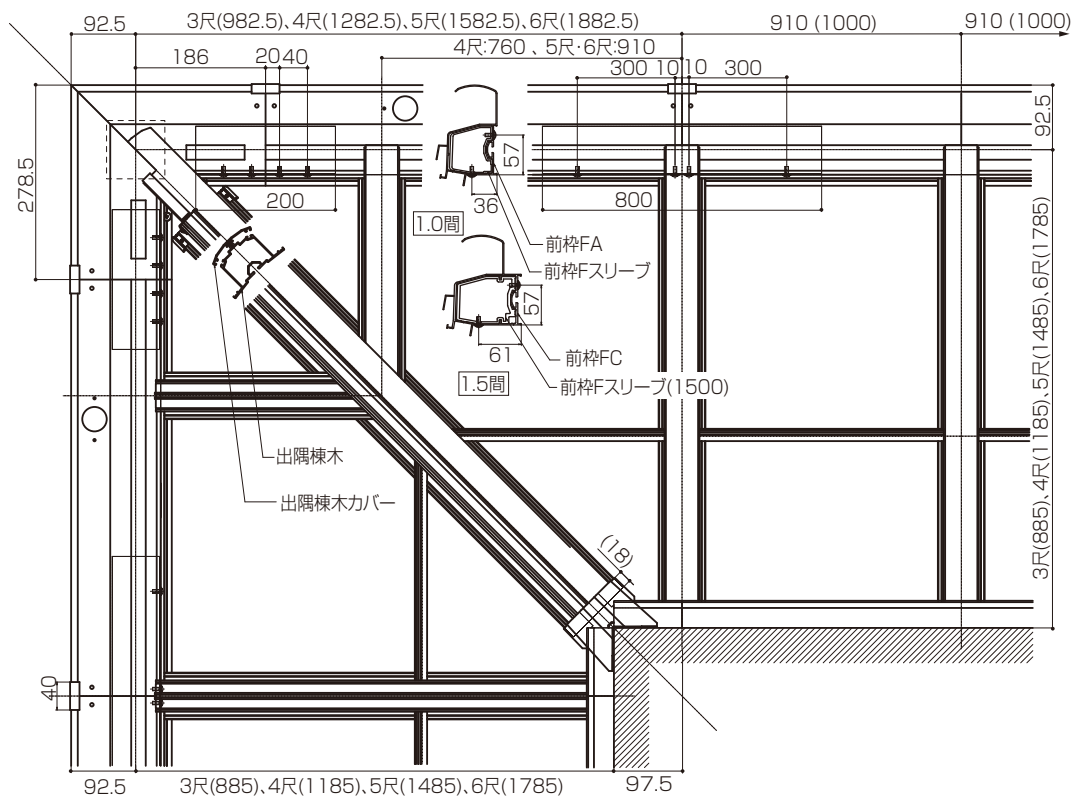
●P.16の「4 垂木掛けの取付け」をご覧ください。

※以降の手順については、P.26「7 前枠・垂木・野縁の取付け」～「8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け」と同様に行ってください。



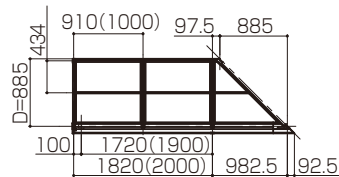
■納まり図

●F型屋根

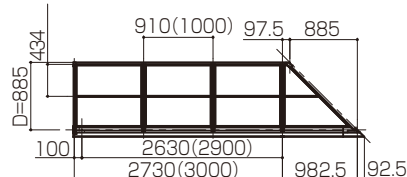


【寸法図】

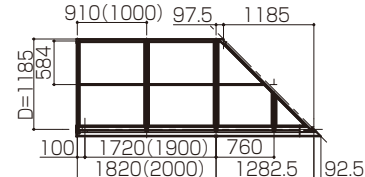
3R+1.0間



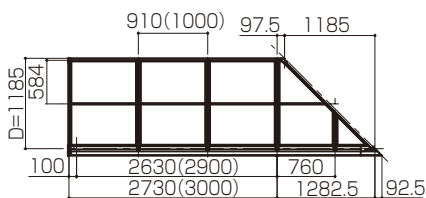
3R+1.5間



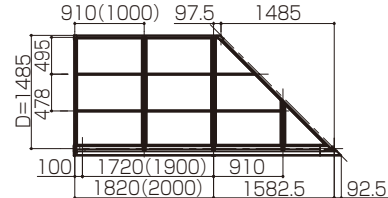
4R+1.0間



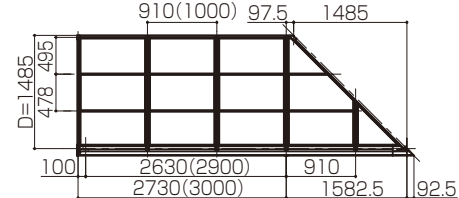
4R+1.5間



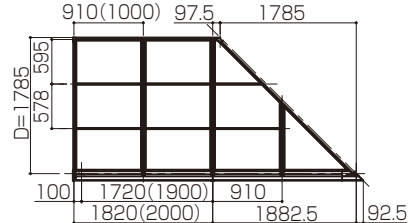
5R+1.0間



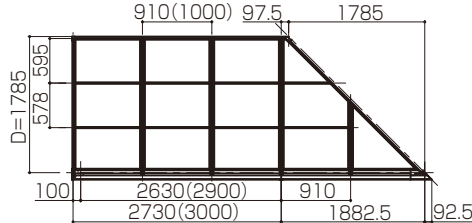
5R+1.5間



6R+1.0間

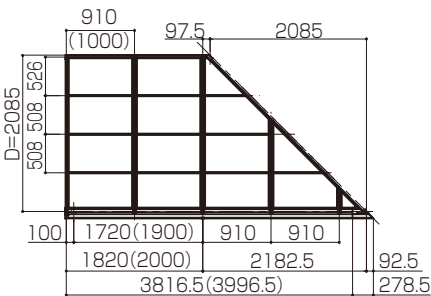


6R+1.5間

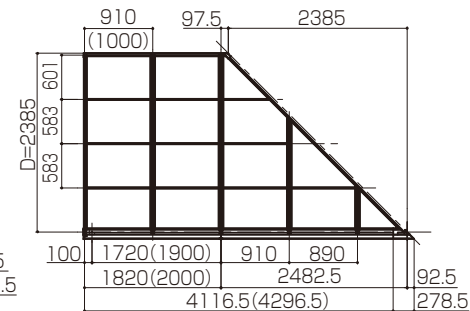


()内はメートル

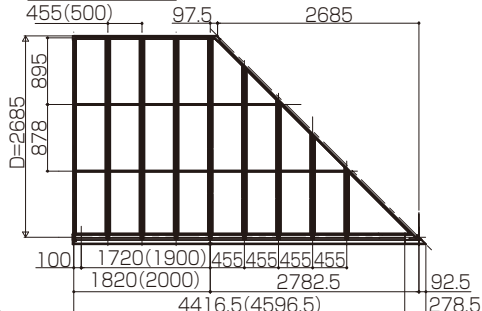
7R+1.0間



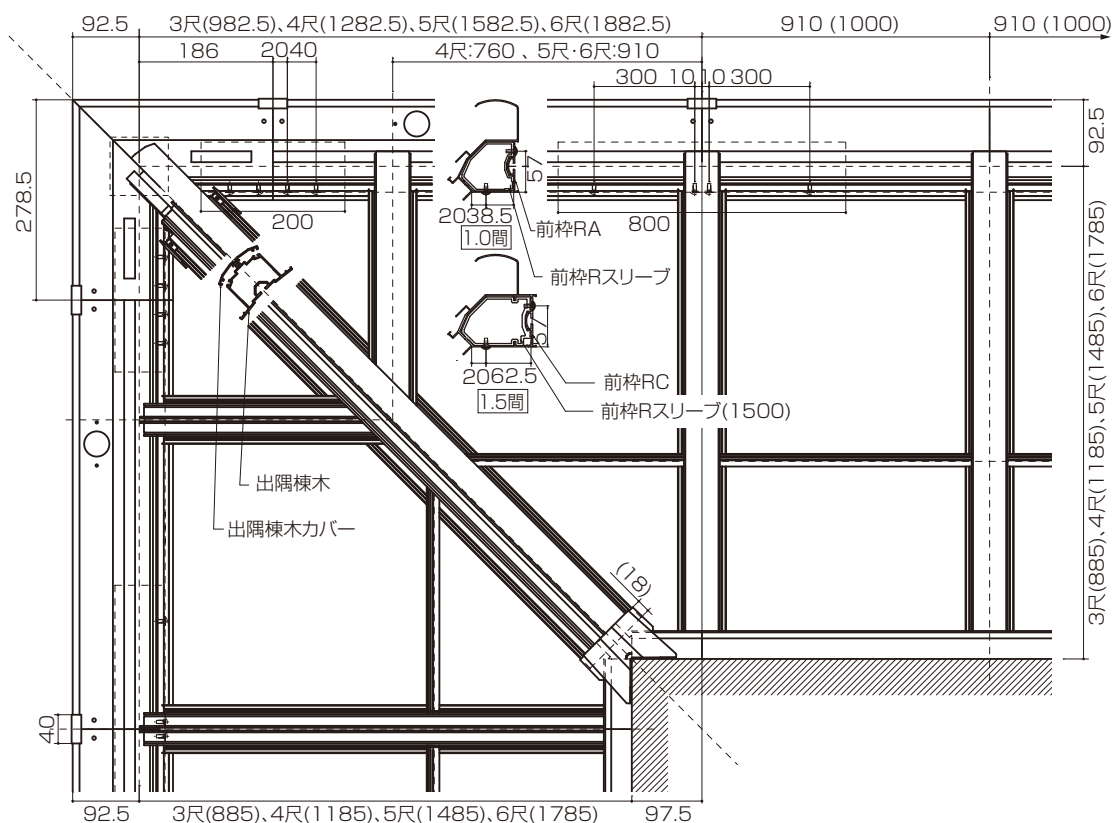
8R+1.0間



9R+1.0間

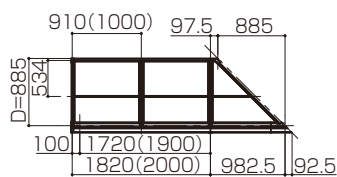


●R型屋根

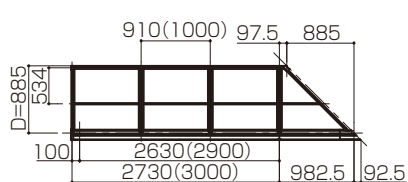


【寸法図】

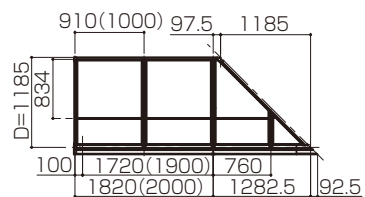
3尺+1.0間



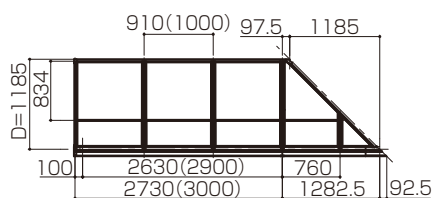
3尺+1.5間



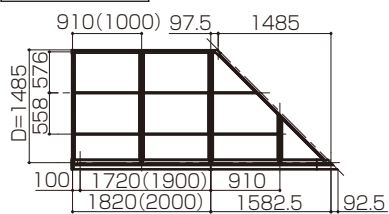
4尺+1.0間



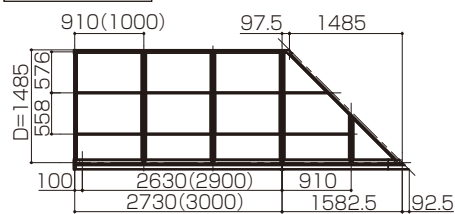
4尺+1.5間



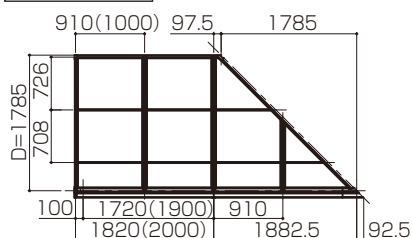
5尺+1.0間



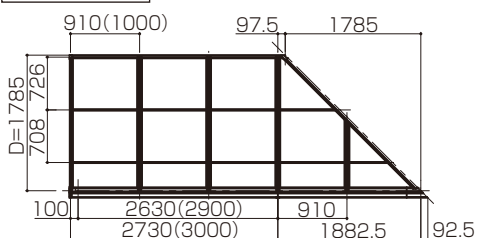
5尺+1.5間



6尺+1.0間

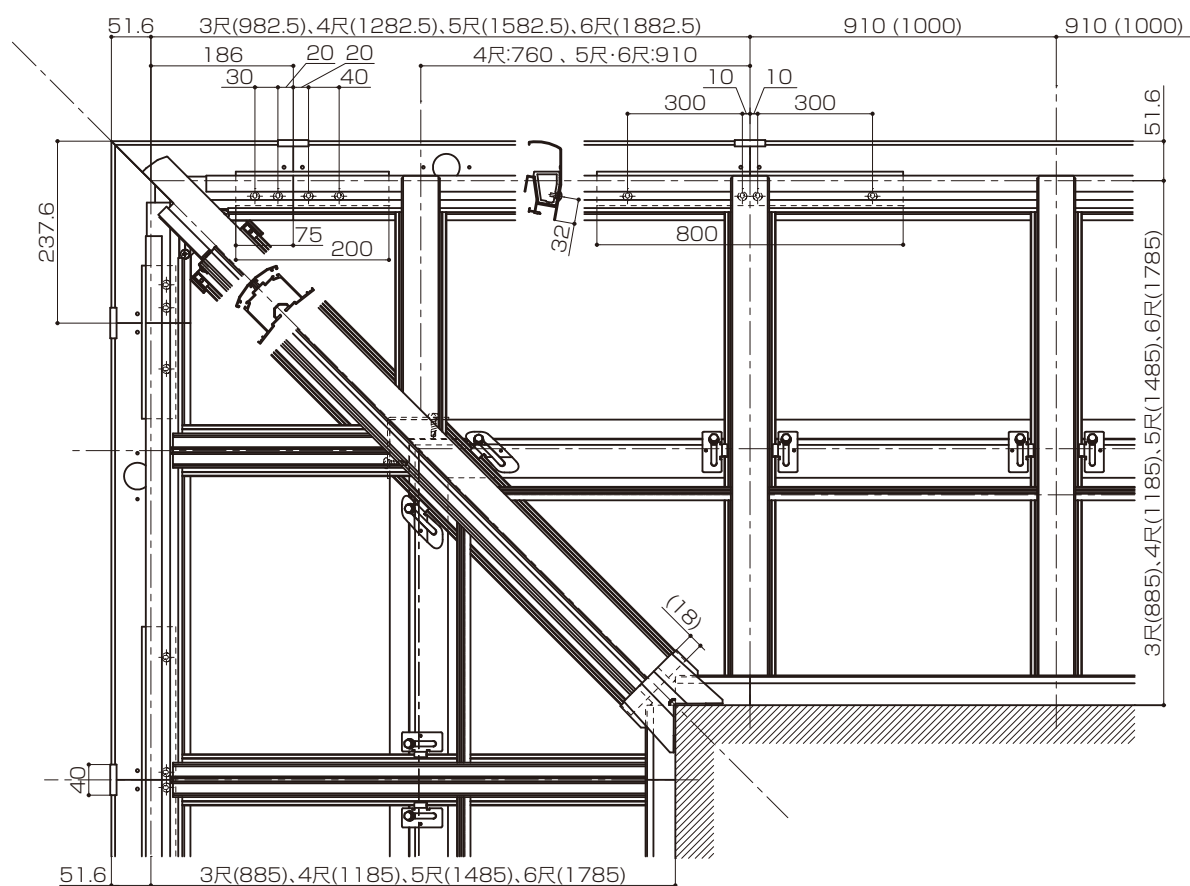


6尺+1.5間

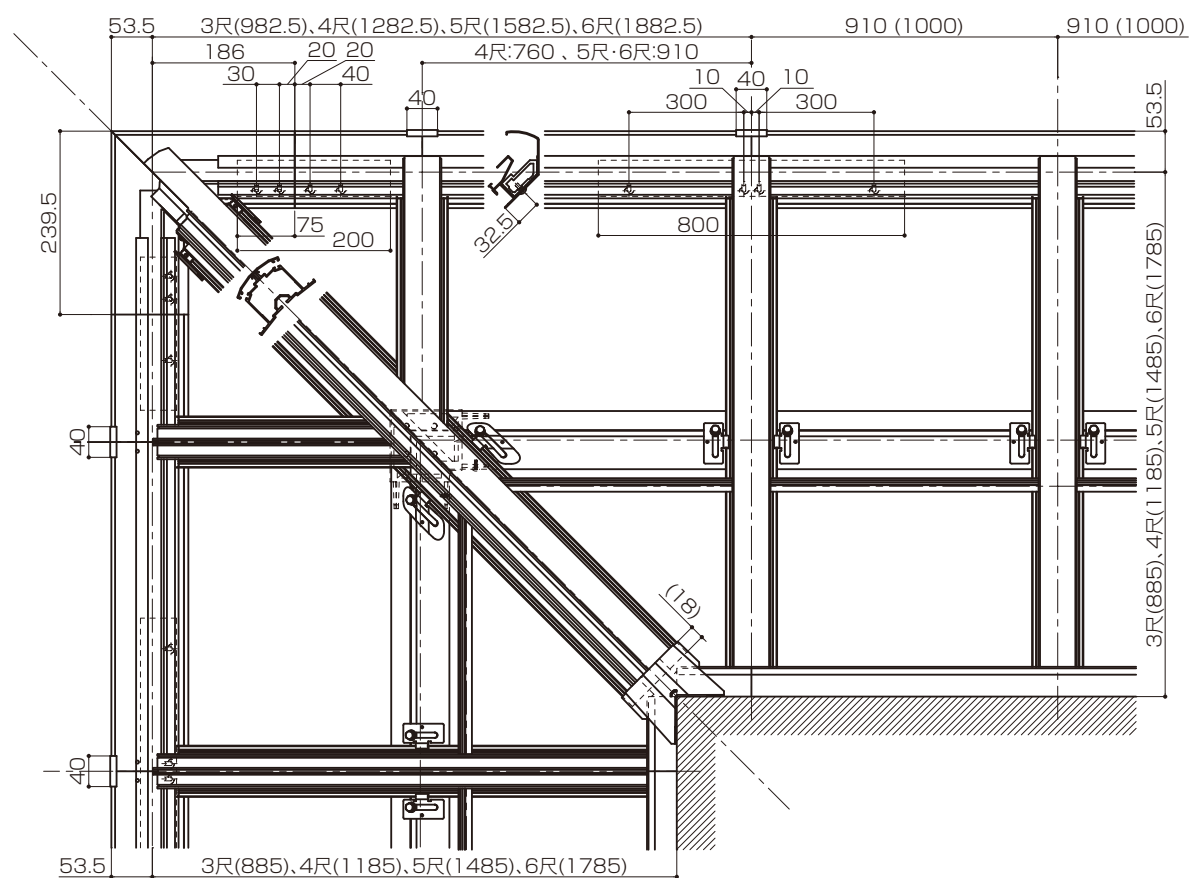


()内はメートル

●F型屋根(自在桁)



●R型屋根(自在桁)

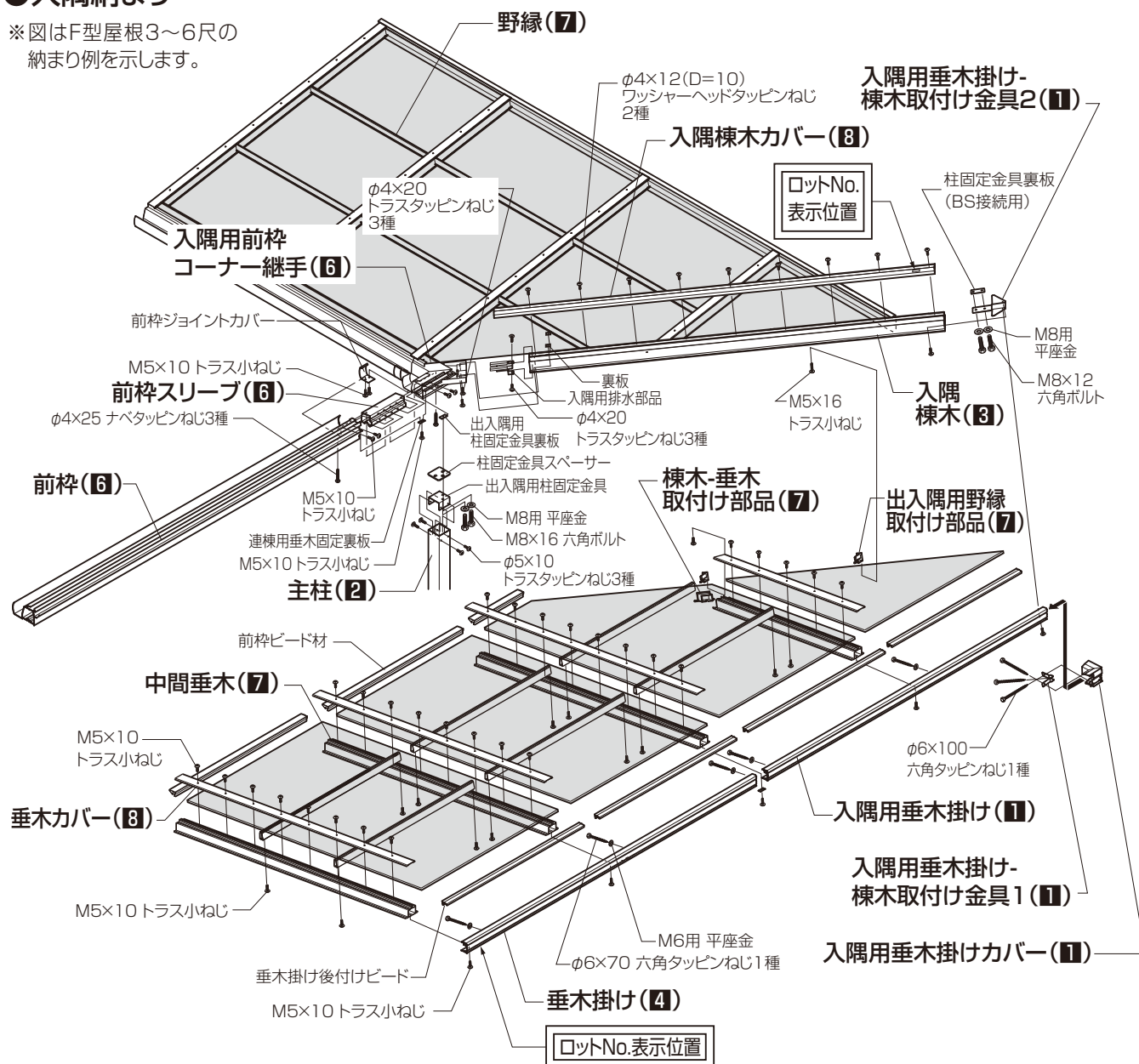


入隅納まり

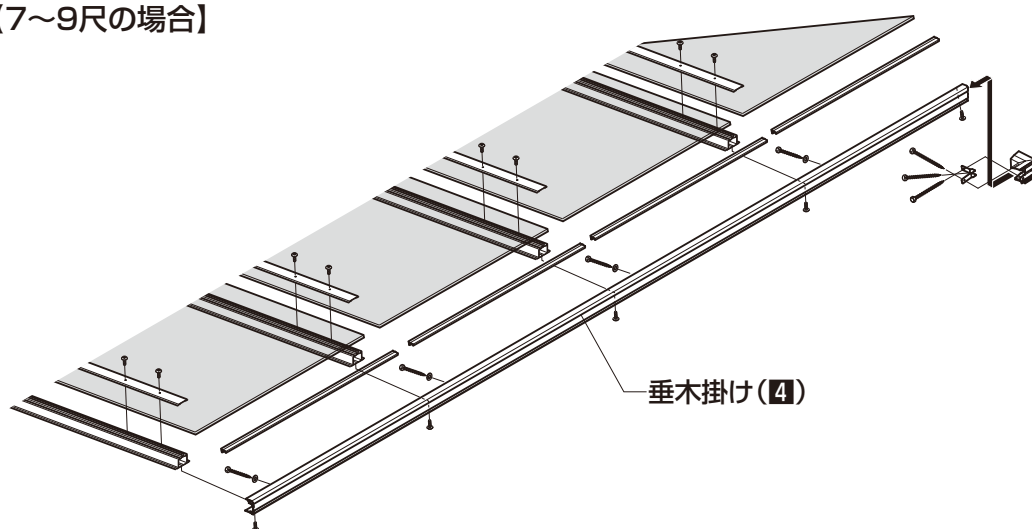
■構造説明図

●入隅納まり

※図はF型屋根3～6尺の
納まり例を示します。

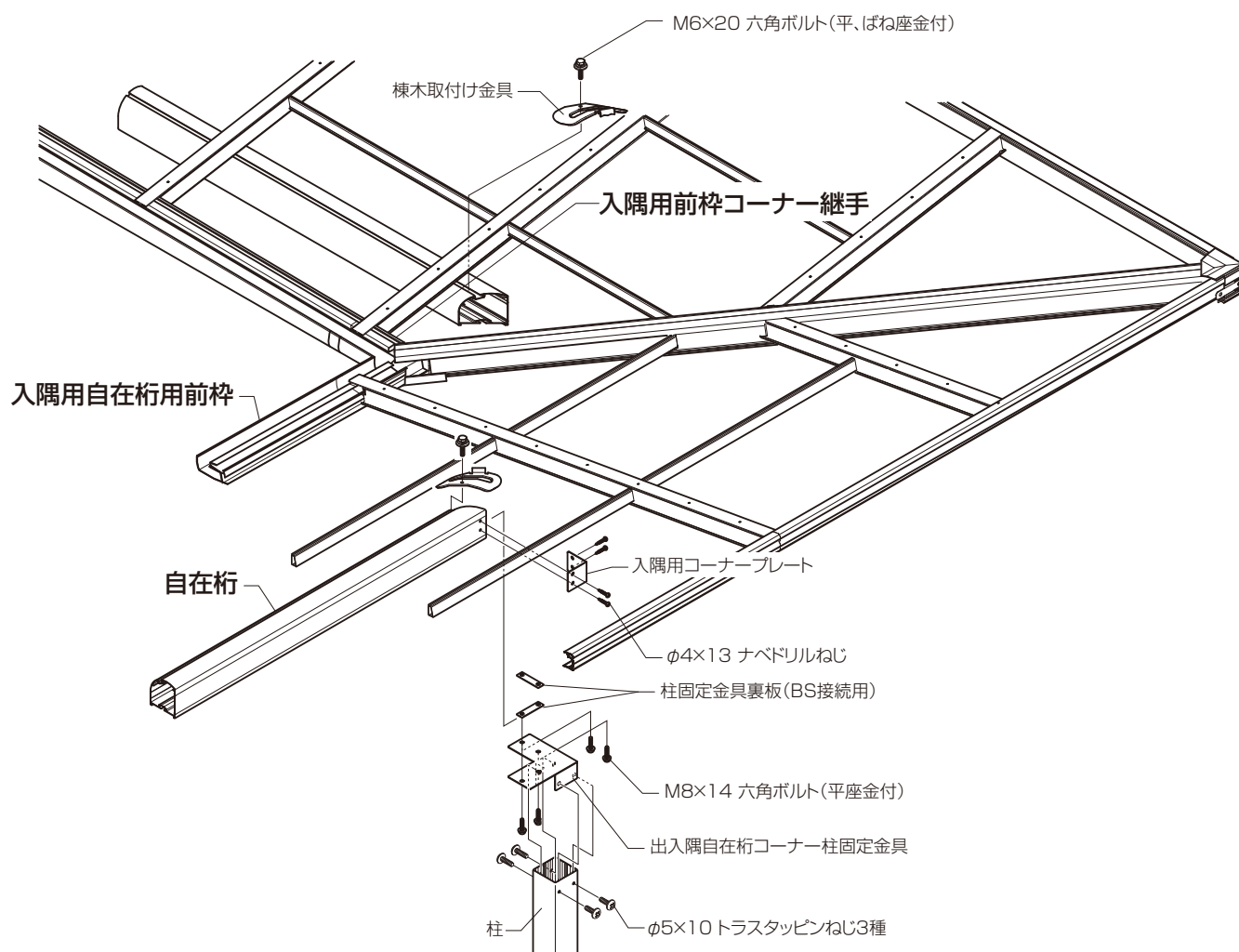


【7～9尺の場合】



●入隅自在桁納まり

※図はF型屋根の納まり例を示します。



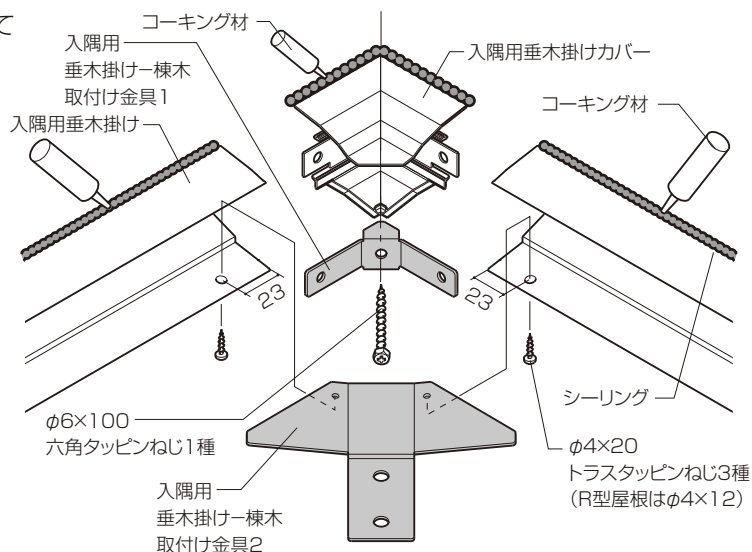
■取付け順序(入隅納まり)

※F型屋根7～9尺は組立て前にP.40～P.42を参照して部材の加工を行ってください。

■1入隅用垂木掛けの取付け

①位置を合わせて、垂木掛けカバー・入隅用垂木掛け一棟木取付け金具1・入隅用垂木掛けを取付けます。

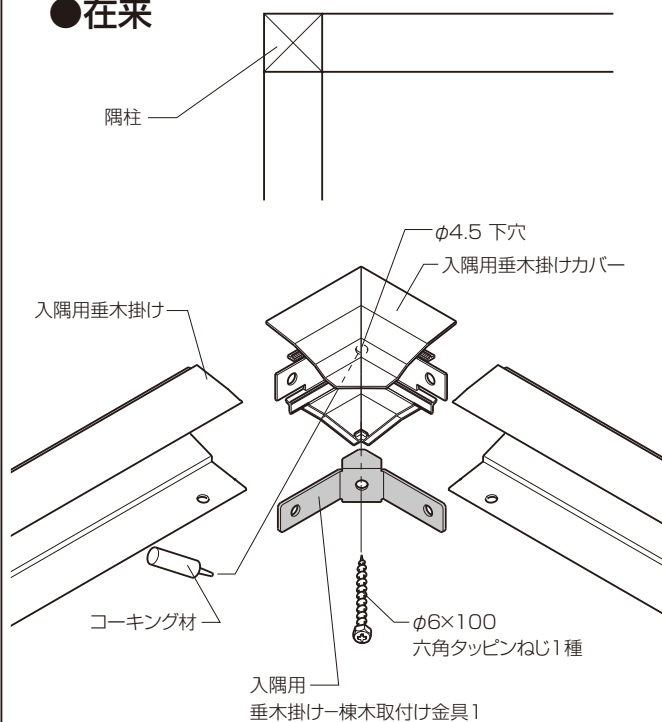
※入隅用の垂木掛けは左右があります。左図のように端部から23mmのところに穴がある側を、入隅コーナー部に向けて取付けてください。



②入隅用垂木掛けに、入隅用垂木掛け一棟木取付け金具2を固定してください。

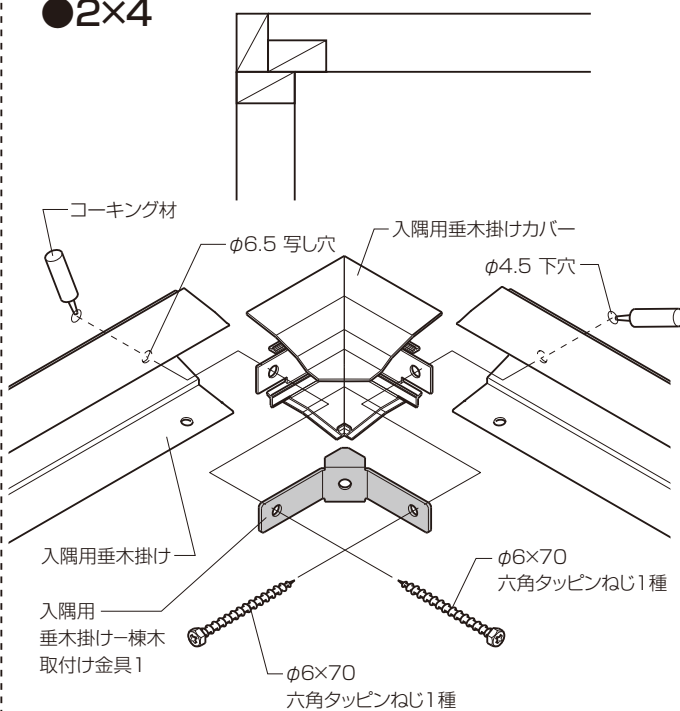
※下記事項に注意して躯体へ確実に取付けてください。

●在来



※垂木掛けを隅部から近い躯体に必ず固定してください。

●2×4



※垂木掛けを入隅用垂木掛けカバーに差込んでタッピンねじで固定してください。

■2柱の位置決め

●寸法図より、柱の位置出しをし、基礎穴を掘ります。

※基礎穴への柱の納まりは、テラス本体の取付け説明書を参照してください。

3 入隅棟木・コーナー柱の取付け

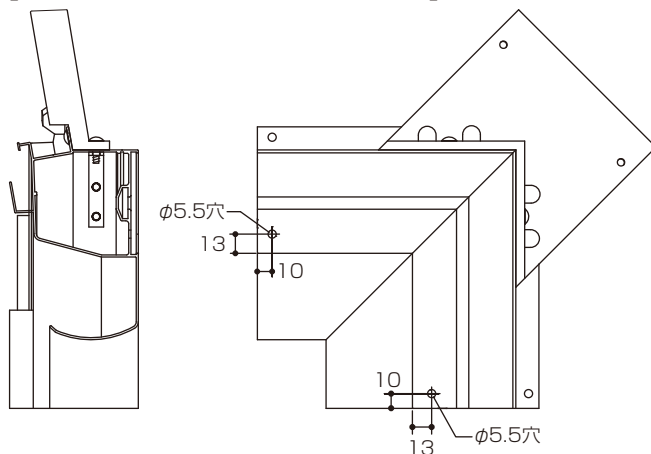
①入隅用前枠コーナー継手に穴加工してください。

前枠C用コーナー継手の場合も同様に加工してください。

※図はF型屋根用コーナー継手です。

R型屋根用コーナー継手も同様の加工をしてください。

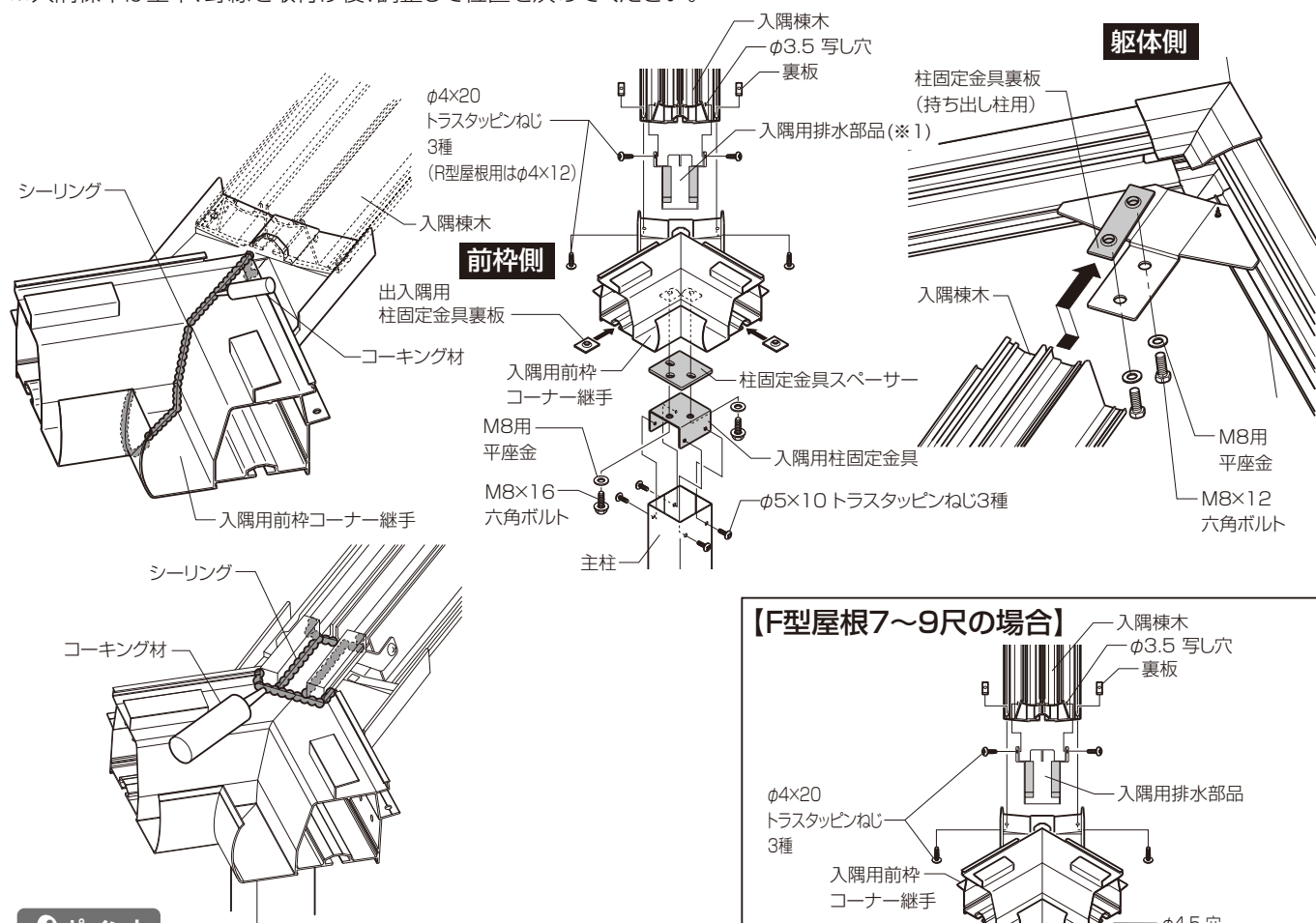
【入隅用前枠コーナー継手加工図】



②入隅用前枠コーナー継手の図のところにシーリングしてください。

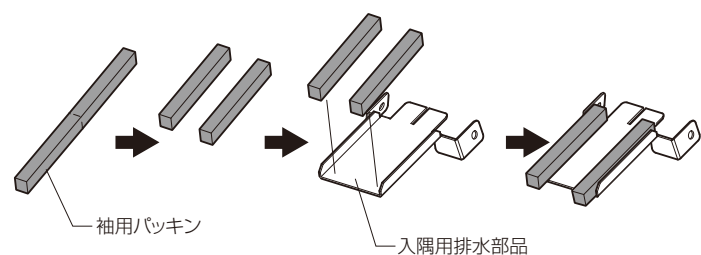
※図はF型屋根用です。R型屋根用も同様に行ってください。

※入隅棟木は垂木、野縁を取付け後、調整して位置を決めてください。

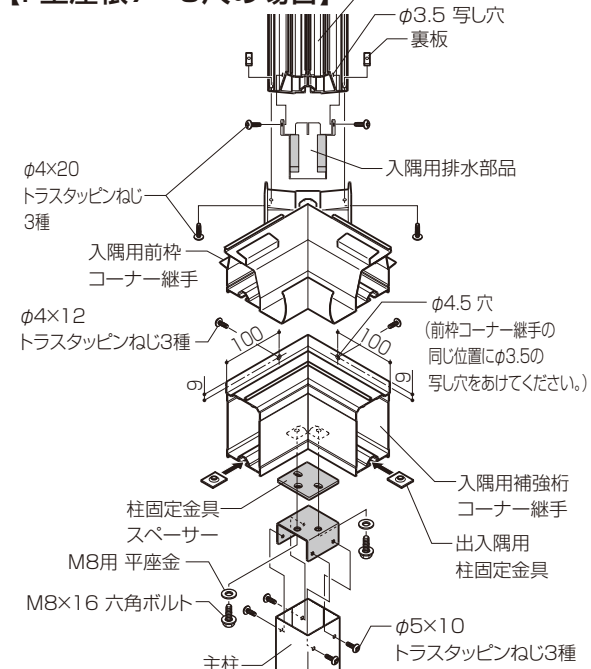


ポイント

※1 袖用パッキンを半分に切断して入隅用排水部品に取付けてください。

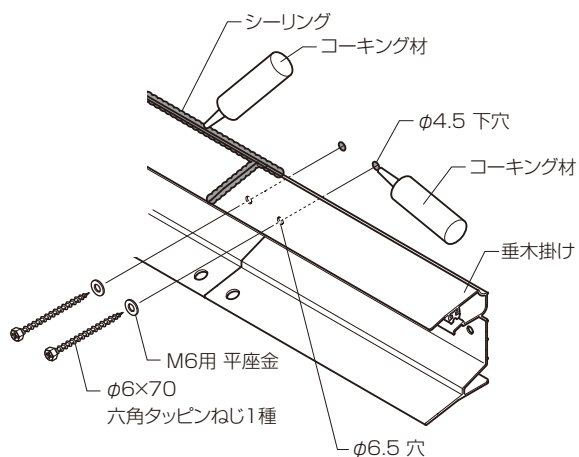


【F型屋根7～9尺の場合】



4 垂木掛けの取付け

- 垂木掛けの躯体取付け穴(φ6.5)を柱、間柱などの躯体構造位置に合わせてあけた後、取付けてください。

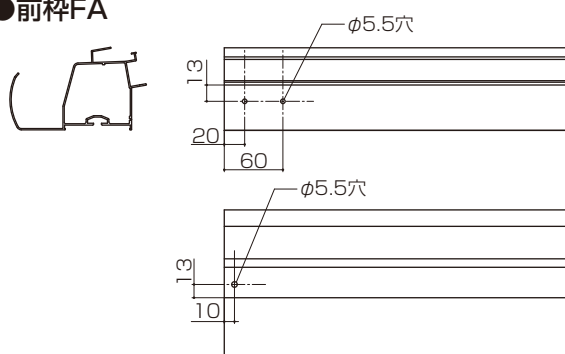


5 前枠の加工

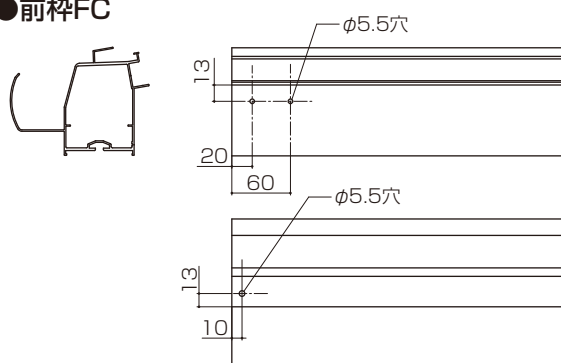
- ※F型屋根7尺～9尺は加工済です。(P.40～P.42を参照してください。)
- ※図は内観右用です。左用は図と左右対称の加工になります。

【F型屋根】

●前枠FA

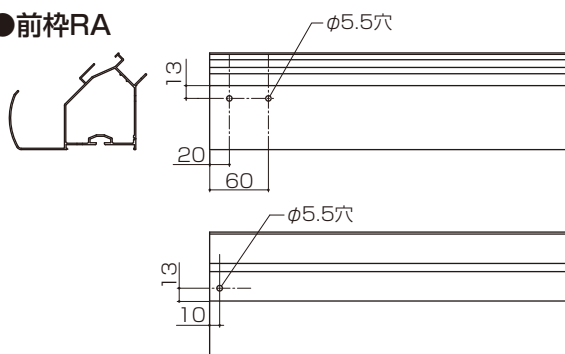


●前枠FC

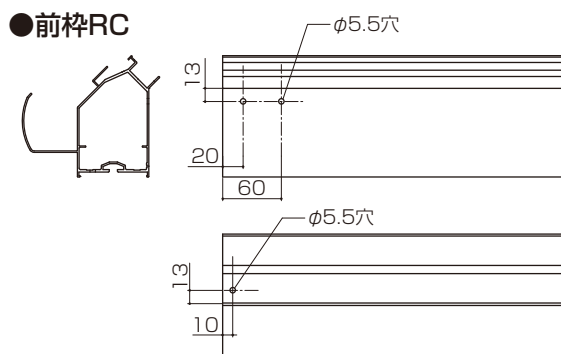


【R型屋根】

●前枠RA

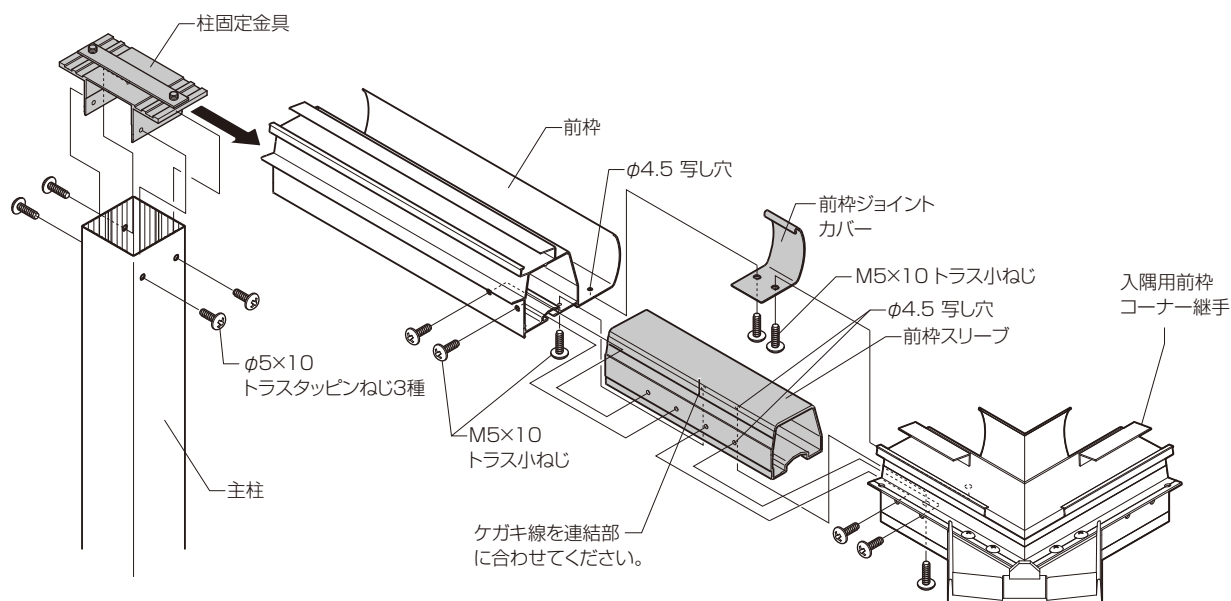


●前枠RC



6 前枠・柱の取付け

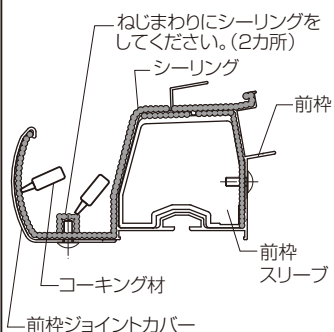
※図はF型屋根を示します。



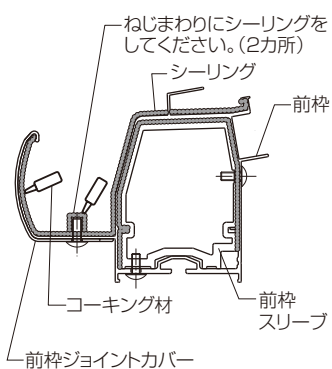
■ジョイント部シーリング箇所

【F型屋根】

・前枠FA

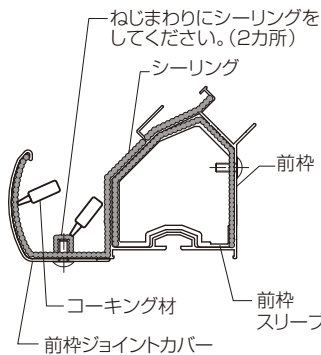


・前枠FB・FC

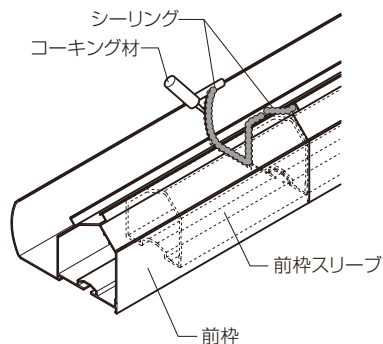
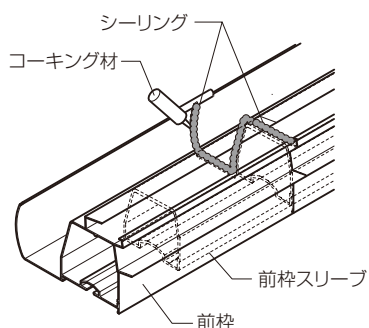
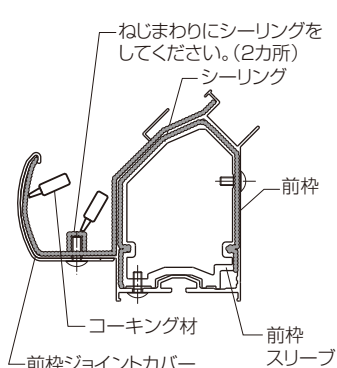


【R型屋根】

・前枠RA



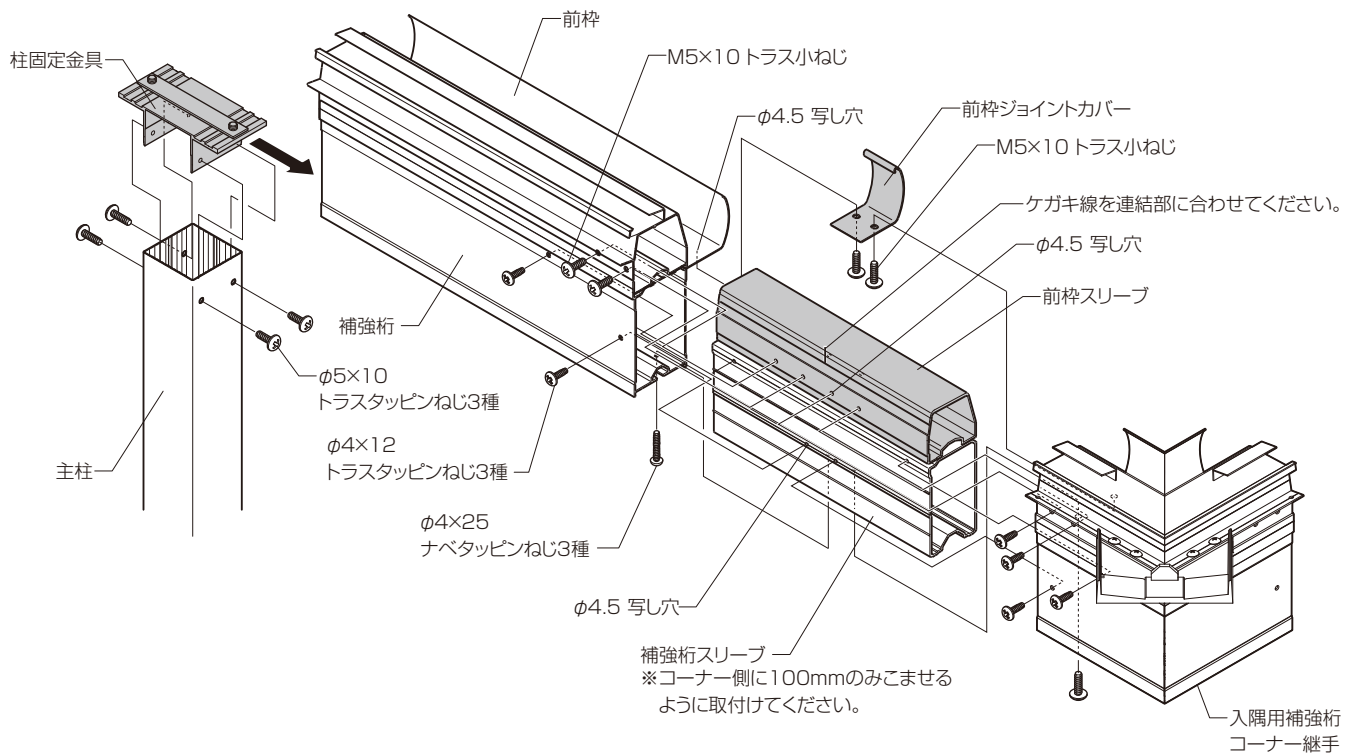
・前枠RB・RC



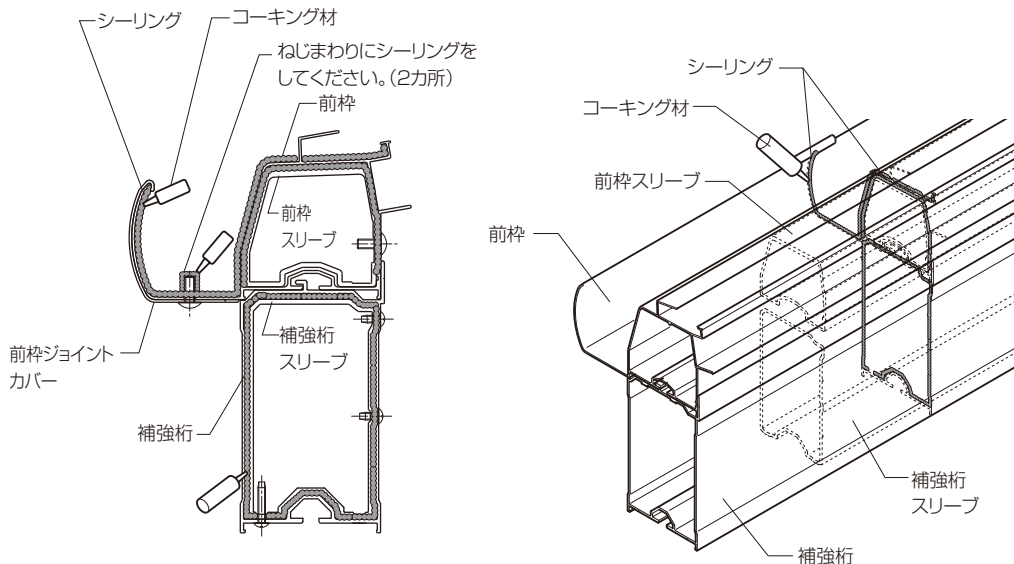
🔑ポイント

- 積雪耐荷重に違いがありますので、製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、必ず棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合は、張替えは不要です。

【F型屋根7尺～9尺の場合】



■ジョイント部シーリング箇所 【F型屋根】



ポイント

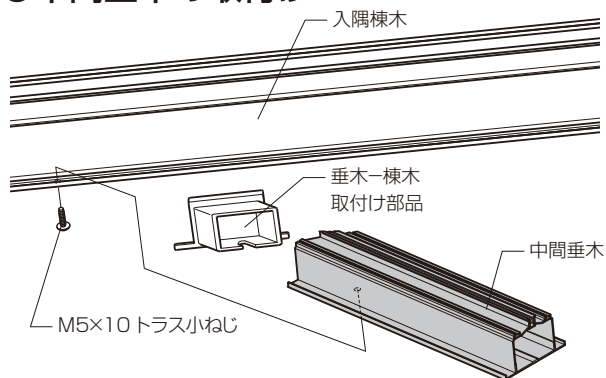
- 積雪耐荷重に違いがありますので、製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、必ず棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合は、張替えは不要です。

7 中間垂木・野縁の取付け

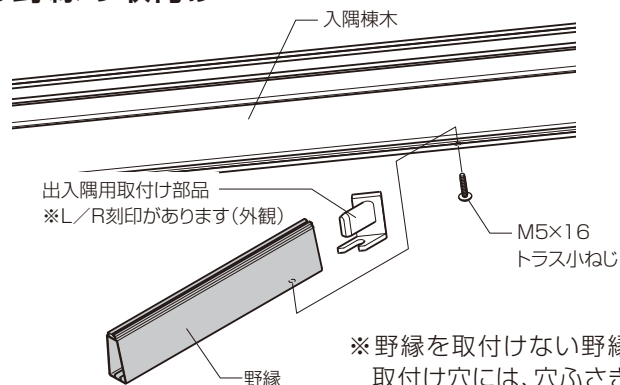
※中間垂木、端部垂木、野縁はテラス本体の取付け説明書を参照してください。

●入隅用垂木(野縁)の斜めに加工されている端部に垂木-棟木(野縁)取付け部品を差込み入隅棟木に固定します。

●中間垂木の取付け



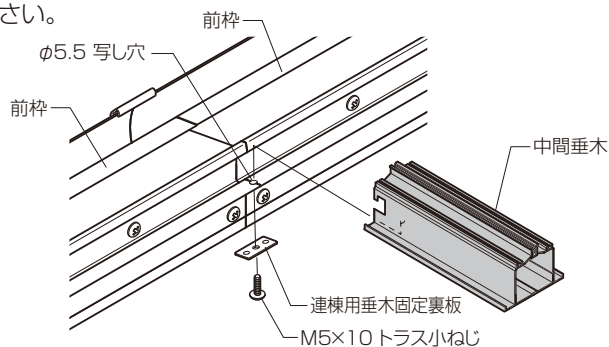
●野縁の取付け



※野縁を取付けない野縁
取付け穴には、穴ふさぎ
シールを張ってください。
納まり上、野縁を取付け
できない個所があります。

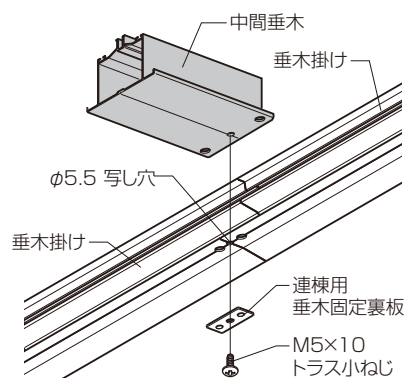
●中間垂木の取付け(前枠側)

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。



●中間垂木の取付け(垂木掛け側)

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。



8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け

※屋根パネルは表裏を確認して取付けてください。

※取付け作業後、養生シートをはがしてください。

① 躯体側の屋根パネルを均等に取付け、屋根パネルにコーキング材を乗せてください。(右図参照)

② 棟木カバーを入隅用垂木掛けカバーの下にもぐり込ませて、①のコーキング材がずれないようにねじ止めます。(矢視B参照)

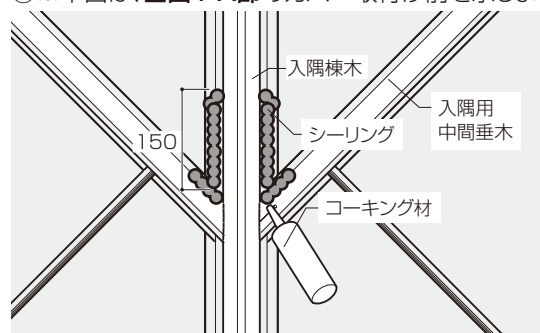
③ 入隅用垂木カバーの穴にコーキング材を充てんしてからねじ止めてください。

④ 垂木掛け後付けビードおよび前枠ビード材を取付けてください。

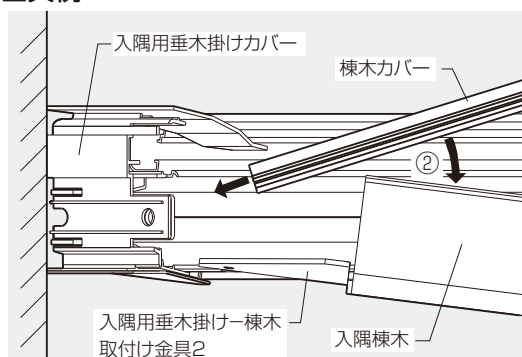
⑤ 入隅用垂木掛けカバーの周囲および棟木カバーと垂木カバーの接合部にシーリングをします。その際、C部にコーキング材を充てんしてください。

※雨どい、キャップの取付けはテラス本体の取付け説明書を参照してください。

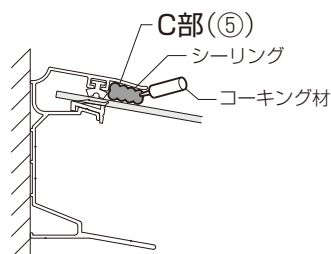
① ※本図は、**■図1-A部**のカバー取付け前を示します。



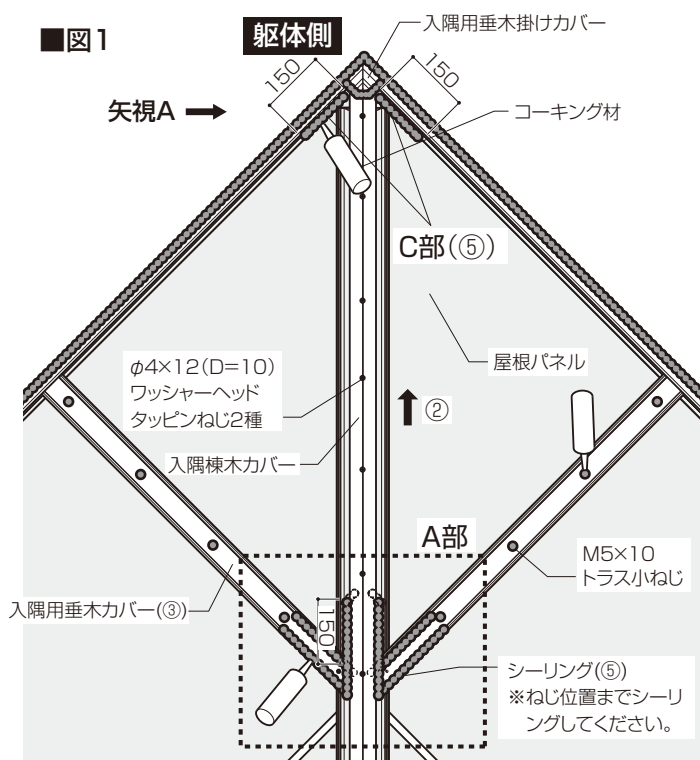
■矢視A



【断面図】

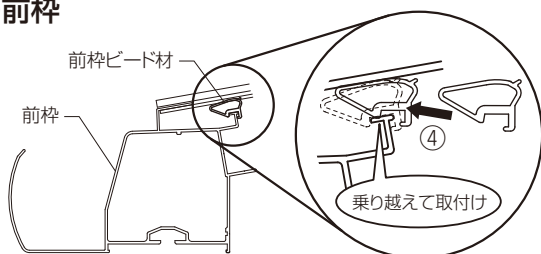


■図1

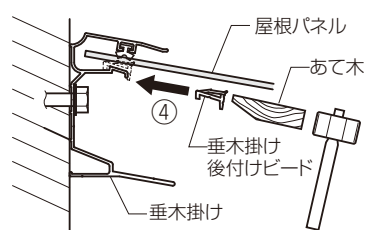


■後付けビード詳細図

●前枠



●垂木掛け

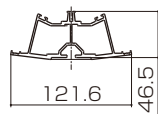


■部材の加工

※7～9尺の場合、3～6尺と納まりが異なります。(P.31 参照)

【F型屋根7尺～9尺の場合】

●入隅棟木

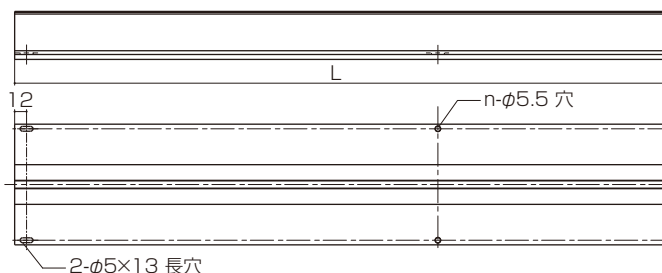


●L寸法

出幅7尺: 2762.5

出幅8尺: 3190

出幅9尺: 3617.5



7尺用 n=8

	436.5	1010	286.5	395
2762.5				

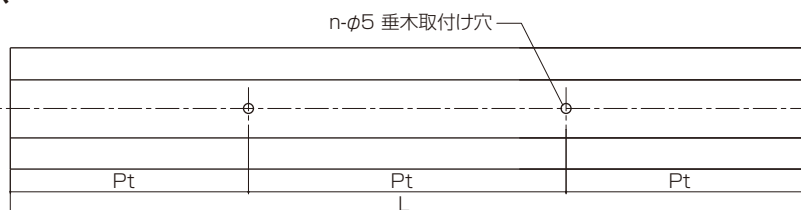
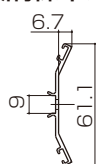
8尺用 n=8

	330	500	797	822.5
3190				

9尺用 n=10

	648.5	648.5	648.5	648.5	601.5
3617.5					

●入隅棟木カバー



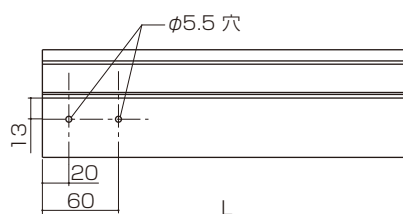
●L寸法

7尺:2922、8尺:3349.5、
9尺:3777

※棟木取付け穴(Pt)は100≤
Pt≤240になるように均等に
振分けてください。

●前枠

【F型屋根】



●L寸法

7～9尺+0.5間: 910

7～9尺+1.0間:1820

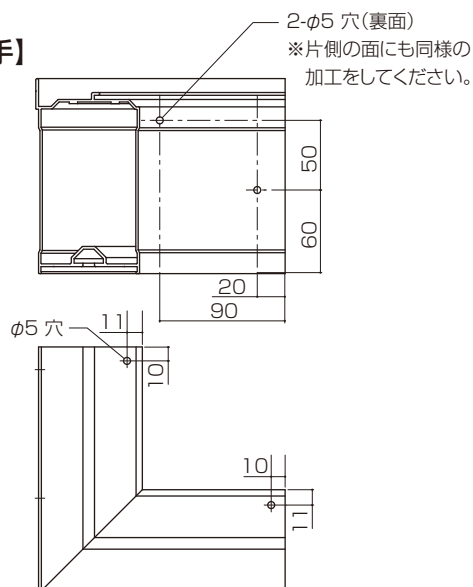
7～9尺+1000:1000

7～9尺+2000:2000

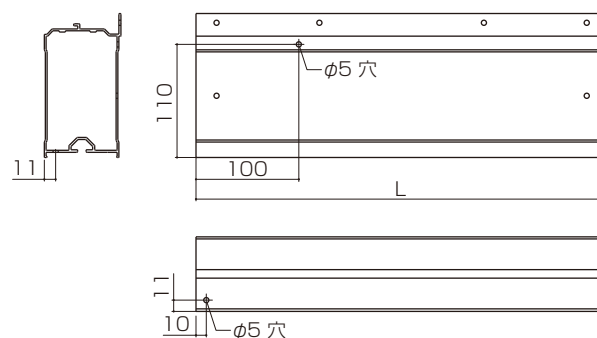
※図は内観右用の加工を示します。左用は図と左右対称です。

●補強桁B

【補強桁 コーナー継手】



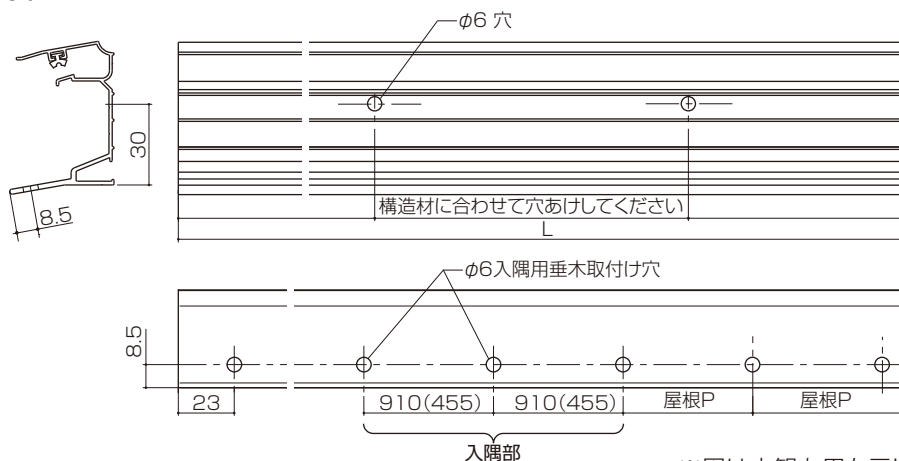
【補強桁B】



●L寸法=前枠Lと同寸法

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。

●垂木掛けB

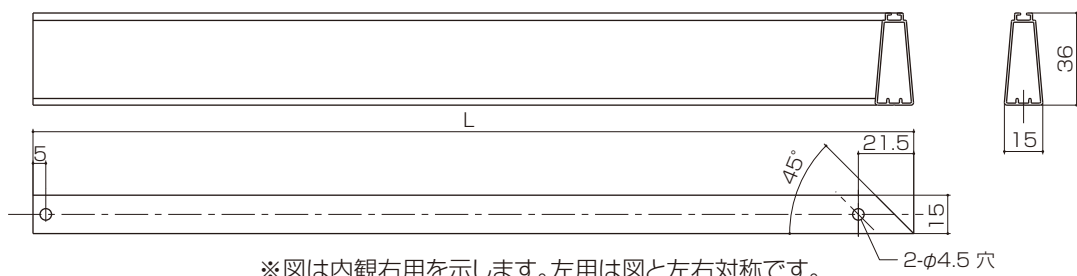


●L寸法

7尺+0.5間:	3088.5
8尺+0.5間:	3388.5
9尺+0.5間:	3688.5
7尺+1.0間:	3998.5
8尺+1.0間:	4298.5
9尺+1.0間:	4598.5
7尺+1000:	3178.5
8尺+1000:	3478.5
9尺+1000:	3778.5
7尺+2000:	4178.5
8尺+2000:	4478.5
9尺+2000:	4778.5

※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。
 ※メーターの垂木掛けの場合、入隅部の垂木取付け穴を910ピッチ(ハーフピッチの場合は455)にあけなおしてください。使わない穴には穴ふさぎシールを張ってください。

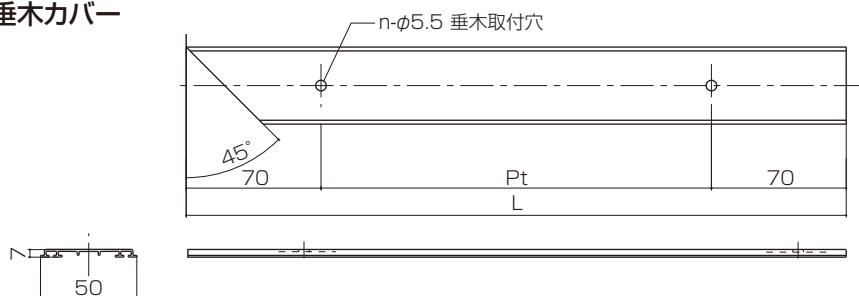
●入隅用野縁B



●L寸法 出幅7尺1:708 出幅7尺2:602.5
 出幅8尺1:349.5 出幅8尺2:677

※出幅9尺に上記の加工はありません。

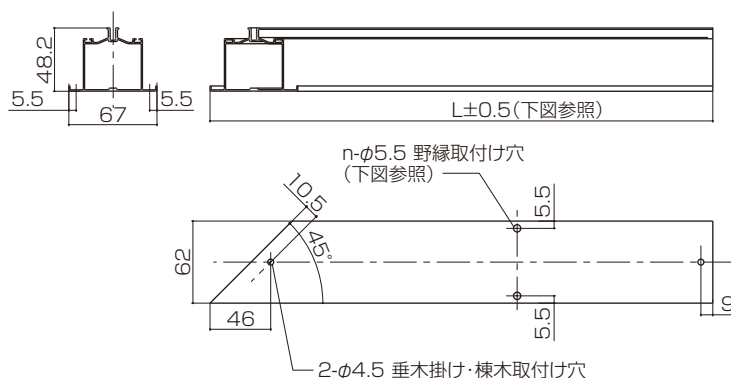
●中間垂木カバー



※図は内観右用を示します。左用は図と左右対称です。
 ※垂木取付け穴(Pt)は $Pt \leq 240$ になるように均等に振分けてください。

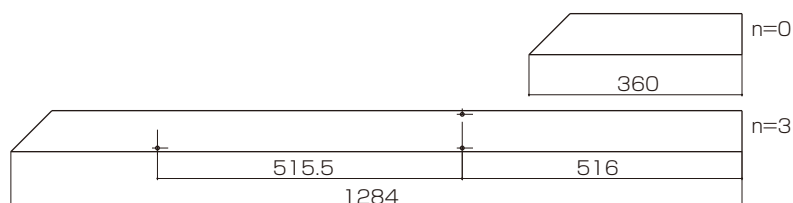
●L寸法=垂木L+10

●中間垂木
【7・8・9尺用】

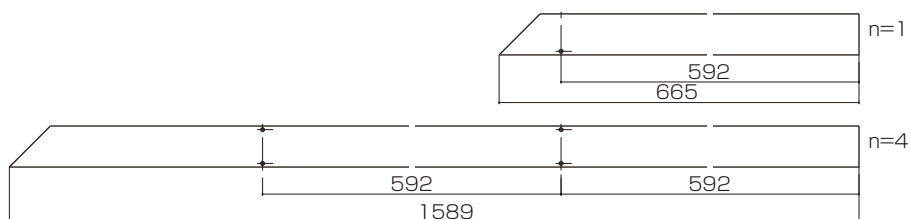


※図は内観右用を示します。
左用は図と左右対称になります。
※野縁を取付けない野縁取付け穴には、穴ふさぎシーンを張ってください。
納まり上、野縁を取付けできない個所があります。

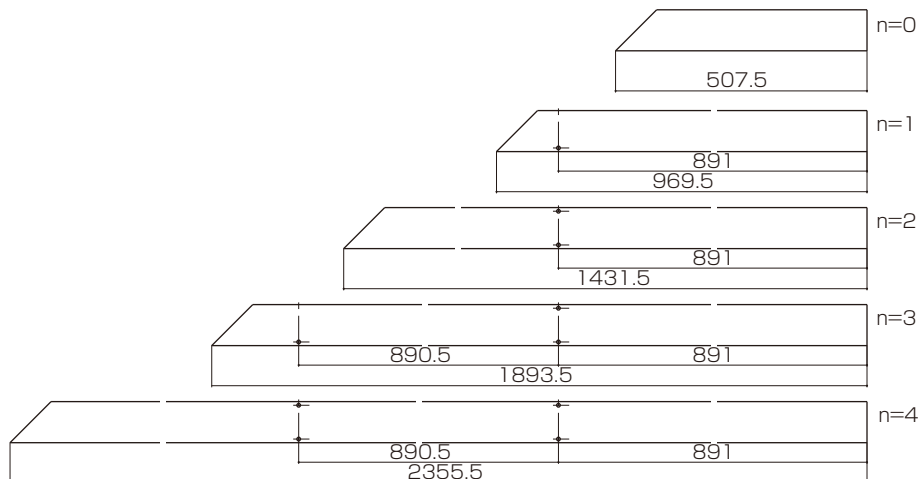
【7尺用】



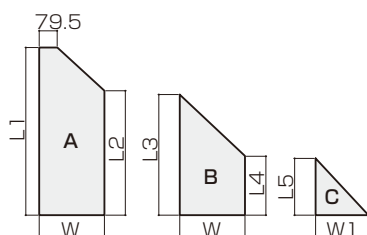
【8尺用】



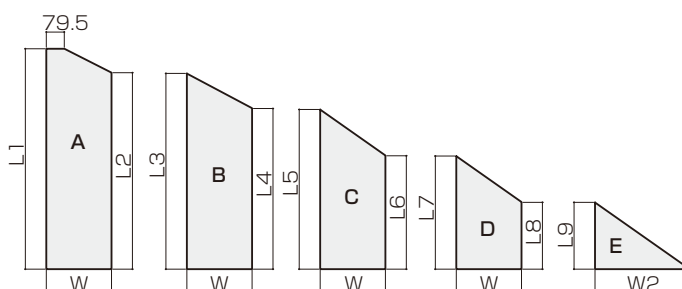
【9尺用】



●屋根パネル
【7尺・8尺】



【9尺】

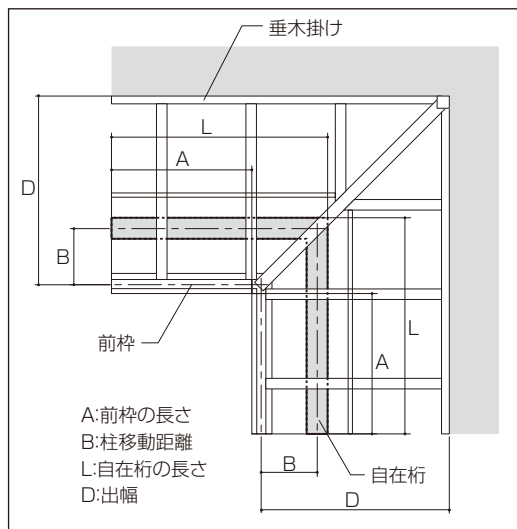


	A		B		C		D		E		W	W1	W2
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	—			
7R	2139.5	1314	1303	390	379	—	—	—	—	—	899	373	—
8R	2443.5	1618.5	1607.5	694.5	683.5	—	—	—	—	—	899	673	—
9R	2748.5	2385.5	2374	1923.5	1912	1461	1450	999	988	—	444	—	973

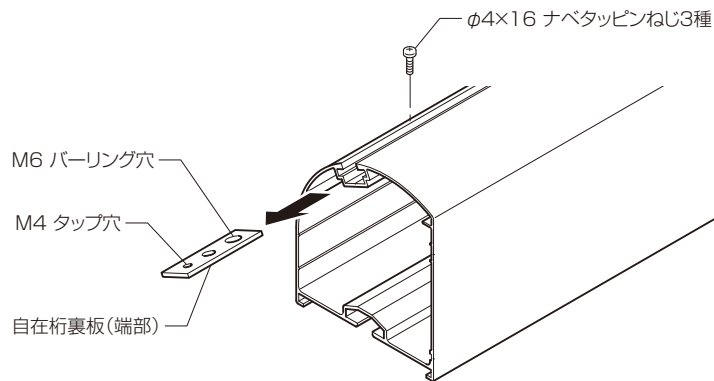
■取付け順序(入隅自在桁納まり)

1 自在桁の加工

※自在桁加工の際は左右がありますので、取付ける向きを間違えないで加工してください。



①自在桁裏板を取外してください。



②入隅L寸算出表および加工図にしたがい自在桁を斜め(45°)に切断してください。

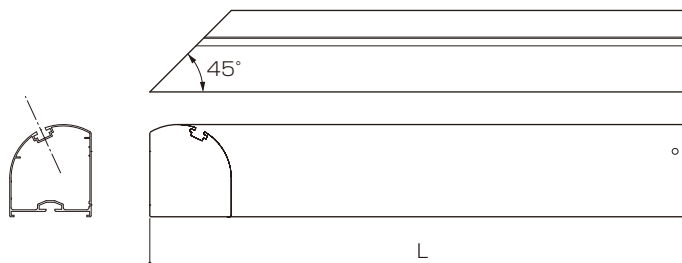
※【R型屋根で自在桁移動幅が150～300の場合】は次ページを参照してください。

■入隅L寸算出表

単位:mm

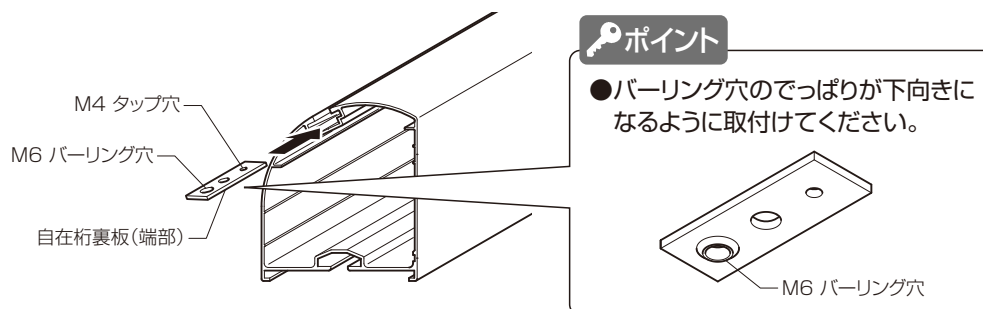
	B=150	B=200	B=250	B=300	B=350	B=400	B=450
L	A+327	A+377	A+427	A+477	A+527	A+577	A+627

■入隅自在桁加工図



※図は内観右側を示します。

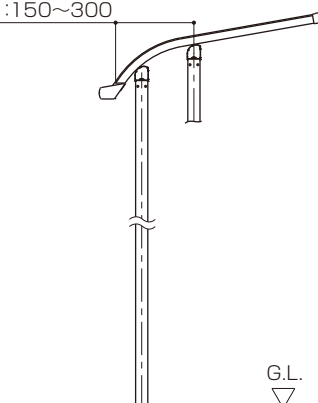
③自在桁裏板(端部)を下図の向きで挿入してください。



【R型屋根で自在桁移動幅が150～300の場合】

②入隅自在桁加工寸法算出表および加工図にしたがい自在桁コーナー部を切り欠いてください。

柱移動距離：150～300



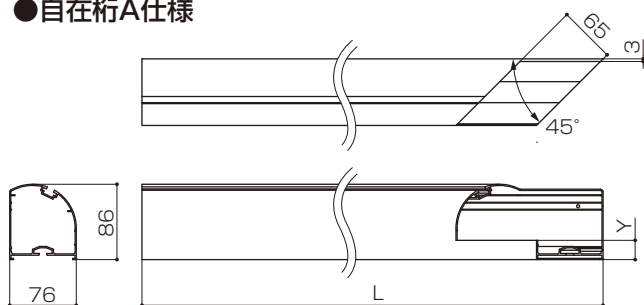
■入隅自在桁加工寸法算出表

単位:mm

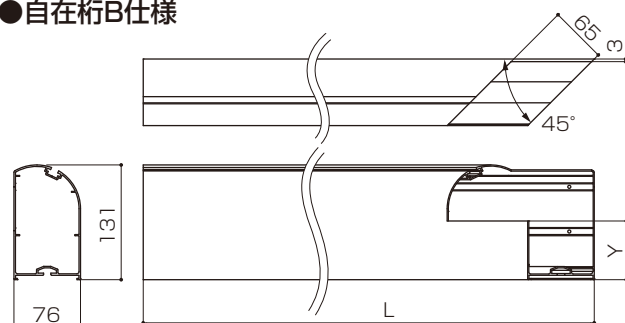
		B=150	B=200	B=250	B=300
L		A+327	A+377	A+427	A+477
Y	自在桁A	22	34	45	57
	自在桁B	67	79	90	102
	自在桁C	92	104	115	127

■入隅自在桁加工図

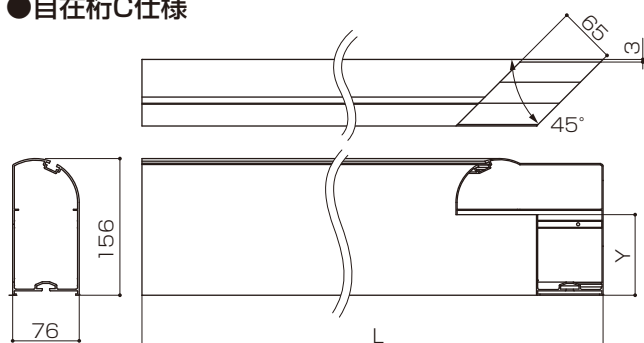
●自在桁A仕様



●自在桁B仕様

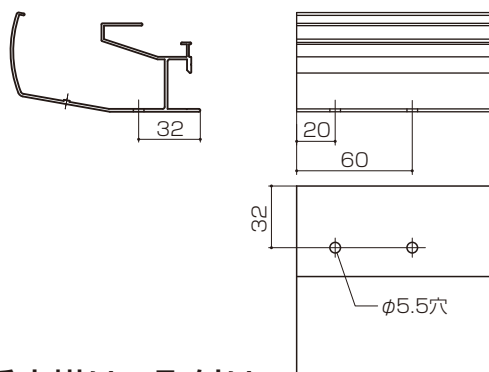


●自在桁C仕様

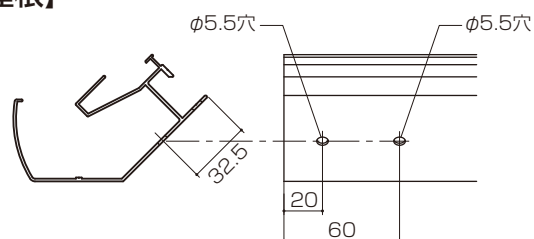


2 自在桁用前枠の加工

【F型屋根】



【R型屋根】



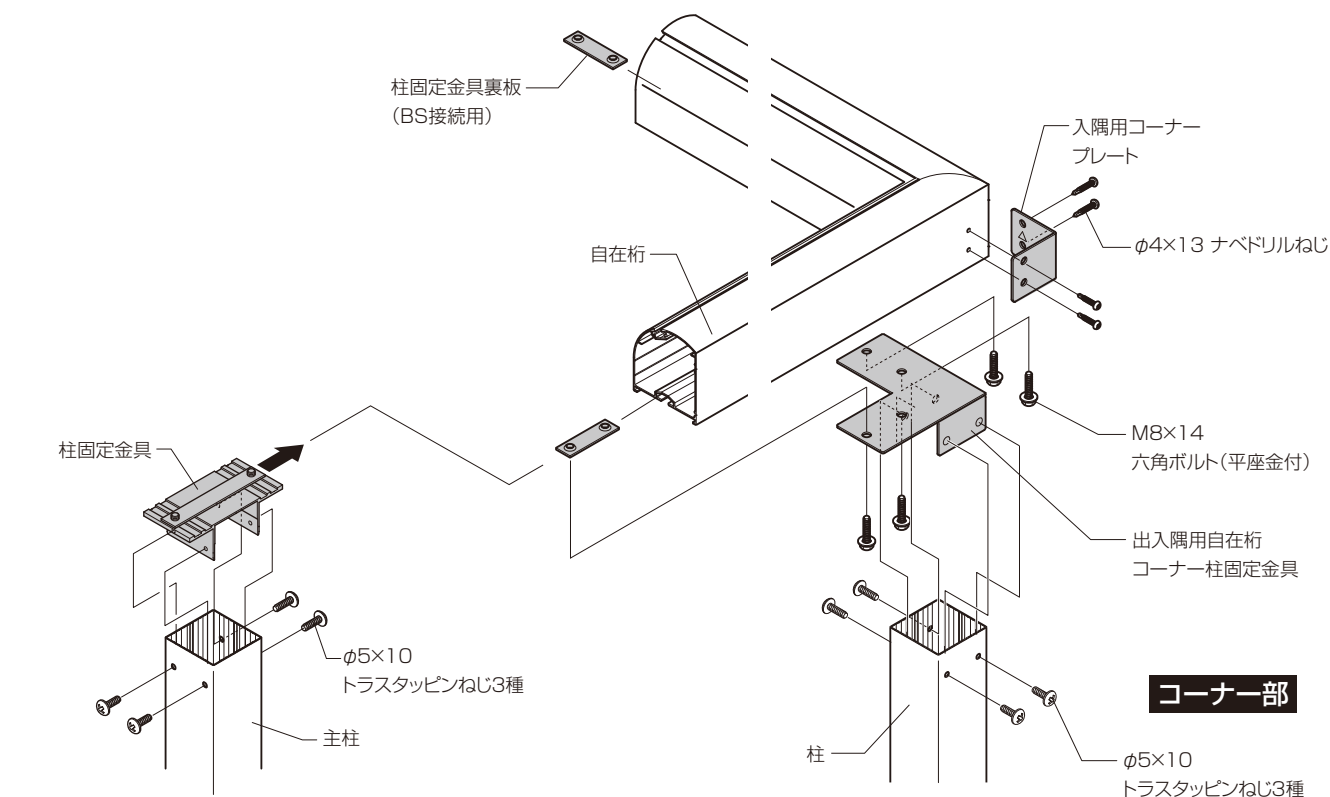
3 入隅用垂木掛けの取付け

●P.33の「1 入隅用垂木掛けの取付け」をご覧ください。

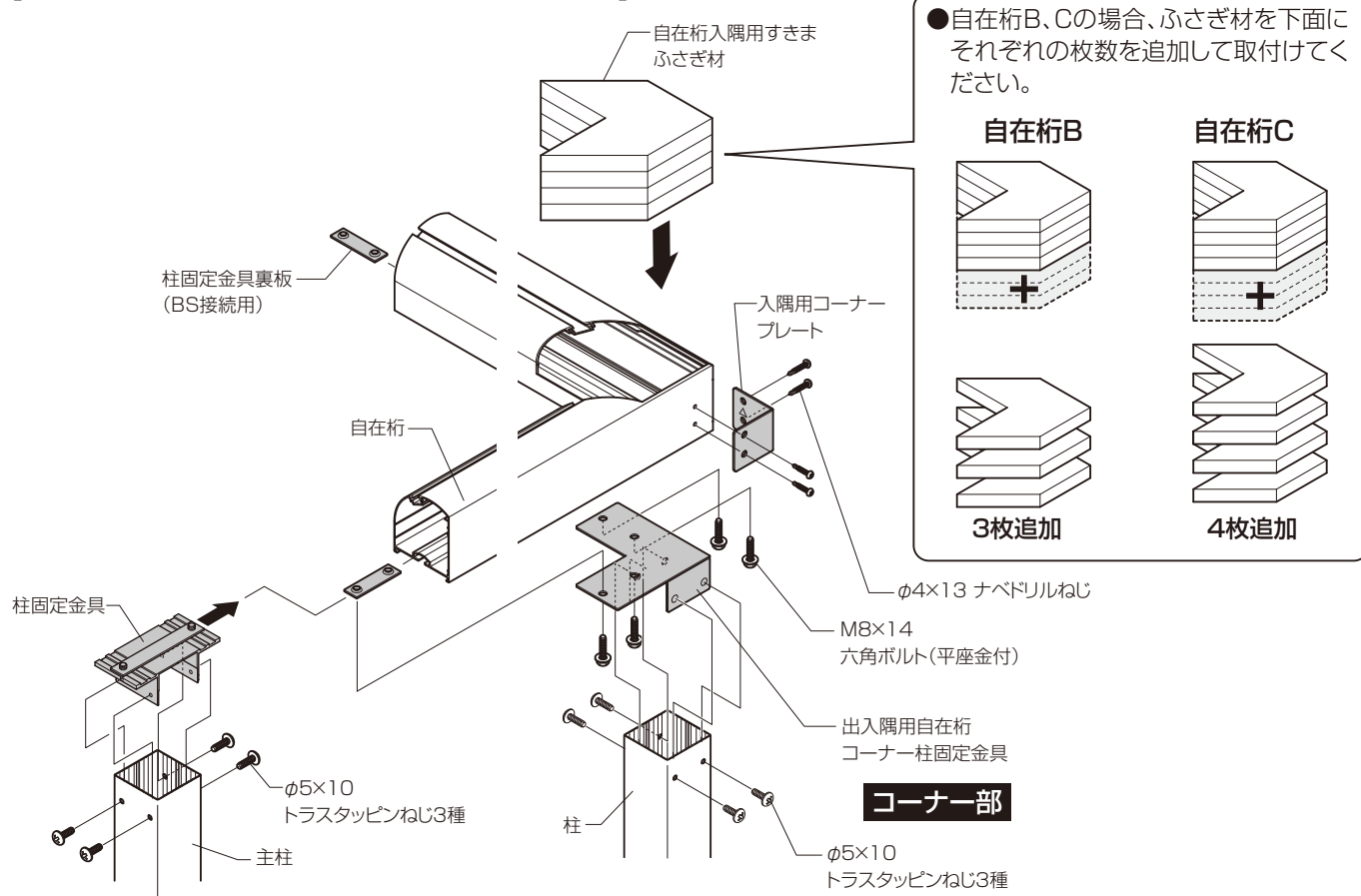
4 自在桁・柱の取付け

●柱の位置出しをし、基礎穴を掘ります。

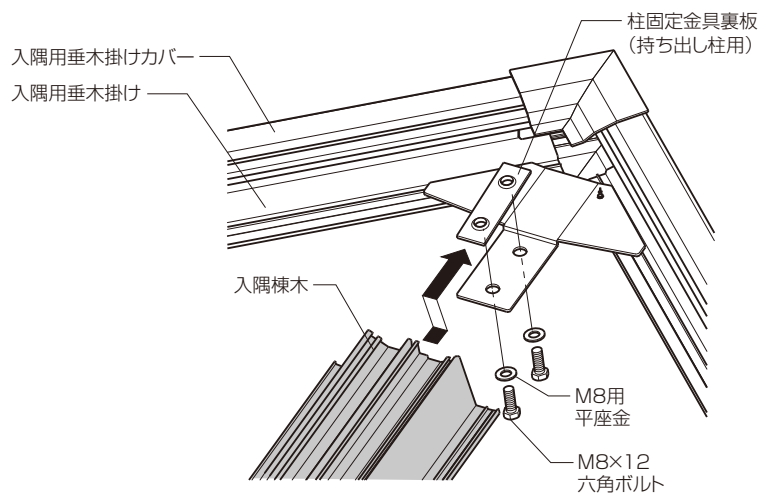
※基礎穴への柱の納まりはテラス本体の取付け説明書を参照してください。



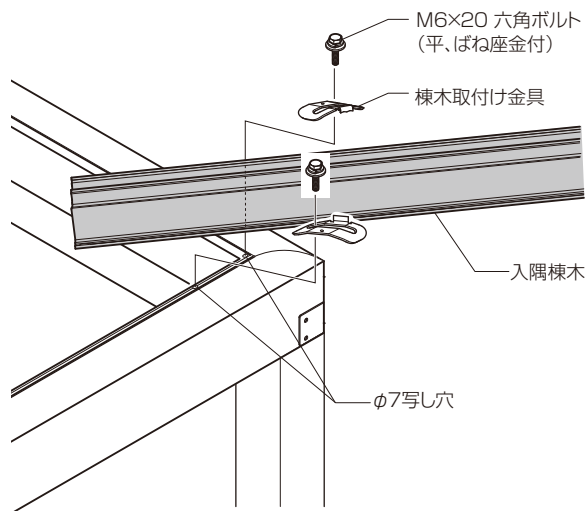
【R型屋根で自在桁移動幅が150～300の場合】



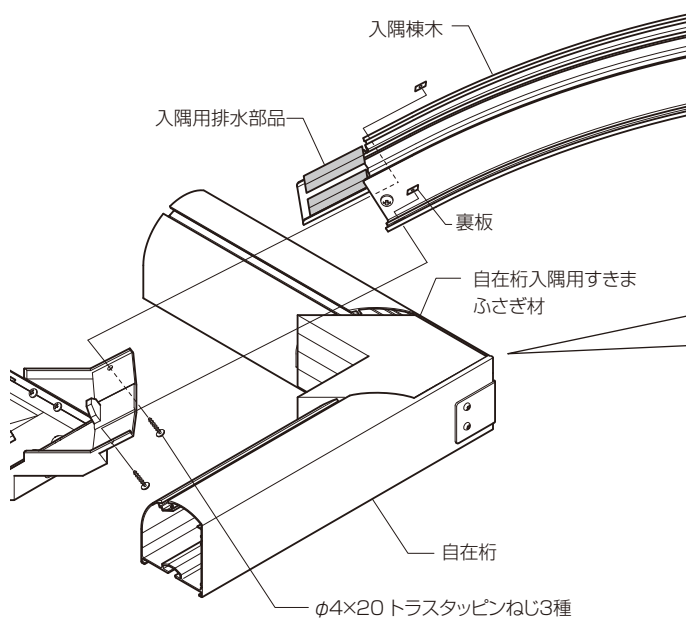
5 棟木の取付け



●棟木取付け金具にあわせて自在桁に $\phi 7$ 写し穴をあけて固定してください。

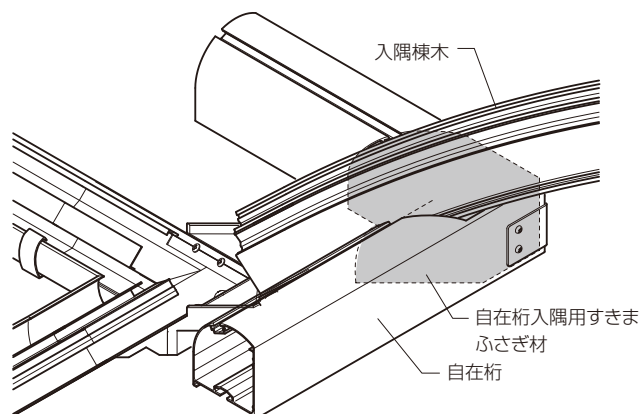


【R型屋根で自在桁移動幅が150～300の場合】



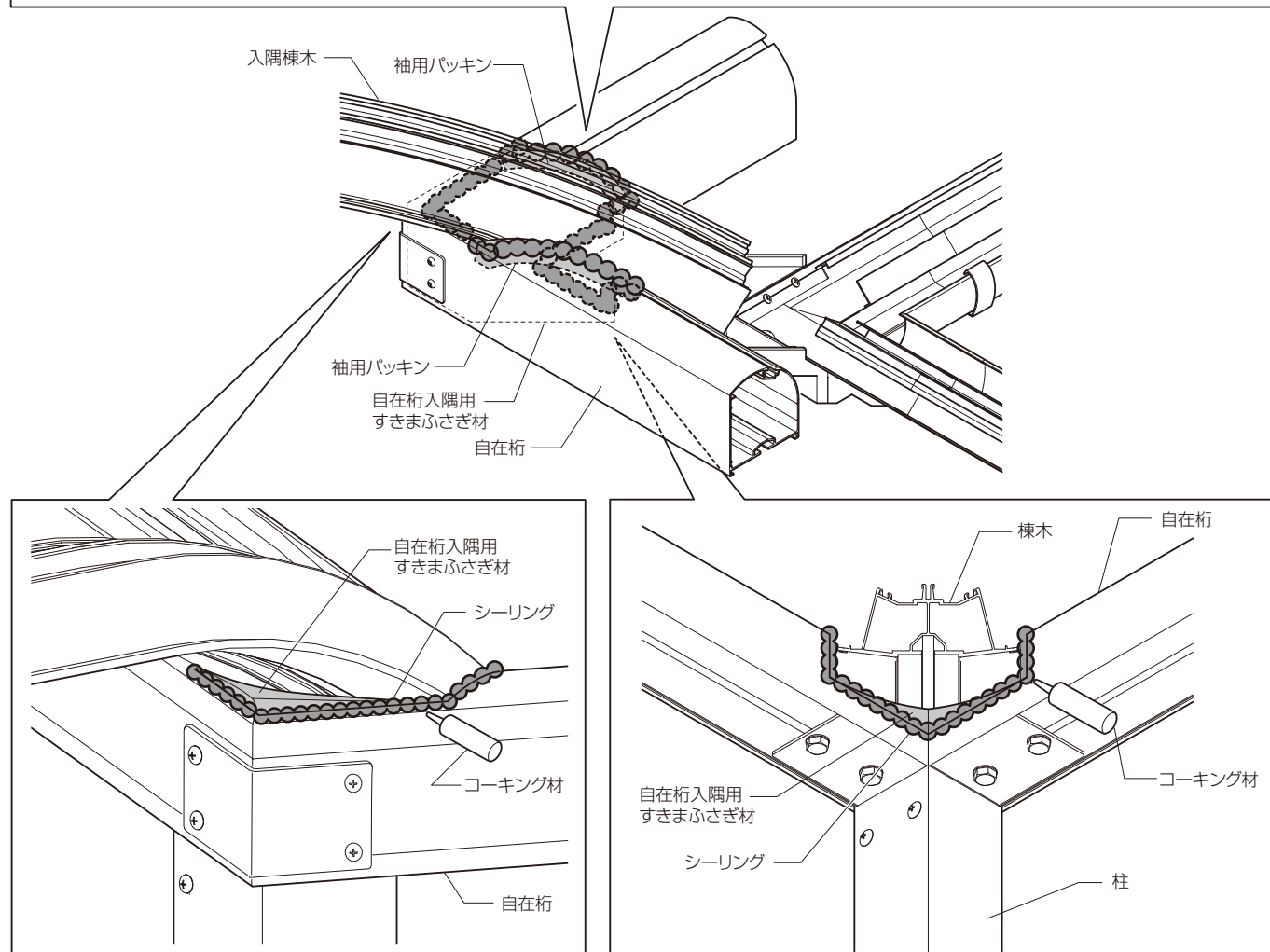
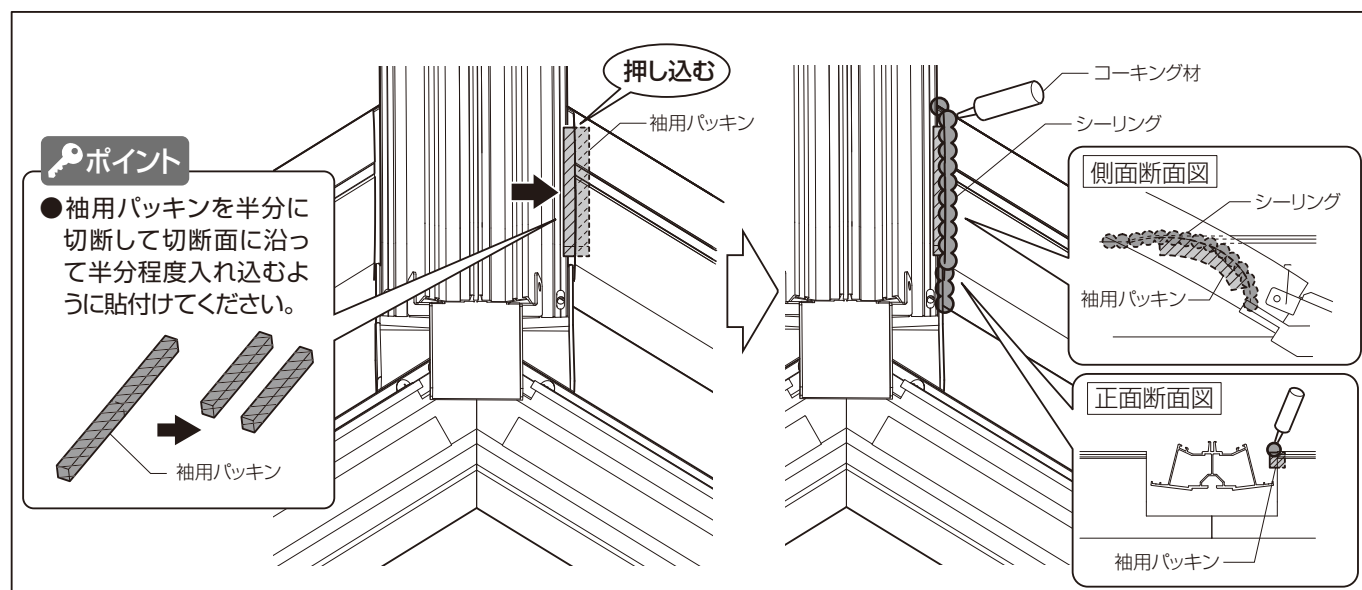
ポイント

- ふさぎ材をつぶしながら、棟木を固定してください。
- 棟木取付け金具の取付けは不要です。



■シーリング箇所【R型屋根で自在桁移動幅が150～300の場合】

●はみ出した自在桁入隅用すきまふさぎ材に沿って、切断した小口面を隠すようにシーリングをしてください。



●はみ出した自在桁入隅用すきまふさぎ材に沿って、切断した小口面を隠すようにシーリングをしてください。

▲注意

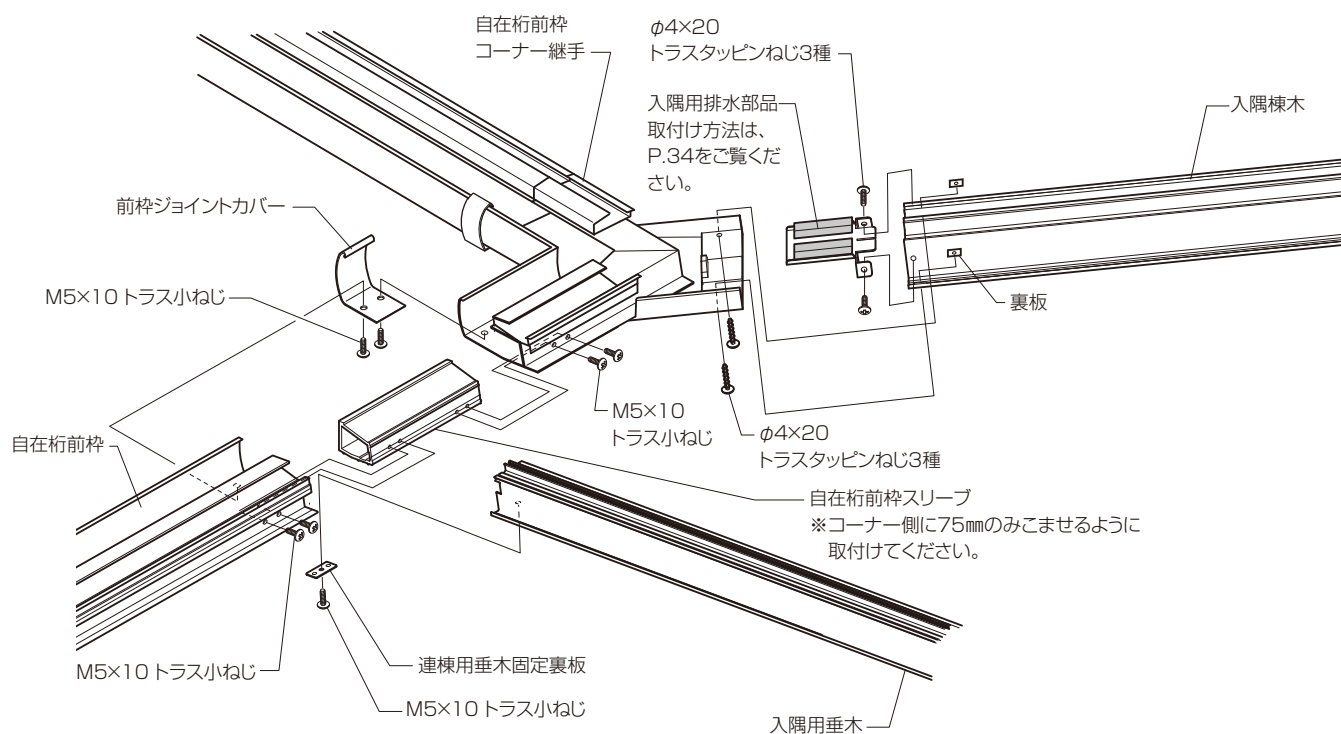
●切断した小口面にシーリングをしてください。切断した小口面にふれてケガをすることがあります。

6 垂木掛けの取付け

●P.35の「4 垂木掛けの取付け」をご覧ください。

7 前柵・垂木・野縁の取付け

※垂木・野縁の取付けはP.38の「7 中間垂木・野縁の取付け」をご覧ください。

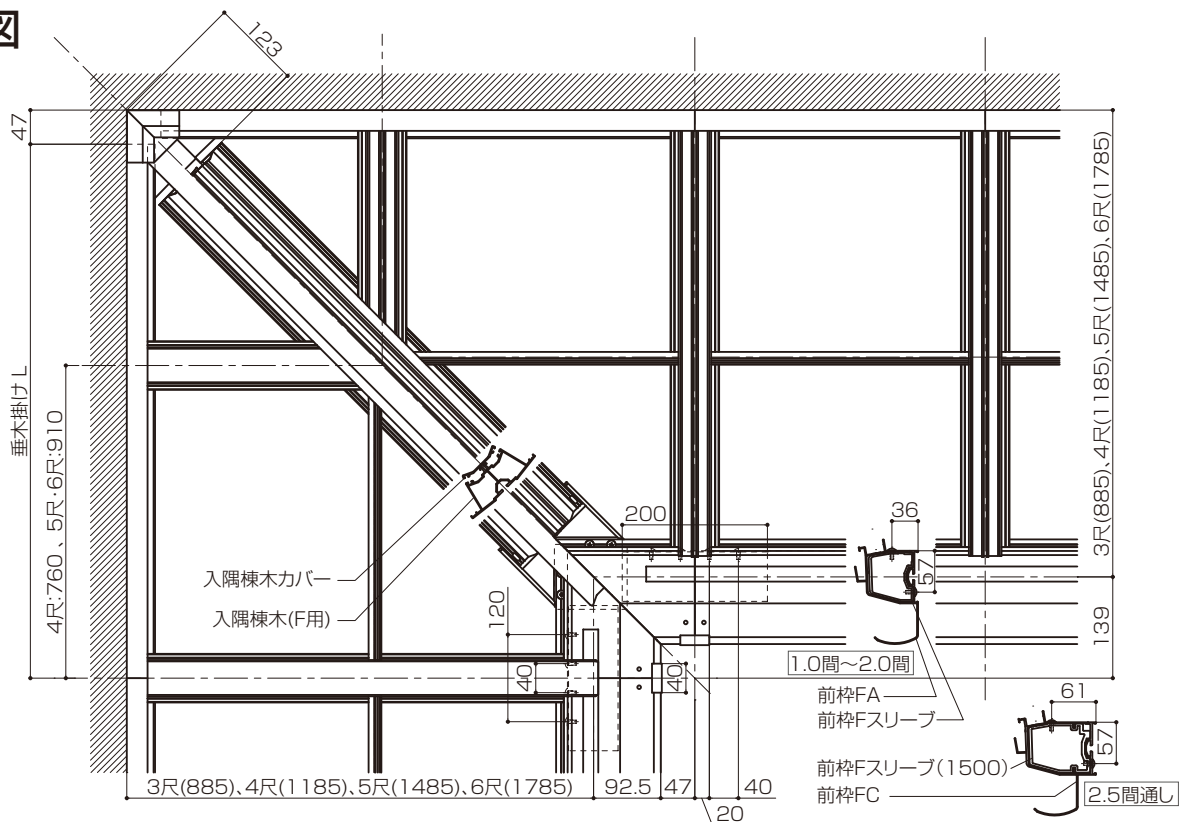


8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け

※屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付けはP.39の「8 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け」をご覧ください。

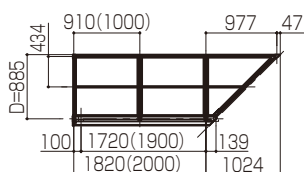
■納まり図

●F型屋根

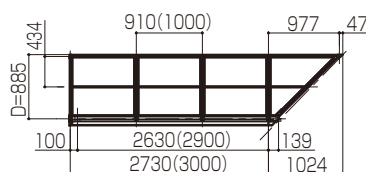


【寸法図】

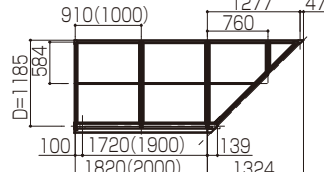
3R+1.0間



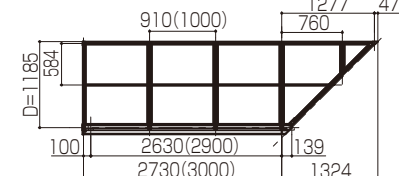
3R+1.5間



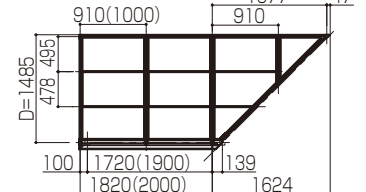
4R+1.0間



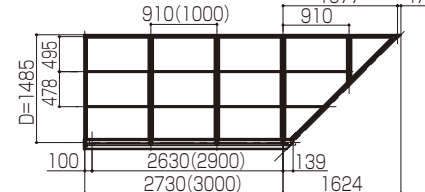
4R+1.5間



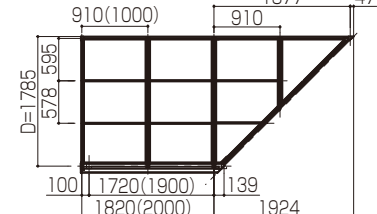
5R+1.0間



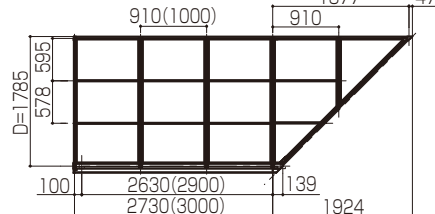
5R+1.5間



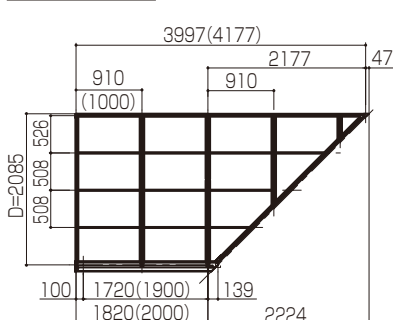
6R+1.0間



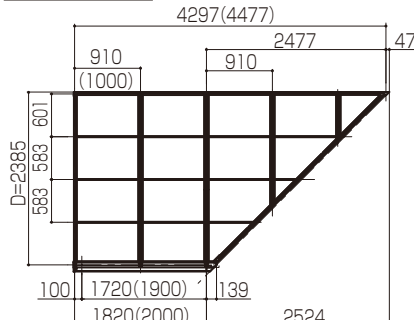
6R+1.5間



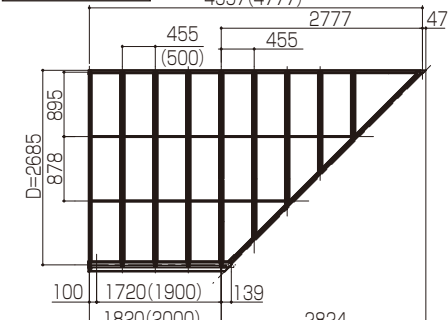
7R+1.0間



8R+1.0間

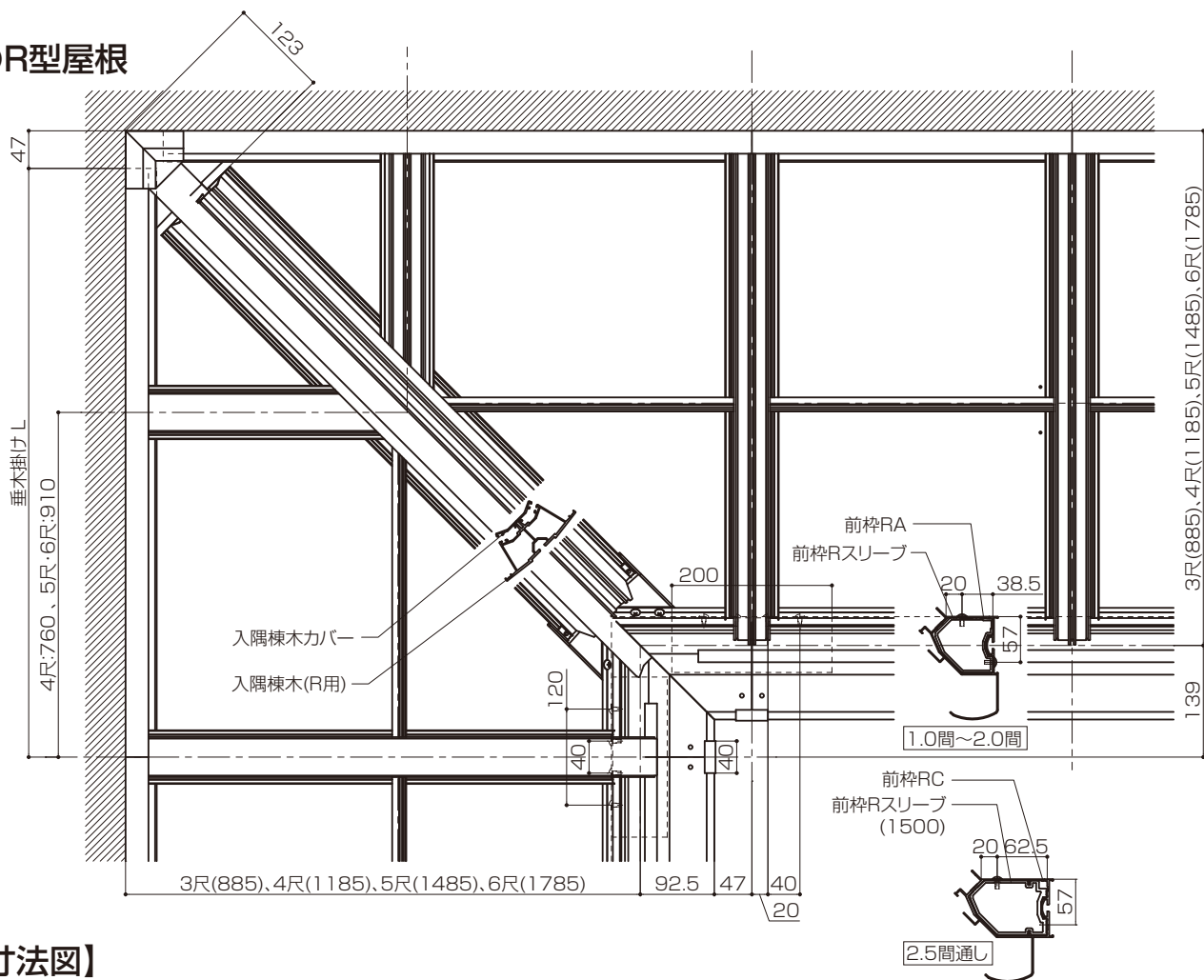


9R+1.0間



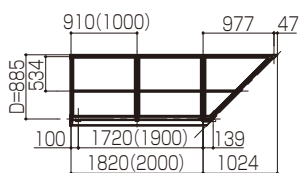
()内はメートル

●R型屋根

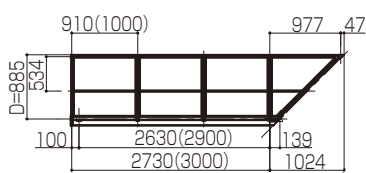


【寸法図】

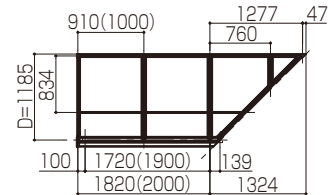
3R+1.0間



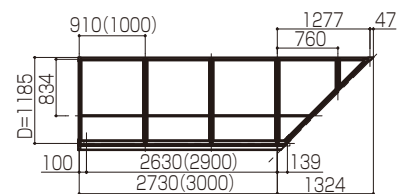
3R+1.5間



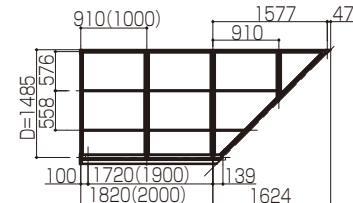
4R+1.0間



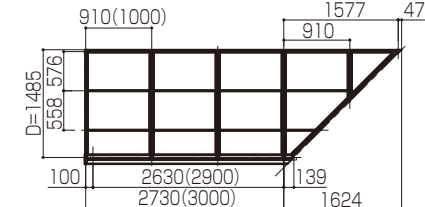
4R+1.5間



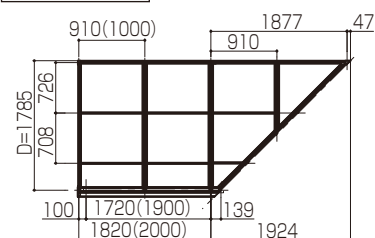
5R+1.0間



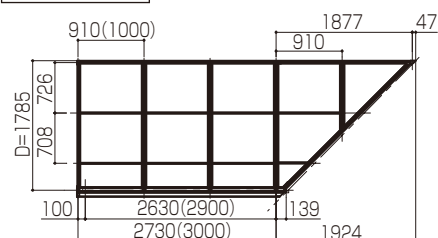
5R+1.5間



6R+1.0間

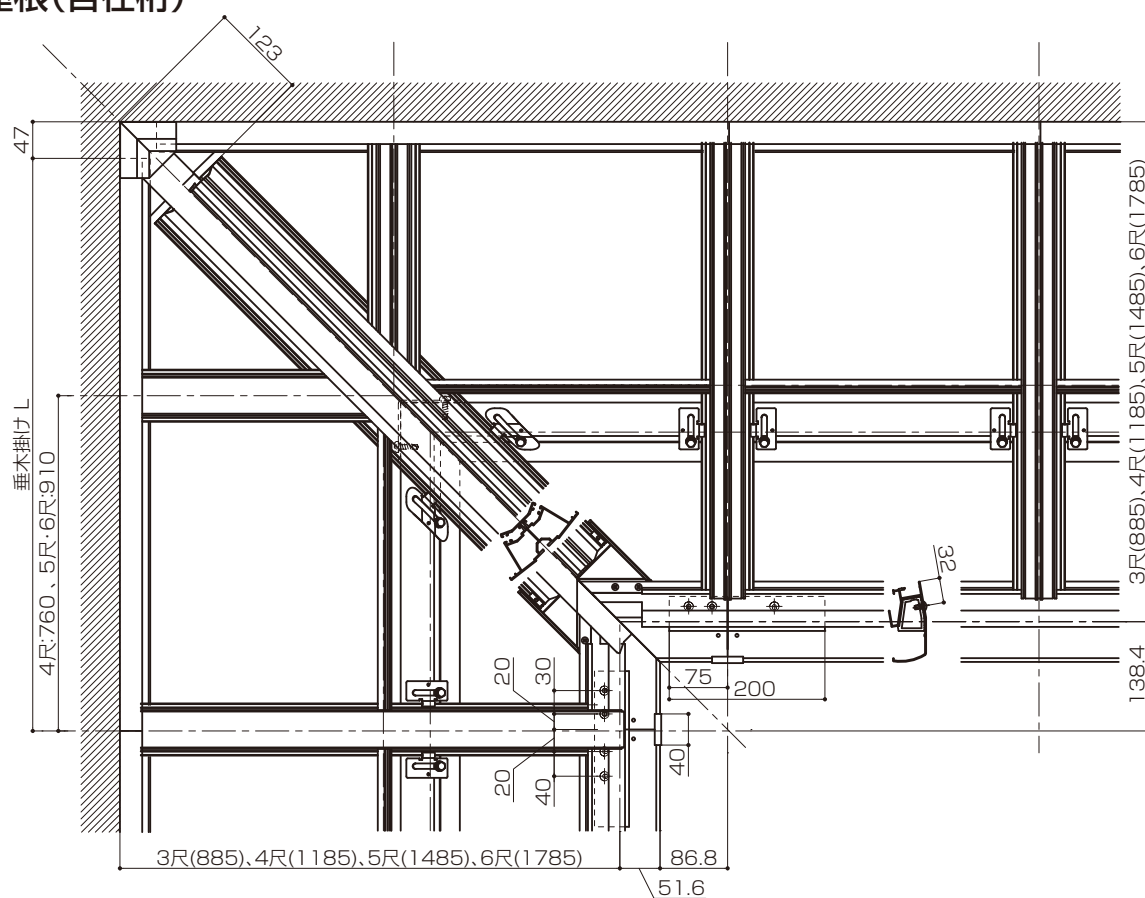


6R+1.5間



()内はメートル

●F型屋根(自在桁)



●R型屋根(自在桁)

